

對シ答辯ヲ爲サザルニ因リ政府ニ請求シ満足ナル説明ヲ與フル政府委員ノ出席セムコトヲ希望ス」トノ要求ヲ爲シタルニ全院委員長(島田三郎君)ハ「唯今ノ要求ハ此ノ委員會ヲ決議スルコトガ出來ヌコトデアリマスルカヲ愈二百八十八番ノ説ガ成立チマスレバ議長ノ復席ヲ求ムルヨリ外仕方ガアリマセヌ」ト告ケ多數ヲ以テ委員長ノ説ヲ可決シタリ依テ委員長ハ議長ノ復席ヲ求メ「全院委員會」付託セラレタル外ノコトハ議決スル能ハザル譯デ御座リマスカラ二百八十八番ノ發議ノ事ハ全院委員會ニ於テ議決スルコトニハ參リマセヌカラソレ故議長ノ復席ヲ求ムルト云フコトヲ議決シテ議長ニ復席ヲ求メテ只今議長モ復席ニナリマシタカラ本會ニ於テ二百八十八番ノコトハ議決セラレルガ當然ノコトデアラウト思ヒマス」ト報告シタリ

一五八 全院委員會ニ於テモ特別委員ノ退席ヲ許可ス

第十三回議會 明治三十一年十二月二十三日明治三十二年度豫算案ニ關スル全院議員會(秘密會議)中葉煙草專賣法中改正法律案委員長藤金作君ヨリ特別委員會ヲ開ク爲同委員ノ退席ヲ請求シタルトキ全院委員長(長谷場純孝君)ハ異議ナキヲ認メ其ノ請求ヲ許可シタリ

一五九 全院委員會ニ於テ時間ノ延長ヲ許サス

第一回議會 明治二十四年一月十六日豫算案全院委員會ニ於テ定刻ニ達セムトスルトキ全院委員長(島田三郎君)ハ「時ハ參リマシタガ此ノ省ダケ終リタイト考ヘテ居リマス別ニ御異論ガナケレバ……」ト諮ヒ異議アリタルヲ以テ更ニ「最早發議ハ停メマス異議ガアレバ規則通りニスルガ本當デアリマス」ト述ヘ議長ノ復席ヲ求メタリ

第二款 常任及特別委員會

一六〇 委員會ハ月曜日、水曜日、金曜日ニ開クヲ例トス但シ必要ナル場合又ハ會期三分ノ二ヲ經過セルトキハ此ノ限ニ在ラス

第十五回議會以來委員會ハ月、水、金ノ三曜日ヲ以テ之ヲ開クヲ例トシタルモ豫算委員會ノ如キハ審査期限アルヲ以テ豫メ議院ノ許可ヲ得テ本會議日ト雖之ヲ開クノミナラス議院ノ會議時間ニ於テモ各分科會ヲ開キ請願ノ分科會亦此ノ例ニ依レリ又特別委員會ト雖必要ナル場合又ハ會期切迫セルトキハ議院ノ許可ヲ得テ議院ノ會議時間ニ於テ委員會ヲ開クヲ例トシ第二十七回議會ヨリハ會期三分ノ二ヲ經過シタルトキハ議長ニ於テ當然取計ヒ得ルコトナレジ

第二十七回議會 明治四十四年二月二十八日議長(長谷場純孝君)ハ「會期モ切迫致シマシタカ



百十  
ラ——議長ノ許可ニ依ッテ本會議中ニモ委員會ヲ開キ得ルコト及尙此事ハ每會期ノ例トナッテ居  
リマスカラ將來會期三分ノ二ヲ經過スルトキハ當然取計ヒ得ラルルコトニ取極メテ置キタイト  
思ヒマスガ御異議ハアリマセヌカ「ト諮ヒ異議ナカリキ

參看 二五一號

### 一六一 議長ハ委員ニ對シ委員會ノ成立若ハ開會ヲ注意ス

委員會ノ成立若ハ開會ニ關シ議長ヨリ其ノ委員ニ對シ注意ヲ爲シタルコト每會期其ノ例尠カラス  
一例ヲ舉クレハ左ノ如シ

第二十六回議會 明治四十三年三月一日議長(長谷場純孝君)ハ「近頃特別委員會ニ無屈デ缺席  
ノ諸君モアリ爲ニ流會ニナルコトガ往々アルト云フコトヲ委員長ヨリ議長迄申出デガアリマ  
ス果シテサウ云フコトガアルトスレバ甚ダ不都合デアルト思ヒマスカラ或ハ已ムコトヲ得ズ  
議院法ノ第九十九條ノ手續ヲ執ルコトニ至ルカモ知レマセヌ因テ念ノ爲一應御注意申シテ置  
キマス」ト告ケ、同月十日議長ハ更ニ「過日本會議ノ日ニモ議院ノ許可ヲ經ズニ委員會ヲ開ク

ト云フコトガ御決定ニナリマシタガ是ハ本會議ノ時間中ニモ委員會ヲ開クコトヲ得ルト云フ  
意味ト考ヘマスカラ念ノタメ御注意ヲ致シテ置キマス故ニ日程ニ掲ゲタ時間ニハ各委員會ヲ  
御開キニナルヤウニ望ミマス」ト注意シ又同月十九日及二十二日高木益太郎君ノ請求ニ對シ  
民事訴訟法中改正法律案ノ委員長ニ委員會ヲ進行セムコトヲ命シタリ

### 一六二 議長ハ國務大臣及政府委員ニ對シ委員會出席ヲ注意ス

第二十八回議會 明治四十五年三月十四日議長(大岡育造君)ヨリ各委員ニ對シ委員會ニ出席スヘ  
キ旨ヲ注意セルトキ守屋此助君ハ「委員會ガ開ケザルコトノ原因ガ特別委員ナル議員諸君ノ御  
不參ノタメニ流會ニナルモノモ間々アルコトハ私ハ承知致シテ居リマス、サウシテ私ガ關係致  
シテ居リマスル委員會ハ多ク政府ノ大臣並ニ政府委員ガ御缺席ノタメニ流會ニナルモノガ多ア  
リマス、ソレ故ニ議長ハ議員ニ向ッテソレダケノ御注意ニナル事柄ハ至極御尤ニ私ハ考ヘマスカ  
ラ謹デ此點ハ吾、ガ遵奉致シマスルガ政府ノ大臣並ニ政府委員ニモ唯今ダケノ御注意アラソコ  
トヲ希望致シマス」ト述ヘ議長ハ之ヲ容レ政府ニ其ノ旨ヲ通シタリ

### 一六三 會議中委員會ヲ開クノ請求ハ同日幾回ニテモ之ヲ爲スコトヲ得



第二十八回議會 明治四十五年三月七日塚田啓太郎君提出田畑地價修正ニ關スル建議案ノ委員長ヨリ本會議中ニ委員會ヲ開クノ請求ヲ爲シタルトキ議長(大岡育造君)ハ「如何デスカ、餘リ多數出席モナイ譯デスカラ、モウ少シ後ニシテハ……」ト注意セルニ委員長尙請求セルヲ以テ之ヲ起立ニ諮ヒ少數ニテ之ヲ許ササリキ次テ時間ヲ隔テタル後更ニ之ヲ請求シテ許可ヲ得タリ

### 第八章 議案

#### 第一節 議案ノ提出

#### 一六四 議案ハ會期中何時タリトモ之ヲ提出スルコトヲ得

議案提出ノ時期ニ關シテハ議院規則ニ何等ノ規定ナキヲ以テ政府又ハ議員提出議案ハ開院式當日ヨリ提出スルヲ例トシ(議員ノ資格ニ對スル異議申立書ハ議員ノ進退ニ關スル緊急事件トシテ議長ハ召集日ニ之ヲ受理シタリ)又會期切迫ニ際シ議案(法律案)ヲ提出スルコト尠シトセス今第一回乃至第四十二回議會ニ於テ其ノ最切迫セル時期即チ會期終了當日乃至五日前ニ提出シタルモノヲ舉クレハ左ノ如シ

- (一) 會期終了ノ當日提出ノモノ  
貴族院提出議案一件、議員提出議案二件

- (二) 前日提出ノモノ  
議員提出議案十件

- (三) 二日前提出ノモノ



政府提出議案四件、議員提出議案七件

(四) 三日前提出ノモノ、

政府提出議案十件、議員提出議案二件

(五) 四日前提出ノモノ

政府提出議案五件、貴族院提出議案一件、議員提出議案十三件

(六) 五日前提出ノモノ

政府提出議案十三件、貴族院提出議案一件、議員提出議案十件

又議員提出案ニシテ同時期ニ於テ貴族院ニ提出シタルモノヲ舉クレハ當日ノモノハ十六件、前日ノモノ十七件、二日前ノモノ二十件、三日前ノモノ十四件、四日前ノモノ三十一件、五日前ノモノ十七件トス

參看 一八一號、附錄一二ノ二

一六五 政府提出ノ議案ハ内閣總理大臣及主務大臣ノ連署花押シタル提

出文ヲ添附ス

修正亦同シ

第一回議會以來政府提出ノ議案ニハ内閣總理大臣及主務大臣連署花押シ「勅旨ヲ奉シ帝國議會ニ提出ス」トノ提出文ヲ添附スルヲ例トス

政府提出ノ修正ハ「議院法第三十條ニ依リ修正ス」トノ提出文ヲ添附ス

參看 附錄一二ノ二

一六六 議員提出議案ハ提出者及贊成者ノ連署シタル提出文ヲ添附ス  
修正案亦同シ

第一回乃至第四回議會ニ於テハ議員提出議案及修正案ニ付テハ別ニ定マリタル形式ナカリシモ第五回議會ヨリ一定ノ形式ヲ用ウ

參看 附錄一二ノ二

第一編 總則 第八章 議案 第一節 議案ノ提出 (一六五、一六六)



一六七 議案ハ一定ノ用文、用字ニ依ルコトヲ要ス

第十四回議會ノ始ニ於テ議案ノ用文、用字區々ニ涉リシモノヲ一定シ政府、貴族院及議員提出ノ議案皆之ニ遵依セリ

一六八 議案ノ形式、用字等ノ整理ハ議長之ヲ行フ

第十四回議會 明治三十二年十二月二日議員提案及修正案ノ形式、假名遣其ノ他用字等ノ整理ニ付議長(片岡健吉君)ハ「是マデ諸君ヨリ提出セラレタル所ノ議案ニハ議案ノ形式、字句、假名遣等ガ區々ニナツテ居リマシテ毎度提出者ト御交渉ヲスルヤウナコトガアリマスルガ將來ハ格別意味ニ於テ違ハナイコトナラバ其形式或ハ字句、假名遣等ニ相違ノアルトキハ議長ノ手許デ訂正スルコトヲ御任セニナリマセウカ」ト諮ヒ異議ナカリシヲ以テ「將來其通取扱ヒマス」ト宣告シ同會期ハ勿論爾來此ノ例ニ依レリ

參看 一九三號、一九四號

一六九 豫算案ハ年末年始ノ休會後ノ始ニ提出セラルルヲ例トス

會計法第五條ニ「歳入歳出ノ總豫算ハ前年ノ帝國議會集會ノ始ニ於テ之ヲ提出スヘシ」トアリ故ニ豫算案ハ每會期ノ始即チ開院式後一日乃至三日以内ニ提出セラルルヲ例トセシモ最近議會ノ召集ハ概ネ十二月下旬ニシテ從テ開院式後引續キ年末年始ノ休會ヲ爲スノ例トナリシヲ以テ豫算案ハ審査期間ノ關係上休會明ヲ俟テ提出セラルルニ至レリ

參看 四八一號、四八九號

一七〇 豫算ニ關係アル法律案ハ概ネ豫算案ト同時ニ提出セラレ

豫算ニ關係アル法律案ハ概ネ豫算案ト同時ニ提出セラルルヲ例トスルモ先ニ貴族院ニ提出シタルコトナシトセス詳細ハ第四八九號ニアリ

參看 四八九號

第一編 總則 第八章 議案 第一節 議案ノ提出 (一六七、一六八、一六九、一七〇) 百十七



一七一 法律案ニ關係アル追加豫算案ハ其ノ法律案ノ議決ノ前後ヲ問ハス提出セラル

法律案ニ關係アル追加豫算案ノ提出ハ其ノ法律案ノ兩院若ハ一院ヲ通過シタル後又ハ一院ニテ審査中ナル場合ニ於テシ或ハ同時ニ提出スル等其ノ例同シカラス

(一) 法律案兩院通過後ニ提出セラレタル例

第四回、第六回議會各一件、第九回議會五件、第十回議會四件、第十三回議會十一件、第十四回議會六件、第十五回議會三件、第二十二回、第二十三回、第二十五回、第二十六回、第二十八回議會一各件

(二) 法律案一院ヲ通過シ他ノ一院ニ於テ審査中ニ提出セラレタル例

(甲) 貴族院ニ於テ審査中ナルトキ

第九回、第十回議會各二件、第十三回議會四件、第十四回、第二十三回、第二十六回、第二十八回議會各一件、第二十七回議會四件

(乙) 本院ニ於テ審査中ナルトキ

第九回、第十二回議會各一件、第十三回議會三件、第二十二回、第二十八回、第四十一回議會各一件  
(三) 法律案未タ一院ヲモ通過セサル際提出セラレタル例

(甲) 貴族院ニ於テ審査中ナルトキ  
第十五回議會一件

(乙) 本院ニ於テ審査中ナルトキ

第十三回議會一件、第十五回議會二件、第十六回議會一件、第二十二回、第二十三回議會各三件、第二十四回、第二十五回、第二十七回議會各六件、第三十回、第三十五回議會各二件、第三十六回議會一件

(四) 法律案ト同時ニ提出セラレタル例

第十三回、第十七回議會各一件、第十八回、第二十回(臨時)議會各二件、第二十一回議會五件、第二十三回、第三十四回議會各二件、第三十五回議會一件

參看 二二三號、四八八號

一七二 決算ハ議了ニ至ラスト雖再ヒ次ノ會期ニ提出セララルコトナシ

一タヒ提出セル決算ハ其ノ會期中審査終了セス又ハ院議之ヲ再審査ニ付スヘシト決定シタルノミ



ニテ議了ニ至ラサリシ場合ト雖政府ハ再ヒ之ヲ次ノ議會ニ提出セス

參看 三五三號

憲第八條  
第六四條

一七三 承諾ヲ求ムル議案議決ニ至ラサルトキハ豫備金支出ニ關スル件  
ハ次ノ會期ニ再ヒ提出シ緊急勅令ハ之ヲ提出セス

承諾ヲ求ムル議案ニシテ解散其ノ他ノ事故ニ依リ議決未了トナリタル場合ニ再ヒ次ノ議會ニ提出スヘキモノナリヤ否ニ付豫備金支出ニ關スル件ト緊急勅令トハ其ノ取扱ヲ異ニス即チ豫備金支出ニ關スル件ハ必ス次ノ議會ニ提出スルモ緊急勅令ハ將來ニ向テ其ノ失效ヲ公布シ再ヒ提出セサルヲ例トス但シ第二回議會ニ於テ解散ノ爲議決未了トナリタル勅令ヲ次ノ議會ニ提出シタル一例アリ

參看 五一二號、五一三號、五一四號

一七四 修正案ノ提出ニハ理由書ヲ附スルヲ要セス

議案ニ對シ修正案ヲ提出スルニハ理由書ヲ要セス蓋議案ニ於ケルカ如ク之カ理由書ヲ附スヘキノ規定ナキヲ以テナリ

一七五 決議案ノ提出ニハ理由書ヲ附スルヲ要セス且贊成者ハ一人ヲ以テ足ル

決議案ハ動議ノ一種ナルヲ以テ法律案、上奏案、建議案ノ如ク理由書ヲ附スルヲ要セス又其ノ贊成者ハ一人ヲ以テ足ル決議案ノ形式ヲ以テ提出シタルハ第三回議會ニ於ケル中村彌六君外一名提出選舉干渉ニ關スル決議案ヲ嚆矢トス爾來每會期其ノ提出ヲ見サルナク且重要事件ニ付テモ此ノ形式ニ據ルノ傾向トナレリ而シテ其ノ重要ナルモノニ至リテハ簡明ナル理由書ヲ附スルモノナシトセス

一七六 議案提出者ノ員數ハ之ヲ制限セス  
贊成者ハ定規ノ員數ヲ要スルモ之ヲ制限セス

議案提出者ノ員數ニ付テハ議院規則ニ何等ノ規定ナキヲ以テ往々數十名ニ及ヘルコトアリ



議案ノ賛成者ハ法律案ハ二十人以上、上奏建議案ハ三十人以上ヲ要ス然レトモ其ノ以上ニ付テハ別ニ制限ナキヲ以テ過半数ノ賛成者ヲ列記シタルコト尠カラス

一七七 召集ニ應セサル議員ハ議案ノ提出者又ハ賛成者タルコトヲ得ス

從來議案ノ提出者又ハ賛成者中未タ召集ニ應セサル議員ノ署名シタルコト往々之レアリシモ第十四回議會以來召集ニ應セサルモノニシテ提出者又ハ賛成者ニ署名スルモノアルトキハ之ヲ削除スルコトナレリ

一七八 議案ノ提出者又ハ賛成者ノ追加若ハ取消ハ其ノ案ノ配付後ハ之ヲ許サス但シ訂正ハ此ノ限ニ在ラス

從來議案ノ提出者又ハ賛成者ノ追加若ハ其ノ取消ハ議案ノ議事日程ニ掲載セラレタルト否トヲ問ハス常ニ之ヲ許可シタルモ第十五回議會ヨリハ議案ノ配付後ハ誤脱ヲ訂正スルノ外追加、取消トモ之ヲ許ササルコトナレリ

一七九 議案提出ノ賛成者ハ必スシモ其ノ案ノ賛成ヲ要セス

議案ノ賛成者トシテ署名セルモノハ其ノ提出ニ付テノ賛成者タルニ止マリ議案其ノモノニ對シテハ反對ヲ表セルコト尠シトセス今署名ノ賛成者ニシテ議案ニ反對セル二三ノ例ヲ舉クレハ即チ第二十三回議會明治四十年三月十二日武藤金吉君外四名提出渡良瀬川沿岸地方特別地價修正法律案中改正法律案、第二十四回議會明治四十一年二月十五日及第二十五回議會明治四十二年二月二十日根本正君提出未成年者飲酒禁止法案ノ採決ニ際シ賛成者中之ニ反對ヲ表セシカ如キ是ナリ而シテ第三十七回議會大正五年二月三日黒須龍太郎君外四名提出質屋取締法中改正法律案賛成者中議員ニシテ國務大臣若ハ參政官タリシ者ノ署名アリタル爲望月長夫君ヨリ「一面ニ於テ議員タル一面ニ於テ政府當局者タル場合ニ於テ斯ノ如ク政府ト相反スル意見ノモノニ一面ニ於テ賛成ヲシテ記名表白シテ差支ガナイト云フ政府ノ御意見デアリマスカ」ト問ヒタルニ藤澤政府委員ハ「黨ニ屬スル代議士ハ其ノ黨ノ同意ヲ得テ提出致マスル所ノ案ニ其名前ヲ用ヒラレルト云フコトニ付キマシテハ從來ノ各黨派ノ慣例デアルト私ハ心得テ居リマス（中畧）將來ニ付テハ是ハ大臣デアルトカ參政官デアルトカ云フヤウナモノハ一方ニ於テハ提案者トナリ一方ニ於テ反對ヲ述ズルト云フヤウナ奇態ナ結果ノ現ハルルノデアリマスカラ其ノ役員ノ分ハ除カルヨウニシタイト云フコトヲ實ハ申シテ居ッタト云フノハ事實デアリマス」ト答ヘタリ



一八〇 議案ノ撤回、正誤若ハ緊急議決ノ要求ハ書面又ハ口頭ヲ以テ之ヲ爲ス

政府ヨリ其ノ提出議案ノ緊急議決ヲ要求スル場合（議院法第二十七條但書又ハ第二十八條但書若ハ兩條但書ニ依リ或ハ單ニ緊急事件トシテ之ヲ要求スルコトアリ）又ハ議案ヲ撤回シ若ハ正誤スルニハ書面若ハ口頭ヲ以テ之ヲ爲スコトヲ得而シテ書面ヲ以テスルトキ緊急議決ノ要求ニ付テハ單ニ内閣總理大臣ヨリシ撤回ニ付テハ内閣總理大臣及主務大臣ヨリシ正誤ニ付テハ内閣書記官ヨリ本院書記官宛ナルヲ例トス

議員提出議案ノ撤回若ハ正誤ニ付テハ書面若ハ口頭ヲ以テスルコトアルモ一定ノ様式ナシ

參看 一九八號、二〇五號、二一八號、附錄一二ノ四

第二節 議案ノ受理、送付回付及通知

一八一 議案ハ開院式後ヨリ之ヲ受理ス但シ議員ノ進退ニ關スル緊急事

件ハ此ノ限ニ在ラス

第一回議會以來法律案、豫算案、承諾ヲ求ムル議案、上奏案、建議案及決議案其ノ他質問、請願等ハ總テ開院式後ヨリ之ヲ受理スルヲ例トス但シ議員ノ資格ニ對スル異議申立書ハ議員ノ進退ニ關スル緊急事件トシテ召集日ニ之ヲ受理セリ

參看 一一三號

一八二 議案ハ停會中之ヲ受理セス

停會中ハ議院ニ於ケル諸般ノ行動ヲ停止セララルヲ以テ議案（其ノ他委員會報告書、質問、請願等）ノ提出アルモ之ヲ受理スルコトナシ

參看 四九號

一八三 議案ノ送付、回付、通知等ニハ一定ノ様式ヲ用ウ



議案ヲ送付、回付シ若ハ兩院協議會ヲ求メ又ハ議案ヲ通知スル場合ニハ其ノ旨ヲ記載シタル定式ノ書面ヲ附ス

參看 附錄一二ノ五

一八四 議案ノ送付、回付、通知等ハ概ネ議決ノ即日其ノ手續ヲ爲ス

議案ノ送付、回付、通知又ハ兩院協議會ノ請求ハ議案ノ議決後直ニ其ノ手續ヲ爲スヲ例トシ修正議決ヲ爲シタル場合ニ於テ其ノ修正複雑セルトキト雖議長ニ於テ之ヲ整理シ概ネ即日其ノ手續ヲ爲ス

參看 附錄一二ノ五

一八五 送付若ハ回付スヘキ議案ハ印本ヲ用ヅ

議案ヲ送付シ若ハ回付スル場合ハ常ニ印刷シタル議案ヲ用キルヲ例トシ修正ノ箇所複雑スルカ議

案印刷中ニ依ルトキハ淨書シタルモノヲ以テス

參看 六六一號、六六六號

一八六 議案ノ受理、送付、回付、通知等ハ議長之ヲ行ヒ其ノ公文書ニハ書記官長末尾ニ署名ス

議案ノ發受其ノ他本院ヨリ發スル通牒ハ議長ノ名ヲ以テス第四回議會以前ハ書記官長其ノ公文書ニ連署シタリシモ同會期ヨリ末尾ニ署名スルコトナレリ

一八七 案ノ送付、回付、通知等ハ議長故障アル場合ハ副議長ノ名ヲ以テス

第五回議會ニ於テ議長謹慎中又第十八回議會ニ於テ議長病氣中ナリシトキ副議長議事ヲ整理シタルニ依リ議案ノ送付、回付、通知等總テ副議長ノ名ヲ以テシタリ



參看 八六號、二一二號、五二二號

第三節 議案ノ印刷及配付

一八八 貴族院提出議案及送付、回付ノ議案ハ直ニ之ヲ印刷ニ付ス

政府提出ノ修正亦同シ但シ特別ノ場合ハ此ノ限ニ在ラス

政府提出議案ハ豫メ政府ニ印刷ヲ託セルニ依リ其ノ提出文ノミヲ印刷ニ付シ貴族院提出議案及回付議案ハ其ノ全部ヲ、又其ノ送付ニ係ル政府提出議案可決ノ場合ニハ送付文及提出文ノミヲ、修正議決ノ場合ニハ併セテ其ノ修正ノ部分ヲ直ニ印刷ニ付スルヲ例トシ其ノ全部ヲ印刷スルハ修正ノ箇所多數ナルカ又ハ修正ノ複雑セル等特殊ノ場合ニ於テノミ之ヲ爲ス政府ヨリ修正ヲ提出スル場合ニハ全部ヲ印刷ニ付スルヲ例トスルモ印刷ノ暇ナキトキハ直ニ議事ニ付スルコトナシトセス即チ左ノ場合ノ如キハ其ノ一例トス

第十回議會 明治三十年二月十七日明治三十年度豫算案歳出經常部海軍省所管ノ會議ニ際シ政府ヨリ同省所管中ノ修正ヲ提出シタルトキ議長(鳩山和夫君)ハ「今ニナツテカフ突然修正説ガ出テ來タ譯デゴザイマスガ金額ニハ變リガナクシテ唯ダ經常部ニアル費用ガ臨時部ニ往ク

ト云フフダケデゴザイマス印刷シテ御配付スル暇モナイノデゴザイマス直チニ議シテモ異議アリマセンカ」ト諮ヒ異議ナカリシニ依リ「ソレデハサウ云フコトニ致シマス後トデ、無論印刷シテ御配付致シマス」ト告ケタリ

一八九 議員提出議案ハ之ヲ印刷ニ付ス但シ特別ノ場合ハ此ノ限ニ在ラス

第十四回議會以來議員提出ノ議案ハ法律案タルト他ノ議案タルトヲ問ハス一定ノ用紙ヲ用キ其ノ形式、用字等ハ議長ニ於テ整理シ印刷ニ付スルヲ例トス然レトモ動議ニ付テハ從來印刷ニ付セサルモノ尠カラス

參看 一八五號、二一一號、五五〇號

一九〇 修正動議ハ場合ニ依リ之ヲ印刷ニ付ス

議案ニ對スル修正動議ハ概ネ議場ニ於テ議案ノ討議中提出セラルルヲ以テ印刷ニ付セサルヲ例ト

第一編 總則 第八章 議案 第四節 議案ノ整理 (一八八、一八九、一九〇)



スルモ討議前ニ提出セラルル場合ニ於テハ時ニ印刷ニ付スルコトナシトセス

一九一 特別ノ事情アルトキハ議案ヲ議事ニ付シタル後若ハ其ノ議了後ニ於テ之ヲ印刷シテ配付ス

貴族院ヨリ回付シタル議案、兩院協議會ノ成案又ハ委員長報告、請願ノ特別報告ニシテ緊急ノ議決ヲ要シ又ハ會期切迫等ノ場合ニ其ノ議案ノ議事ニ付セラレタル後又ハ其ノ議了後之ヲ印刷配付スルコトナシトセス

一九二 議案其ノ他ノ書類ハ各控室内備付ノ文書函ニ配付ス  
至急ヲ要スル場合ハ議席ニ配付ス

第一回議會ノ初ニ於テハ議案其ノ他ノ書類ハ議員ノ宿所ニ送致シタルモ同會期ノ半ヨリ各部室内(第十五回議會ヨリ)ニ文書函ヲ設ケ之ニ配付シ又至急ヲ要スル場合ハ議席ニ之ヲ配付ス(部室ヲ控室ニ改ム)

第十九回議會以來豫算案決算等浩瀚ナル議案ハ文書函ニ配付セス便宜上庶務課支室(配付係)ニテ之ヲ交付ス

參看 七一九號

#### 第四節 議案ノ整理

一九三 議案ノ形式ニ關スル整理ヲ議長ニ委任ス

第十三回議會 明治三十二年三月四日議長(片岡健吉君)ハ「會期モ切迫致シマシテ議案ニ付イテハ随分混雜スルコトモアリマスカラ念ノタメニ確メテ置キマスガ議案中ノ條數ノ繰合セ或ハ假名遣ヒ其他用字等ノ形式上ニ關スル整理ハ從來議長ニ御任セニナル慣例モアリマシタガ其通ニ取計ラツテ御異議アリマセヌカ」ト諮ヒタルニ異議ナカリキ

第十四回議會 明治三十二年十二月二日議長(片岡健吉君)ハ「是マデ諸君ヨリ提出セラレマシタル所ノ議案ニハ議案ノ形式、字句、假名遣等ガ區々ニナツテ居リマシテ毎度提出者ト御交渉ヲスルヤウナコトガアリマスルガ將來ハ格別意味ニ於テ違ハナイコトナラバ其形式或ハ字句、假名遣等ニ相違ノアルトキハ議長ノ手許デ訂正スルコトヲ御任セニナリマセウカ」ト諮ヒタルニ異議ナカリキ

第十五回議會以來ハ先例ニ依リ議長ニ於テ整理ヲ爲セリ



參看 一九二號

一九四 議決ノ結果ヨリ生スル議案ノ形式及條項ノ整理ヲ議長ニ委任ス

議案議決ノ結果トシテ異動ヲ生スヘキ條項ノ轉換等形式上ニ關スルモノニ付テハ其ノ整理ヲ議長ニ委任スルヲ例トシ又場合ニ依リテハ議決シタル條項ノ修正ヲモ議長ニ委任シタリ

(一) 形式上ニ關スル整理ヲ委任シタル例

第二回議會 明治二十四年十二月十四日伊藤大八君外三名提出集會及政社法改正案ノ會議ニ於テ田艇吉君ハ「唯今ノ植木君ノ御説デ第二條中デ一項ト二項ト三項ト項ガ違ツテ參リマシタニ就テハ第三條ノトコロデ第二條第二項ト云フ下ニ「及第三項」ト云フ四字ヲ入レタイノデゴザイマス(中略)是レハ修正上カラ自然ノ結果デゴザリマスデ此事ハ成立ツコトヲ希望致シマス」岡田良一郎君ハ「第二條第二項第三項ト致シマスヨリ第二條ノ手續ヲナシト致シマシテ第二項ト云フ字ヲ削ツタ方ガ宜シウゴザリマス」ト發議シ末松謙澄君ハ「マダ外ニモ斯ウ云ウコトガアリマシヨウ或ハ文字ニ於テハ相關聯スルコトモゴザイマセウデ若シ之レヲ見合ハセル

ト云ウト議場ノ議ヲ要スルコトニナラウト思ヒマスカラ私ハ之レヲ議長ニ一任シテ外ノ所モ訂正セラルルヤウニ致シタイ」トノ動議ヲ提出シ議長(中島信行君)ハ「末松君ノ動議ガアリマスガ文字上ノ不都合杯云フ場合ガアツタトキニハ議長ニ任スト云フコトデ「宜シイ」異議ナシ」ト呼フ者アリ」右ノ動議ヲ可決シタモノト見テ……」ト宣告シタリ

同日箕浦勝人君外三名提出新聞紙法案ニ付テモ田艇吉君ハ「尙ホ議長ニ御注意ヲ願ヒマスが大變條項ガ狂ツテ居リマスカラ……」ト述ヘタルニ議長ハ「夫ハ前ノ例ト同一ト認メマス」ト告ケタリ

(二) 議決條項ノ修正ヲ委任シタル例

第九回議會 明治二十九年三月十四日政府提出農工銀行法案ヲ議決シタルトキ議長(楠本正隆君)ハ「第二十條ガ委員會ノ修正通決定シタル以上ハ第六條ノ第二號中ニ「定期及年賦償還ノ貸付ヲ爲ス」ト云フ如キ修正ガナクテハ前後衝突ハセマカト云フ心配ヲ生ジマスガ別ニ氣遣ハゴザイマセヌカ此等ノ整理ハ議長ニ御一任ヲ請ヒマス」ト諮ヒタルニ異議ナカリシヲ以テ議長ハ整理トシテ第六條第二號中ニ「年賦」ノ上ニ「定期及」ヲ加ヘ貴族院ニ送付シタリ

第二十五回議會 明治四十二年三月二十二日村松恆一郎君外一名提出新聞紙法案ノ會議ニ於テ確定議ニ入ルヤ元田肇君ハ「唯今ニ讀會デ修正セラレタ通りニ確定セラレンコトヲ望ミマス、



尙附加ヘテ申シテ置キマスガ、先刻立川君ヨリ提出サレテ修正ニナツタ中デ文字ヲ削リマシタ  
タメニ上ダケヲ殘シテ其儘デハ文章ガオカシクナリマスカラ「又ハ」ト云フ字ヲ加ヘル必要ガ  
アラウト思フ、是ハ僅ニ字句ノ修正デアリマスカラ議長ニ御委セシテ法文ノ體裁ヲ明カニシ  
タイト思ヒマス、其ノ意味ニ於テ御賛成ヲ願ヒマス」ト發議シ議長(長谷場純孝君)ハ「其ノ他意  
味ニ於テ異ナルトコロナケレバ「又ハ」トカ「若ハ」トカ字句ノ修正ハ元田肇君御發議ノ通り、  
議長ニ御委セニナツテ差支アリマセヌカ」ト諮ヒ異議ナカリシヲ以テ院議第二讀會修正議決  
ノ通可決確定セリ

### 第五節 議案ノ消滅

#### 一九五 同種議案中ノ一案ヲ議決シタルトキハ他ノ同種議案ハ消滅ス

同種議案ノ一案ヲ議決シタルトキハ其ノ結果トシテ他ノ議案ハ議決ヲ要セサルモノナルニ依リ議  
長ハ其ノ消滅ヲ認メ若ハ院議ニ諮ヒ之ヲ宣告シ又ハ場合ニ依リ之カ否決ヲ宣告ス

第三十一回議會 大正三年三月五日長谷場純孝君外六名提出織物消費稅法中改正法律案議決ノ  
結果武富時敏君外一名提出及岡部次郎君提出織物消費稅法中改正法律案ニ付議長(大岡育造  
君)ハ「武富案ニ付テ一讀會ヲ開クベキヤヲ問ヒマス等デアリマスガ、岡部次郎君ノモ同ジク、

此場合修正ノ案ガ既ニ可決シタ以上ハ、兩案共ニ否決ノ報告ガ自然ニ決定シタルコトト議長  
ハ認メタノデアリマス、御異議アリマセヌカ……御異議ナシト認メマス」ト宣告セリ

第三十七回議會 大正五年二月十日高木正年君外十名提出軍人恩給法中改正法律案議決ノ結果  
木津太郎平君外二名提出及柏原文太郎君外一名提出軍人恩給法中改正法律案ニ付議長(島田  
三郎君)ハ「……木津太郎平君提出ノ案ト柏原文太郎君ノ案ハ自然ニ採決ノ必要ノナイコトニ  
ナリマス」ト告ケタリ

第四十一回議會 大正八年三月八日政府提出衆議院議員選舉法中改正法律案議決ノ結果高木益  
太郎君外三名提出及武富時敏君外六名提出衆議院議員選舉法中改正法律案ニ付議長(大岡育  
造君)ハ「唯今ノ決議ノ結果、議員ヨリ提出ノ二案ハ廢棄セラレ……マシタ」ト宣告セリ

第四十一回議會 大正八年三月十五日田中隆三君外二名提出耕地整理法中改正法律案ノ第一讀  
會ノ續會ニ於テ岩崎勳君ハ「本案ハ、日程第一耕地整理法中改正法律案(政府提出)修正議決ノ  
結果、議決ヲ要セズト決定サレンコトヲ望ミマス」トノ動議ヲ提出シ議長(大岡育造君)ハ「岩  
崎君動議ノ通り御異議アリマセヌカ、御異議ナシト認メマス即チ本案ハ議決ヲ要セズト決シ  
マシタ」ト宣告セリ



一九六 一議案他ノ議案ニ對スル修正案トシテ議決セラルトキハ自然消滅ス

第二十八回議會 明治四十五年三月五日議事日程第八ニ掲載セル田川大吉郎君提出衆議院議員選舉法中改正法律案ハ其ノ前ノ日程タル政府提出衆議院議員選舉法中改正法律案ノ第二讀會ニ於テ修正案トシテ提出シ議決セルヲ以テ自然消滅シタリ

一九七 採決ノ必要ナキニ至レル動議ハ消滅シタルモノト認ム

第三十一回議會 大正三年二月十六日議事日程第一乃至第十一ノ會議ニ際シ議長(大岡育造君)ハ「念ノタメニ此處ニ申上ゲテ置キマス一昨日右各案ノ討議ニ際シ……伊藤大八君ヨリ十二時ヲ經過スルモ議事ヲ延長シテ各案ヲ議了スベシトノ動議……ガ出タノデアリマスガ伊藤君ヨリ十二時ヲ經過スルモ議事ヲ延長スルト云フ動議ハ今日ニ於テハ其決ヲ採ルノ必要ハナイノデアリマスカラ是ハ消滅シタモノト見ルノデアリマス、從ツテ同日川原君ヨリ動議ノ出マシタ即チ採決ノ必要ノナイモノニヤハリ屬スルノデアリマス」ト告ケタリ

第四十二回議會 大正九年二月二十六日武富當時敏君外五名提出衆議院議員選舉法中改正法律案ノ

會議ニ於テ鈴木富士彌君ハ「議長ハ三木君ニ警戒ヲ與ヘテ、其警戒ニ從ハナカッタカラ、退場ヲ命ジタト云フ趣意ノ宣告デアリマシタガ、三木君ニ警戒ヲ與ヘタル事實ハ斷テアリマセヌ……故ニ此事實ノ有無ヲ取調ベラレルコトガ先決問題デアリマス、故ニ此事實ノ有無ヲ取調ベル爲メニ、休憩ヲ致シマシテ、速記録ヲ御取調ヲ願ヒマス」トノ動議ニ對シ未タ採決ニ至ラスシテ議場騒然タリシ爲議長(大岡育造君)ハ休憩ヲ宣告シ後再ヒ會議ヲ開キ議長ハ「……尙ホ議事ノ進行ニ關シテ休憩ヲ求メラレタノデアリマス、既ニ御希望ニ從ッテ休憩ヲ致シマシタコトデアリマスカラ、別ニ採決ヲ致サズトモ宜カラウト存ジマス」ト告ケタリ

第六節 議案ノ撤回

一九八 撤回ノ請求ハ書面又ハ口頭ヲ以テス

議員其ノ提出議案、修正案若ハ修正動議ヲ撤回セムトスル場合ニハ書面ヲ議長ニ差出シ又ハ口頭ヲ以テ之ヲ請求スルヲ例トス

一九九 政府提出議案撤回セラルルトキハ貴族院ニ通牒ス



政府提出議案ニシテ撤回セラレタルトキハ他院ニ其ノ旨ヲ通牒シ又一院ノ議決ヲ經テ他ノ一院ニ送付後撤回セラルル場合ニハ送付ヲ受ケタル議院ヨリ送付アリタル議院ニ之ヲ通牒スルヲ例トス

### 二〇〇 撤回ハ提出者全部ヨリ請求スルヲ要ス

議案ノ提出者二名以上アル場合ニ於テ議案ヲ撤回スルニハ提出者全部ヨリ請求スヘキヤ否ニ付テハ明文ナキモ議院ノ慣例ハ全部ヨリ請求スルヲ要スルモノトス

第三十回議會大正二年二月二十七日元田肇君外十名提出決議案、内閣信任ニ關スル件ニ對シ提出者全部ヨリ撤回ヲ請求シ議長(大岡育造君)ハ其ノ許否ヲ院議ニ諮ヘルトキ「提出者全部ヨリ撤回ノ申出ガアリマス」ト告ケタリ

參看 二〇三號

### 二〇一 議員提出議案ハ院議ニ上リタル後ハ議院ノ許可アルニ非サレハ撤回スルコトヲ得ス 修正案、動議亦同シ

議員提出議案、修正案若ハ修正動議又ハ動議ニシテ院議ニ上ラサル前ナルトキハ提出者ヨリ之ヲ撤回スルニ議院ノ許可ヲ經ルヲ要セサルモ既ニ院議ニ上リタルモノニ付テハ議院ノ許可ヲ經ルヲ要ス

#### (一) 議事日程又ハ院議ニ上リタル議案ノ撤回ヲ許可シタル例

第四十二回議會 大正九年二月二十六日會議ヲ開キヤ古島一雄君外四名提出衆議院議員選舉法中改正法律案、坂本金彌君提出衆議院議員選舉法中改正法律案ハ孰レモ其ノ提出者ヨリ撤回ヲ請求セルニ議長(大岡育造君)ハ「御諮リ申ス事ガアリマス、日程第二衆議院議員選舉法中改正法律案、日程第三衆議院議員選舉法中改正法律案、右兩案ハ各提出者ヨリ孰レモ撤回ノ申出カアリマシタ、許可スルコトニ御異議ハアリマセヌカ」ト諮ヒ院議異議ナク許可スルニ決セリ

#### (二) 委員審査中ノ議案ノ撤回ヲ許可シタル例

第四十回議會 大正七年三月二日會議ニ於テ恆松隆慶君外十名提出日本勸業銀行法中改正法律案外二件議決ノ後恆松隆慶君ハ「唯今日本勸業銀行法外二案ガ、委員長報告通り議了ニナリマシタ、此等ノ問題ニ關聯致シマシテ、曩ニ農工銀行法中改正案ヲ本員ガ提出致シマシタガ、此ノ問題ニ付テハ篤ト攻究致シタイ考ガ御座イマスノデ、ドウカ此ノ場合本會ノ同意ヲ得マシ



テ一應撤回致シタイト云フコトヲ申出マス、ドウカ御許可アラシコトヲ希望致シマス」ト述ヘ  
議長(大岡育造君)ハ「恆松君ノ撤回ノ議ニ御異議ハアリマセヌカ」ト諮ヒ院議異議ナク撤回ヲ  
許可スルニ決セリ

同三月二十日ニ同一ノ事例アリ

(三) 委員審査ヲ終リタル議案ノ撤回ヲ許可シタル例

第二十八回議會 明治四十五年三月二十日中川虎之助君外十三名提出砂糖消費稅法中改正法律  
案第一讀會ノ續會ニ於テ提出者山岡國吉君ハ「私ハ提出者ノ一人デアリマス、而シテ此特  
別委員ノ一人デモアリマスルノデアリマスルカラ、此ノ案ハ撤回ヲ致シマスルニ付テ、撤回ノ  
理由ヲ一言致シタウゴザイマス御許ヲ願ヒタイト請求シ議長ノ許可ヲ得……委員會ハ四回程  
委員會ヲ開キマシテサウシテ調査ノ上ニ調査ヲ重ネ、政府ノ意見モ聽キマシテ、全會一致ヲ以  
テ可決シタノデアリマス、所ガ此ノ可決ヲ致シマシタ案デハアリマスルガ、政府ノ之ニ對スル  
意嚮ハドウデアアルカト云フト誠意ヲ以テ之ヲ調査スルト云フノ言明デアアルノデアリマス、此  
處ニ其ノ政府ノ意嚮ヲ述ベマスレバ政府ニ於テハ此問題ハ重要ナル問題ト信ズルノデアリマ  
ス、其ノ理由ハ第一ハ財政ノ問題ガ纏綿シテ居ルノデアリマス、第二ハ稅制統一ト云フ總テノ  
見地カラ大ニ研究シナケレハナラヌ問題デアラウト思フ、又一ハ稅ノ權衡ヲ保ツト云フ輕重

ト云フ點カラモ考ヘナケレハナラヌ問題デアッテ輕卒ニ決スベキ問題デハナイト思フノデ、稅  
制全般ニ互テ調査ヲシマシテ出來得ルナラバ其ノ結果ヲ來年ノ豫算ヲ組ムトキマデニ見タイ、  
而シテ諸君ノ希望モ充タシタイト云フ考デ、日夜研究調査ヲ致シテ居ルノデアリマスルト云  
フ、斯ウ云フノデアリマス、ソコデ斯ウ云フ政府ノ御意嚮デアリマスルカラ調査ハ要ラナイト  
マデ申シマスルコトハ、餘リ無理斯ウ云フ政府ノ御意嚮デアリマスルカラ調査ハ要ラナイト  
マデ申シマスルコトハ、餘リ無理ニ當リマスカラシテ、政府ノ言明ヲ諒ト致シマシテ、假スニ  
調査ノ日ヲ以テスルト云フコトニ致シマシタ、即チ日夜研究調査ヲ致シマシタ其ノ結果ヲ見  
マスル間、兎モ角本法律案ハ撤回ヲ致スト云フコトニ致シタノデアリマスト述ヘ院議異議ナ  
カリシヲ以テ議長(大岡育造君)ハ撤回ハ許可セラレタル旨ヲ宣告セリ

(四) 院議ニ上リタル修正案ノ撤回ヲ許可シタル例

第十四回議會 明治三十三年一月二十六日政府提出產牛馬組合法案ノ第二讀會ニ於テ議長(片  
岡健吉君)ハ「第九條ニ就テ長谷場純孝君カラ修正說ヲ出サレテ其ノ討論中デアリマシタガ此  
修正說ヲ撤回シテ十條ヲ加ヘタイト云フコトヲ申出ニナツテ居リマス……之ヲ撤回スルニ  
就イテ御異議ハアリマセヌカ」ト諮ヒ、同月二十九日西原清東君外三名提出裁判所設立及管轄  
區域變更ニ關スル法律案ニ對スル委員會ノ修正案ニ付議長ハ「委員長ヨリ撤回スル旨ヲ申出



ラレマシタガ許可シテ御異議ハアリマセヌカト諮ヒタルニ孰レモ異議ナカリキ

(五) 院議ニ上リタル動議ノ諮回ヲ許可シタル例

第三十一回議會 大正三年二月十四日關直彦君外五名提出營業税法廢止法律案外十件ノ會議ニ於テ守屋此助君ハ右各案ヲ再審査ニ付スルノ動議ヲ提出シ長晴登君ヨリ本動議ハ討論スヘキ性質ノモノニアラサレハ直ニ反對ヲ聲明スト述ヘ次テ討論ヲ用キルノ必要ナキニ依リ討論ノ終結スヘシトノ動議ヲ提出シ議長(大岡育造君)ハ之ヲ採決シ多數ノ宣告ヲ爲セルニ異議アリ依テ記名投票ヲ行フ旨ヲ宣告シ氏名點呼ニ際シ議員ヨリ議事進行ニ關シ又討論終局ノ動議ニ關シ質疑ヲ爲シ議長ハ之ヲ辯明シ一時休憩ヲ爲セリ再ヒ會議ヲ開キ「長晴登君ヨリ先刻ノ討論終結ノ動議ハ議場ノ紛擾ヲ避ケルタメニ撤回スト云フ申込ガアリマス仍テ之ヲ許可スルニ御異議ハアリマセヌカト諮ヒ」異議ナシト認メマスト告ケ其ノ撤回ヲ許可シタリ

(六) 院議ニ上リタル動議及議案ノ撤回ヲ許可セザリシ例

第四回議會 明治二十五年十二月十七日杉田定一君外一名提出海事改革建議案ノ會議ニ於テ江原素六君ハ本案ノ會議ヲ明後日ニ延期スルノ動議ヲ提出シ後「前説ヲ引キマス」ト云ヘルニ議長(星亨君)ハ「前説ヲ引イタ所ガ是ガ既ニ議場ノ贊成ヲ得テ居ルデスカラ其人ガ同意シナケレバ出來ナイ話ダ——決ヲ採ルヨリ外仕方ガナイ」ト告ケ撤回ヲ許サスシテ延期ノ動議ヲ採

決セリ

第九回議會 明治二十九年二月二十五日佐々友房君提出決議案ノ會議ニ際シ議長(楠本正隆君)ハ「此所ニ該案ノ提出者ヨリ撤回ノ請求ガゴザイマス即チ朗讀ヲ致シマス」ト報告セルニ撤回ノ理由ヲ質問シ又ハ反對贊成アリタルヲ以テ議長ハ「該案ハ撤回スベシト云フノガ問題デアル之ニ對シテ撤回ヲ許サスト云フノガ則チ反對デゴザイマス」撤回ヲ許スベカラズト申スコトニ同意ノ諸君ハ起立」ト宣告セルニ起立者多數ナリシヲ以テ撤回ヲ許可セザリキ

參看 五五二號

二〇二 議案ノ撤回ニ際シ其ノ理由ヲ述フ

議員ヨリ其ノ提出セル議案ノ撤回ヲ請求スル場合又ハ未タ院議ニ上ラサル議案ノ撤回ニ際シ撤回ノ理由ヲ述ヘタルコト尠カラス

第八回議會 明治四十五年三月二十日中川虎之助君外十三名提出砂糖消費税法中改正法律案ノ撤回ヲ請求スルニ際シ提出者山岡國吉君ハ其ノ理由ヲ述ヘタリ



第三十五回議會 大正三年十二月十五日元田肇君外五名提出決議案(御大禮費豫算提出ノ件)賛成者關直彦君ハ提出者ニ代リ日本政府ヨリ御大禮ニ關スル豫算ヲ提出セルニ依リ決議案ノ目的ヲ貫徹シタルニ付之ヲ撤回スル旨ヲ述ヘタリ

第三十七回議會 大正五年二月十八日木村平右衛門君外一名提出地方産業資金ニ關スル建議案ノ撤回ヲ請求スルニ際シ木村平右衛門君ヨリ其ノ理由ヲ述ヘタリ

二〇三 撤回ノ請求ハ賛成者ノ同意ヲ要セス

提出者ヨリ議案其ノ他動議ヲ撤回スル場合ニハ賛成者ノ同意ヲ要セス

第十四回議會 明治三十二年十二月二日地租條例中改正法律案外四件ヲ提出者ヨリ撤回シタル旨報告シタルトキ星亨君ハ議長ニ對シ撤回ノ申出ハ賛成者ノ同意ヲ要セサル先例アルヤ否ヲ問ヒタルニ議長(片岡健吉君)ハ「此迄斯ウ云フ例ガアルサウデアリマス」ト告ケタリ

參看 一九八號、二〇〇號

二〇四 撤回ハ提出者ノ請求ニ依ルニ非サレハ之ヲ議題ト爲サス

撤回ノ請求ハ提出者以外ノ者ヨリ之ヲ爲スコトヲ得ス但シ撤回セシムヘシトノ動議ハ何人ヨリ之ヲ提出スルモ妨ナシ

第八回議會 明治二十八年二月十二日重岡薫五郎君提出決算ニ關スル決議案ノ會議ニ於テ元田肇君ハ本案ノ撤回ヲ發議シタルニ議長(楠本正隆君)ハ「元田君ノ撤回ノコトハ先例ニハゴザイマセヌ提出者ノ請求ニ依ルニアラズンバ決議ヲ採ル場合ニ參リマセヌ」ト宣告シ此ノ發議ヲ斥ケ元田君ヨリ更ニ本案ノ議事ヲ延期スヘシトノ動議ヲ提出シタルヲ以テ之カ採決ヲ爲シタリ

參看 一九八號、二〇〇號

二〇五 撤回シタル議案ハ再ヒ之ヲ提出スルヲ妨ケス

政府ハ何時タリトモ既ニ提出シタル議案ヲ撤回スルコトヲ得ルハ議院法第三十條ノ規定スルトコ

第一編 總則 第八章 議案 第六節 議案ノ撤回 (二〇二、二〇三、二〇四、二〇五) 百四十五



ロトス而シテ政府ハ左ノ議案ニ對シテハ撤回ノ後再ヒ同日又ハ翌日若ハ日ヲ隔テテ之ヲ提出シタ  
リ  
議員提出案ニ付テモ撤回後再ヒ提出シタルモノ尠シトセス

第一 政府提出議案

(一) 委員ノ審査中ニ撤回シ當日再ヒ提出シタル例

第十六回議會 明治三十四年十二月二十六日明治三十五年度豫算案

(第二十二回議會明治三十九年三月十七日明治二十九年法律第六十三號ニ代ルヘキ法律案ヲ貴  
族院ニ提出シ同月二十五日委員ノ審査中之ヲ撤回シ同日臺灣ニ施行スヘキ法令ニ關スル法律案  
トシテ更ニ提出シタリ)

(二) 委員ノ審査ニ著手セサル前撤回シ翌日再ヒ提出シタル例

第十回議會 明治三十年一月十九日明治三十年度豫算案、明治二十九年豫算追加案

(三) 委員ノ審査ヲ經議事日程ニ上レルヲ撤回シ翌日再ヒ提出シタル例

第九回議會 明治二十九年三月二十五日臺灣ニ施行スヘキ法令ニ關スル法律案

(四) 本院ヲ通過シ貴族院ニ送付後撤回シ翌日再ヒ提出シタル例

第十五回議會 明治三十四年二月二十六日貴族院ニ送付シタル明治二十九年法律第四號中改正

法律案ハ三月十九日ヲ以テ之ヲ撤回シ翌日司法官試補實地習修期間ニ關スル法律案ト改題シ  
再ヒ貴族院へ提出シタリ蓋明治二十九年法律第四號ノ效力ハ貴族院停會中消滅シタルヲ以テ  
改正ヲ施スニ由ナク即チ本案ノ如ク改メタルナリ

(五) 委員ノ審査中ニ撤回シ翌々日再ヒ提出シタル例

第十三回議會 明治三十二年二月三日明治三十二年度豫算追加案外二件

同三十二年二月二十五日明治三十二年度豫算追加案外二件

(六) 委員ノ審査ニ著手セサル前撤回シ日ヲ隔テテ再ヒ提出シタル例

第十三回議會 明治三十一年一月十四日明治三十一年度豫算追加案外二件

第二 議員提出議案

院議ニ上ラサル前撤回シ當日、翌日若ハ日ヲ隔テテ再ヒ提出シタル例

第十六回議會 明治三十五年一月二十五日松田正久君外一名提出東北大學設置建議案犬養毅君  
外七名提出東北大學設置ニ關スル建議案(右兩案ハ併合ノ上松田正久君外三名ヨリ再ヒ提出  
ス)

第二十五回議會 明治四十二年二月二十四日千田軍之助君外六名提出關稅定率法輸入稅法中改

正法律案(以上當日提出)



第三十三回議會 大正三年六月二十三日白川友一君外十六名提出輕便鐵道補助法中改正法律案  
(翌日提出)

第十四回議會 明治三十二年十二月一日尾崎行雄君外四十三名提出地租條例中改正法律案外四  
件、同月八日市島謙吉君外一名提出學政改革調查會設置ニ關スル建議案、安藤龜太郎君外五名  
提出學政改革調查會設置ニ關スル建議案(右兩案ハ併合ノ上安藤龜太郎君外五名ヨリ再ヒ提  
出ス)

第三十一回議會 大正三年二月十八日小泉又次郎君外十六名提出衆議院議員選舉法中改正法律  
案

第四十回議會 大正七年三月二十日渡邊陳平君外四名提出七井烏山間敷設輕便鐵道茂木町經由  
ニ關スル建議案(以上日ヲ隔テテ提出)

參看 一八〇號、二〇一號

二〇六 政府提出案撤回ニ關シ質疑ヲ爲シ國務大臣其ノ理由ヲ述フ

第四十回議會 大正七年三月十九日政府提出衆議院議員選舉法中改正法律案撤回ノ報告アルヤ齋  
藤隆夫君及野添宗三君ヨリ撤回ノ理由ヲ質シタルニ之ニ對シ後藤內務大臣ハ撤回ノ理由ヲ演說  
シタリ

二〇七 院議ヲ以テ質問趣意書ヲ撤回セシム

第三十九回議會 大正六年七月三日鶴澤聰明君ハ「議員樋口秀雄君ヨリ提出シタル寺內内閣總理  
大臣並ニ本野外務大臣ニ對スル質問趣意書ハ事秘密會議ノ議事ニ互リ議院ノ信用ヲ傷クルモノ  
ト認ム提出者ハ速ニ該質問趣意書ヲ撤回スヘシ、此決議案ヲ緊急動議トシテ提出シタイト思ヒ  
マスカラ御賛成ヲ願ヒマス」トノ動議ヲ提出シ樋口秀雄君ハ「……私ハ斷シテ秘密會議ノ記事ハ  
之ヲ公刊スルコトヲ得スト云フヤウナ茫漠タル條文ノ下ニ、其ノ中ニ論及セラレタル一言一句  
ヲ引用シテモ、之ヲ以テ秘密會議ノ内容ヲ發クガ如キモノダト云ッテ、私ノ言論ヲ拘束スルガ如  
キ議論ニハ、私ハ斷ジテ反對致スノデアリマス」ト述ヘ反對シ賛否ノ討論ノ後討論終結ノ動議出  
テ次テ院議此ノ動議ヲ可決シ樋口君ハ「院議トアレバ多數ニ服センケレバナリマセヌカラ、遺憾  
ナガラ撤回致シマス」ト告ケ之ヲ撤回シタリ



第七節 議案ノ奏上

二〇八 議案奏上ノ文例ハ一定ノ様式ニ依ル

議案奏上ノ文例ハ衆議院規則第四百十六條及第四百十七條ニ掲ケアルモ總テノ場合ニ適用スヘカラサルヲ以テ事後承諾案ニ付テハ別ニ文例ヲ用キルコトトセリ而シテ奏上書ニハ議長書記官長ノ署名ノミニシテ捺印セス且別ニ内閣總理大臣ニ宛添書ヲ用キ議長書記官長署名捺印セリ

參看 附錄一二ノ六

二〇九 議案ノ奏上ハ即日之ヲ爲ス

法律案豫算案又ハ承諾ヲ求ムル議案等兩院ノ議決ヲ要スルモノニシテ貴族院ヨリ送付、回付若ハ提出ヲ受ケ本院ニ於テ之ヲ可決シ又ハ貴族院ノ修正ニ同意シ或ハ兩院協議會ヲ經テ其ノ成案ノ移送アリタルモノヲ可決シ議案兩院ヲ通過シタルトキハ議長ハ整理ノ上即日内閣總理大臣ヲ經由シ奏上ノ手續ヲ爲シ同時ニ其ノ旨ヲ貴族院ニ通知スルヲ例トス

政府提出ノ議案ニシテ本院ニ提出セラレタルト貴族院ヨリ轉送シタルモノナルトヲ問ハス本院ニ於テ之ヲ否決シタルトキ亦同シ

二一〇 豫備金支出ノ件(承諾ヲ求ムル議案)ノ一部ニ對シ承諾ヲ與ヘサルトキハ即日其ノ部分ヲ奏上ス

第二十一回議會 明治三十八年二月十四日明治三十六年度豫備金支出ノ内文部省所管臨時教科書編纂費及明治三十六年度特別會計豫備金支出ノ内内務省所管基隆築港維持費ニ對シ院議承諾ヲ與ヘサリシニ依リ即日其ノ部分ヲ奏上シタリ第二十二回、第二十四回、第二十六回議會ニ於テモ一部不承諾トナレル部分ニ對シ此ノ例ニ依レリ

參看 五一號

二一一 奏上ノ議案ハ印本ヲ用ウ

第十二回議會以前ハ議案ヲ奏上スル場合ニハ之ヲ淨書シタルモ同會期ヨリハ印刷シタルモノヲ用

第一編 總則 第八章 議案 第七節 議案ノ奏上 (二〇八、二〇九、二一〇、二一一) 百五十一



キルコトナレリ

議第一三條

二二二 議案ノ奏上ハ議長故障アル場合ハ副議長ノ名ヲ以テス

議長病氣其ノ他ノ故障ニ依リ副議長議事ヲ整理シタル場合ニハ其ノ議案ノ奏上ハ副議長ノ名ヲ以テス即チ第五回議會ニ於テ議長謹慎中ナリシトキ及第十八回議會ニ於テ議長病氣中ナリシトキノ如キ是ナリ

參看 一八七號、五二二號

議第三二條

二二三 可決奏上ノ法律案ニシテ一モ次ノ會期迄ニ裁可公布セラレサルモノナシ

第一回乃至第四十二回議會ニ於テ法律案ノ兩院ヲ通過シタルモノ千三百二十一件ニシテ悉ク次ノ會期迄ニ裁可公布セラレタリ而シテ其ノ最速キハ奏上ノ即日ニシテ最モ遅キハ二百七十日ニ及ヒタルモノアリ

## 第二編 會議

### 第一章 議事日程

#### 第一節 議事日程ノ掲載

二二四 議事日程掲載ノ序次ハ議長之ヲ定ム

議第二六條  
衆第八五條

議事日程ヲ定ムルハ議長ノ職權ナルヲ以テ其ノ序次モ亦議長ニ於テ之ヲ定ム然レトモ普通ノ場合ニ於テハ自ラ一定ノ順序アリ即チ每會期ノ始ニ於テハ全院委員長及常任委員ノ二選舉ヲ掲載ス(但シ第十九回議會ニ於テハ末尾ニ議員ノ資格審査ニ付委員選舉ノ件ヲ掲載シ又第二十回(臨時)議會ニ於テハ開院式當日ニ選舉ヲ行ヒ日程ハ作成セス)而シテ議案ニ在リテハ豫算案ハ日程ノ首位ニ置キ又議事日程ヲ議了セスシテ散會セシトキハ其ノ議了セサリシ議案ハ次回ノ議事日程ノ首位ニ置キ又議案、貴族院提出議案及議員提出議案ノ各案毎ニ)ニ置ク次テ法律案、事後承諾案、上奏案、建議案、決議案ヲ載セテ請願ハ其ノ最終ニ掲載ス法律案中ニ在リテハ第一讀會及其ノ續會、第二讀會、第三讀會ノ順序ニ從テ掲載シ第一讀會ノ續會ニ於テハ第三回議會以來讀會ノ下ニ括弧ヲ

第二編 會議

第一章 議事日程

第一節 議事日程ノ掲載

(二二四)



施シ委員長報告(第十回議會ノ中央マテ)ト記載ス

參看 二二八號、二二九號

衆第七四條

二二五 延會セラレタル議案ハ次會ノ議事日程ノ首位ニ置クヲ例トス

當日ノ議事日程ニ掲載セラレタル議案ニシテ議了セス延會セラレタルモノハ次會ノ議事日程ニ於テハ各其ノ同種議案ノ首位ニ置クヲ例トシ每會期其ノ例尠カラス但シ提出者ノ不在其ノ他ノ事情ニ依リ延期セラレタル議案ハ此ノ限ニ在ラス

二二六 議事日程ニハ議案ノ提出者(送付回付ニ係ルモノハ其ノ旨)ヲ表示ス

政府又ハ貴族院提出ノ議案ナルト議員提出ノ議案ナルトヲ問ハス議事日程ニハ件名ノ下括弧内ニ其ノ提出者ヲ又貴族院ヨリ送付又ハ回付シタルモノナルトキハ提出者ノ下ニ其ノ旨ヲ表示スルモ豫算案決算及承諾ヲ求ムル議案ハ何レモ提出者ヲ表示セサルヲ例トス但シ承諾ヲ求ムル議案ハ件

名ノ下括弧内ニ「承諾ヲ求ムル件」ヲ表示シ兩院協議會ノ成案ハ其ノ件名ノ下括弧内ニ「兩院協議會成案」ヲ表示ス尙協議調ハサリシ場合ニハ「兩院協議會議長報告」トシ之ヲ區別ス

議第二八條

二二七 政府及貴族院提出議案ヲ議事日程ニ掲載スル場合ハ各案毎ニ其ノ審査ヲ付託スヘキ委員選舉ノ件ヲ掲ケ法律案ニハ讀會ヲ表示ス

政府及貴族院提出ノ議案ハ必ス委員ニ付託スヘキモノナルヲ以テ議案件名ノ次ニ「右議案ノ審査ヲ付託スヘキ委員ノ選舉」(第十四回議會マテハ)ナル一項ヲ置キ法律案ニ付テハ讀會ヲ表示スルヲ例トス

議第二七條  
衆第二八條

二二八 政府ヨリ議院法第二十七條但書及第二十八條但書ニ依リ又ハ單ニ緊急事件トシテ議決セムコトヲ要求シタル議案ハ定規ノ日時ヲ短縮シテ議事日程ニ掲載ス

第一讀會ハ議案配付後少クトモ二日ヲ隔テテ之ヲ開クヘキモノナルニ依リ議事日程ノ掲載ハ配付後二日ヲ隔ツルヲ要スルモ政府ヨリ議院法第二十七條但書、第二十八條但書ニ依リ又ハ單ニ緊急事件トシテ議決セムコトノ要求アリタルトキハ或ハ院議ニ諮ヒ若ハ諮フコトナクシテ定規ノ日時

第二編 會議

第一章

議事日程

第一節 議事日程ノ掲載

(二二五―二二八)

百五十五



ヲ短縮シ又ハ定規ノ日時ヲ經テ之ヲ掲載スル等其ノ例一ナラサリシカ第十二回議會(明治三十一年五月二十七日)ニ於テ緊急事件トシテ議決セムコトノ要求アリタル地租條例中改正法律案外八件ヲ定規ノ日時ヲ短縮シテ日程ニ掲載シタルトキ河野廣中君ハ「該法律案ハ緊急事件トアルモ議院法ニ依ラサルモノナルヲ以テ四十八時間ヲ經サレハ院議ニ付スヘカラス」トノ動議ヲ提出シ鳩山和夫君亦衆議院規則第八十八條ニ依テ二日ヲ隔ツヘキモノナリト主張シテ此ノ動議ニ贊成シ重岡薫五郎君ハ二日ヲ隔ツルヲ要セスト反對シ院議多數ヲ以テ其ノ動議ヲ否決セリ次テ長谷場純孝君ハ「政府ハ右諸案ニ對スル緊急事件ノ要求ヲ取消スヘシ」トノ動議ヲ提出シ其ノ採決ニ際シ末松遞信大臣ハ「政府ヲ代表シテ緊急事件ノ要求ヲ取消ス」旨ヲ述ヘ議長(片岡健吉君ハ)「唯今……緊急事件トシテ提出スルコトヲ取消サレタト申スコトデアリマスカラ是ハ明日ノ議事日程ニ載セルコトニシテ……」ト宣告シタリ其ノ後緊急議決ノ要求アル場合ニハ日時ヲ短縮シテ日程ニ掲載スルコトトナレリ

參看 三四二號、四六八號、四六九號、四八六號

二一九 前號ノ場合ニ於テハ讀會ノ表示、委員選舉ノ件ハ之ヲ掲ケス但シ單ニ緊急事件トシテ要求セルモノハ此ノ限ニ在ラス

政府ハ議院法第二十七條但書及第二十八條但書ニ依リ讀會及委員ノ審査ヲ省略セムコトヲ求ムルコトアリ或ハ第二十八條但書ニ依リ委員ノ審査ヲ省略セムコトヲ求ムルコトアリ或ハ單ニ緊急事件トシテ議決セムコトヲ求ムルコトアリ此等ノ場合ニ於テハ讀會ノ表示及委員ノ選舉ナル事項ヲ日程ニ掲ケ若ハ掲ケサル等其ノ例一ナラサリシカ第十二回議會(明治三十一年五月二十七日)ニ於テ議長(片岡健吉君)ハ政府ヨリ單ニ緊急事件トシテ議決セムコトヲ要求セル地租條例中改正法律案外八件ニ對シ讀會及委員選舉ヲ掲載シ會議ノ始ニ於テ「今日ノ議事日程ニ就テ御報告致シテ置クコトガアル是マデ此政府提出案ヲ緊急事件トシテ參ルノガアリマスガ其手續ガ區々ニナッテ居リマス此度政府ト本院ノ事務局ト協議ノ上デ將來ハ斯克定メタノデアリマス唯政府ガ緊急事件トシテ提出セラルル分ハ今日ノ議事日程ノ如ク矢張特別委員ヲ選ムノデアアル政府ガ緊急事件トシテ議院法第二十七條ノ但書又ハ第二十八條ノ但書ニ依ッテ緊急事件トシテ議案ヲ提出セラレタ分ハ是ハ或ハ特別委員ヲ選マズ或ハ讀會省略ヲシテ決スル議案ト致シマス其二十七條二十八條ノ但書ニ依ラズシテ唯緊急事件トシテ提出セラレタル分ハ今日ノ如クニ致シマス」ト宣告セルニ河野廣



中君ハ「議院法二十七條但書及二十八條但書ニ依ラザレバ緊急事件ト云フヲ得ズ然ルニ議長ハ將來ト雖此例ニ依ルトノ報告ハ穩當ヲ闕ケリ此ノ如キハ議場ニ諮フテ決スベキモノナリ」トノ動議ヲ提出シ肥塚龍君工藤行幹君ハ此ノ動議ヲ贊成シ大岡育造君重岡薰五郎君等ハ議長ノ處置ヲ適當ナリト唱ヘ院議多數ヲ以テ動議ヲ否決シ緊急議決ノ要求ニ對スル議事日程掲載ノ方法ニ付テハ之ヲ是認シタリ依リテ第十八回議會(明治三十六年五月二十六日)鐵道敷設法中改正法律案外一件第三十四回議會(大正三年九月五日)大正三年臨時事件ニ關スル臨時軍事費特別會計法案外二件ノ緊急議決ノ要求ニ對シ議事日程ニ讀會及委員選舉ノ件ヲ共ニ掲載シタリ  
以上ノ如ク政府ヨリ口頭ヲ以テ單ニ緊急事件トシテ議決セラレムコトノ要求アルトキハ讀會及特別委員選舉ノ件ヲ掲クル外「緊急事件」ト附記スルヲ例トセルモ第四十一回議會ニ於テハ此ノ附記ヲ省略セリ

第四十一回議會 大正八年二月一日議長(大岡育造君)ハ「尙ホ報告スルコトガアリマス、日程第十三號ヨリ第二十五ニ至ル議案ハ、政府ヨリ緊急事件トシテ要求ガアリマシタカラ、定規ノ時間ヲ經マセスケレドモ先例ニ依ッテ本日ノ日程ニ組込ミマシタ、此段御報告申シテ置キマス」ト宣告シ而シテ日程第十三乃至第二十五ニハ「緊急事件」ト附記セザリキ  
備考

第六回議會 明治二十七年五月十五日越中國伏木後志國小樽兩港ニ於テ露領沿海州、薩哈噠島及朝鮮國貿易ニ關スル船舶出入及貨物積卸許可法律案外一件ハ單ニ緊急事件トシテ要求ヲ爲シ同月十七日(議事日程掲載後)更ニ議院法第二十八條但書ニ依リ議決セムコトヲ要求セリ

第二十三回議會 明治四十年三月二十一日公共團體ノ課税制限ニ關スル法律案ニ對シ議院法第二十八條但書ニ依リ緊急議決ノ要求ヲ爲セルモ既ニ委員ノ審査中ニアリキ

參看 三四〇號、三四二號

二二〇 議員提出議案ハ政府ノ同意ヲ得テ政府提出議案ニ先チ之ヲ議事日程ニ掲載スルコトヲ得

議員提出ノ議案ニシテ政府提出議案ニ先チ院議ニ付スルノ必要アルカ又ハ政府提出議案ト同種若ハ牽聯セル爲同時ニ院議ニ付スルノ必要アルトキハ議長ハ議院法第二十六條但書ニ依リ政府ノ同意ヲ得テ政府提出議案ニ先チ議員提出議案ヲ議事日程ノ首位又ハ政府提出議案ノ中間ニ掲載ス



參看 二二八號、六四四號

二二二一 議長候補者選舉ノ件ヲ議事日程ニ掲載シタルコトアリ

第三十一回議會 大正三年三月七日同月十七日議長候補者選舉ノ件（一ハ議長大岡育造君辭職一ハ議長長谷場純孝君薨去ニ依ル）ヲ孰レモ當日ノ議事日程ノ首位ニ掲載セリ

二二二二 豫算案及決算ハ委員長ヨリ報告書ノ提出アリタル後之ヲ議事日程ニ掲載ス

豫算案及決算ハ其ノ提出ノ報告アリタルトキ（衆議院公報發刊以來公報ニ議案ノ提出ヲ掲載セルトキハ報告アリタルモノト看做ス）ハ直ニ委員ノ審査ニ付スルニ依リ委員長ノ報告ヲ埃テ之ヲ議事日程ニ掲載スルヲ例トスルモ豫算追加案ニ對シ議院法第二十八條但書ニ依レル要求若ハ單ニ緊急事件トシテ議決セムコトノ要求アルトキハ直ニ議事日程ニ掲載スルヲ例トス即チ議院法第二十八條但書ニ依レル要求アリタルトキ第一回（明治二十四年二月二十四日）第二十九回（臨時）議會（大正元年八月二十四日）第三十二回（臨時）議會（大正三年五月六日）、單ニ緊急事件トシテ議決セム

議第四〇條  
衆第三三條

コトノ要求アリタルトキ第三十四回（臨時）議會（大正三年九月五日）ノ場合はナリ而シテ第八回議會ニ於テ明治二十八年三月二十三日初テ明治二十五年年度程決算ノ議事日程ニ掲載セラレタルトキ小西甚之助君ヨリ決算ハ本院ノ議案トシテ議事日程ニ掲載スヘキモノニ非ストノ勸議ヲ提出シタルモ院議之ヲ否決シタリ

參看 三五二號、三五三號、四八三號

二二三三 豫算ニ關聯セル法律案ヲ豫算案ト同日ノ議事日程ニ掲載スル場合ハ法律案ヲ前ニス

豫算ニ關聯セル法律案ヲ豫算案ト同日ニ議事日程ニ掲載スル場合ハ豫算案ノ前ニ法律案ヲ置クヲ例トス

然ルニ第十三回議會（明治三十二年三月七日）及第三十六回議會（大正四年六月四日）ニ於テハ豫算ニ關聯セル法律案ヲ豫算案ノ後ニ掲載シタリ而シテ第十三回議會ニ於テハ豫算案議決ノ結果法律案ヲ修正議決シ第三十六回議會ニ於テハ豫算案ハ法律案議決迄之ヲ延期シ該法律案ノ議決ヲ埃

第二編 會議 第一章 議事日程 第一節 議事日程ノ掲載 （二二二一—二二三三）

百六十一



テ豫算案ヲ議決シタリ

參看 一七〇號、四八三號、四八八號

二二四 豫備金支出ノ件(承諾ヲ求ムル議案)ハ數件アルモ議事日程ニハ一件トシテ之ヲ掲載ス

憲法第六十四條第二項ニ依レル承諾ヲ求ムル議案即チ豫備金支出、豫備金外支出ニ關スル件等ハ同時ニ提出セラルルノ例ナルニ依リ從來議事日程ニハ一件毎ニ之ヲ掲載シ其ノ委員選舉ノ件ヲ次位ニ置キ數件各別ニ掲載シタリ然モ其ノ數件ハ一ノ委員ニ併セ付託セラルルヲ常トセルヲ以テ第二十三回議會(明治四十年二月二十六日)ヨリハ數件ヲ一箇ノ議事日程ノ下ニ列記シ其ノ次位ニ委員選舉ノ件ヲ置クコトナレリ

二二五 請願特別報告ハ其ノ目的ヲ同シクスル議案提出セラルルトキハ議事日程ニ掲載ヲ猶豫ス

第二十二回議會以來特別報告ニ係ル請願ト同性質ノ法律案建議案ノ提出セラルルモノアルトキハ其ノ議了スル迄特別報告ヲ議事日程ニ掲載セス

參看 五四二號、五四三號

二二六 請願ハ其ノ目的ヲ同シクスル議案ノ議決セラレタルトキハ之ヲ議事日程ニ掲載セス

請願ニシテ法律案、建議案ト同性質ノモノナルトキハ其ノ案ヲ議了スル迄請願ノ議事ヲ延期シ又議了後之ヲ議事ニ付スルトキハ議決ノ結果院議ニ付スルヲ要セスト議決スルヲ例トシ或ハ議事ニ付セス院議ニ諮ヒ直ニ其ノ請願ヲ政府ニ送付シ又ハ法律案ノ議決ニ先チ議事日程ヲ變更シテ特ニ採擇ノ爲ニ議事ニ付スル等區々ナリシモ第二十二回議會明治三十九年三月十九日議長(杉田定一君)ハ……請願委員長ヨリ特別報告ニ係ル請願デアリマシテ法律案建議案又ハ請願トシテ本院ニ於テ既ニ決議シタルモノト其目的ヲ同ジクスルモノハ今後日程ニ掲載ヲシナイト云フコトデアリマスガ掲載ヲセスト云フコトニ御異議ハアリマセヌカト諮ヒ異議ナキヲ以テ議長ハ右決議ニ基



キ當日ノ日程ニ掲載セル請願ニシテ既ニ議決セル法律案ト同性質ノモノハ之ヲ議事日程ヨリ削リ

爾來請願ニシテ已ニ議決シタル法律案、建議案又ハ請願ト其ノ目的ヲ同ウスルモノハ之ヲ議事日程ニ掲載セス

然レトモ第二十五回議會明治四十二年三月四日(特別報告第十一號)借地權救濟ニ關スル請願外一件ニ付テハ已ニ同性質ノ法律案議決セルニ拘ラス請願委員長ヨリ委員會ノ決議ニ基キ請求セルニ依リ特ニ之ヲ議事日程ニ掲載シタル變例アリ

參看 五四二號、五四三號

### 二二七 特別報告ニ係ル請願ノミナ以テ議事日程ヲ作成ス

議院法第六十四條第二項ニ依レル特別報告ノ請願ハ一ノ決議事項ナルヲ以テ當日他ニ會議ニ付スヘキ議案ナキトキハ單ニ請願ノミヲ議事日程ニ掲載セラル即チ第二十四回(臨時)議會(大正三年九月九日)ニ於テ(特別報告第二號)軍人恩給法改正ノ請願外一件(特別報告第三號)棉花爲替取組

ニ關スル請願(各委員長報告)ノミヲ議事日程ニ掲載シタリ

參看 二二二號

### 二二八 質問ハ議案ト區別シ議事日程ノ前ニ掲載ス

從來質問ハ之ヲ議事日程ニ掲載セサリシモ第二十六回議會明治四十三年二月八日火曜日ノ議事日程ヨリ毎火曜日其ノ初位ニ質問欄ヲ設ケ質問ノ件名及提出者ヲ表示シ質問多數アルトキハ番號ヲ附スルコトトセリ(明治四十三年二月五日各派交渉會ノ決定ニ依ル)

爾來質問ノ議事日程ハ右ノ例ヲ襲ヘリ

參看 六七三號

### 二二九 國務大臣ノ演說ニ對スル質疑ヲ議事日程ニ掲載ス



第三十五回議會(大正三年十二月八日)ニ於テ國務大臣ノ演說ニ對シテ多數ノ質疑通告アリ議長(奧繁三郎君)ハ國務大臣ノ演說後通告ノ順序ニ依リ逐次質疑ヲ許可セルモ容易ニ終了ニ至ラス中村啓次郎君ノ動議ニ依リ翌九日開會シテ之ヲ繼續スルコトナレリ依テ九日ノ議事日程ニハ最初ニ「國務大臣ノ演說ニ對スル質疑(前會ノ續)」トシテ之ヲ掲載シタリ然ルニ當日仍終了セス同君ノ動議ニ依リ引續キ十日ノ議事日程ニ掲載シテ質疑應答ヲ爲セリ爾來質疑ノ次會ニ繼續スルトキハ之ヲ議事日程ニ掲載スルヲ例トス

二三〇 質問ハ議案ノ都合ニ依リ質問日ニ非サルモ特ニ議事日程ニ掲載シ又質問日ト雖其ノ掲載ヲ延期ス

質問ハ毎火曜日ノ議事日程ニ之ヲ掲載スルヲ例トスルモ會議ニ付スヘキ議案ノ都合ニ依リ又ハ重要ナル議案アルトキハ此ノ例ニ依ラス而シテ此ノ場合ニハ豫メ院議ヲ經ルカ又ハ議長必要ト認め之ヲ處置スルモノトス

一) 質問日ニ非サルモ特ニ質問ヲ議事日程ニ掲載シタル例

第二十七回議會 明治四十四年二月四日議長(長谷場純孝君)ハ「來ル七日ハ議案ノ都合ニ依リ休會ス當日ハ火曜日ニテ質問日ニ相當致シマスガ此際ニ限り次ノ木曜日ヲ質問日ト變更ヲナ

スコトニ致シタイト思ヒマスガ御異議ハアリマセヌカ」ト諮ヒ異議ナキヲ以テ木曜日(二月九日)ノ議事日程ニ質問ヲ掲載セリ

第三十回議會 大正二年三月四日林毅陸君ハ「質問日ハ次ノ火曜日デアリマシテ、餘リ延ビマスカラ最モ近キ本會議ノ劈頭ニ於テ、總理大臣ノ出席ヲ得テ私ノ質問ノ辯明ヲ致シタイト思ヒマスガ……」ト要求シ議長(大岡育造君)ハ「質問日以前ニ於テ質問ノ時間ヲ造リタイト云フコトデスカ——」此ノ次ノ會議ハ議案ノ數モ今ノ處多クハアリマセヌカヲ編入致シタイト思ヒマス、如何デスカ」ト諮ヒ「御要求通りニ致シマセウ」ト告ケタリ

二) 質問日ニ特ニ質問ヲ議事日程ニ掲載セサリシ例

第二十七回議會 明治四十四年二月九日議長(長谷場純孝君)ハ「十四日ハ質問日デアリマスガ豫算案ガ議事ニ上ル豫定デアリマスカラ質問ハ次ノ木曜日即チ十六日ニ讓リタイト思ヒマス御異議ハアリマセヌカ」ト諮ヒ異議ナカリキ

第三十一回議會 大正三年二月十七日議長(大岡育造君)ハ「本日ハ質問ヲ許ス當日デアリマスケレドモ前日來重要問題ノ議事ノ繼續デアリマスカラ即チ繼續ノ案件ヲ議題ニ付スルコトニ致シマス」ト宣告シ次回ノ火曜日(二月二十四日)ニ質問ヲ議事日程ニ掲載シタリ



二三二 質問多數アルトキハ質問ノミヲ以テ議事日程ヲ作成ス

質問主意書ノ提出多數アルトキハ假令院議ニ付スヘキ議案アルモ便宜質問日ノ議事日程ニ特ニ質問ノミヲ掲載シタルコトアリ即チ第三十一回議會(大正三年二月三日火曜日)ニ於テ議員提出議案六件アリシモ其ノ議事日程ニ質問十六件ノミヲ掲ケタリ

參看 二二七號、五五七號

二三三 會期三分ノ二ヲ經過スルトキハ法律案ハ定規ノ日時ヲ經サルモ之ヲ議事日程ニ掲載ス

法律案ヲ議事日程ニ掲載スルニハ議案配付後少クモ二日ヲ隔ツルヲ要シ會期切迫等ノ場合ニハ議長ハ豫メ院議ヲ經テ定規ノ日時ヲ短縮スルヲ例トシタルモ第二十七回議會ヨリハ會期三分ノ二ヲ經過スルトキハ議長ニ於テ當然取計ヒ得ルコトナレリ

第二十七回議會 明治四十四年二月十八日議長(長谷場純孝君)ハ「會期モ切迫致シマシタカラ法律案ヲ日程ニ掲載スルコトニ付テ時間ヲ短縮シ……自今前年ノ通致シタイト思ヒマス尙此

衆議院  
第九一七條

事ハ每會期ノ例トナツテ居リマスカラ將來會期ノ三分ノ二ヲ經過スルトキハ……當然取計ヒ得ラルルコトニ取極メテ置キタイト思ヒマスガ御異議ハアリマセヌカ」ト諾ヒシニ異議ナカリキ爾後此ノ例ヲ襲用ス

二三三 議案ノ題名修正セラルルモ議事日程ニハ原題名ヲ掲載ス

委員會ニ於テ其ノ付託ヲ受ケタル議案ノ題名ヲ修正シテ報告シ又ハ貴族院ニ於テ題名ヲ修正シテ送付若ハ回付セルトキ之ヲ議事日程ニ掲載スルニハ修正ノ題名ヲ用キス原案ノ題名ニ依ル

二三四 議事日程ニハ提出ノ報告ナキ議案ト雖之ヲ掲載ス

議案ノ配付ヲ了ルモ未タ議場ニ其ノ提出若ハ送付、回付等ノ報告ナキトキハ之ヲ議事日程ニ掲載セサルヲ例トシ若議長ニ於テ必要ト認メ次會ノ日程ニ掲載セムトスルトキハ會議中又ハ散會前之ヲ報告スルノ手續ヲ爲シ已ムヲ得サル場合ニ於テノミ日程ニ上レル當日之ヲ報告シタルモ第十五回議會以來ハ本會ノ開會隔日トナリ且議案ノ都合ニ依リ往々開會セサルコトアルヲ以テ提出ノ報告ナキ議案ト雖之ヲ日程ニ掲載スルコトナレリ



二三五 議事日程ニハ委員付託中ノ議案ト同種ノモノト雖之ヲ掲載ス

議員提出ノ議案ニシテ委員ニ付託セラレタル議案ト同種ノモノナルトキハ議事日程ニ掲載セス直ニ之ヲ同委員ノ審査ニ付シタルモ第十回議會以來ハ同種ノ議案ト雖提出者ノ政府若ハ貴族院タルト議員タルトヲ問ハス之ヲ議事日程ニ掲載シ然ル後同一ノ委員ニ併セ付託スルヲ例トス然レトモ日程ニ掲載セスシテ同一委員ニ付託シタルハ第十三回議會ニ二回、第十四回議會ニ一回、第二十一回議會ニ二回、第二十二回、第二十三回議會ニ各一回、第二十四回議會ニ四回、第三十九回議會ニ一回アリタリ

參看 三五六號、三五七號

二三六 貴族院ニ於テ現ニ會議中ノ議案ト同種ノモノト雖内容ニ於テ多少異ナルトキハ之ヲ同一事件ト認メス議事日程ニ掲載ス

第二十六回議會 明治四十三年三月十日稻茂登三郎君外十七名提出東京市制案ヲ議事日程ニ掲載

シ議長(長谷場純孝君)ハ「日程第十三ニ掲ゲテアリマス東京市制案ト形式ヲ異ニスル東京都制案ハ既ニ貴族院ノ議ニ付セラレ同院ニ於テ委員ノ審査中デアリマス就テハ此ノ案ノ精神ガ同ジク東京市ニ關スル故ニ同一事件ト認ムルナラバ衆議院規則第八十四條ノ規定ニ基キ本日ノ議事日程ヨリ之ヲ除カナケレバナリマセヌ然ルニ表題ト言ヒ又内容ニ於テモ相異ナル點アルニ依リ同一事件デナイトシマスレバ是ヨリ議事ニ付スルノデアリマスガ之ヲ諸君ニ御諮リヲ致シマス」ト告ケ伊藤大八君ハ「議長ガ宣告セラレタ後段ノ意味ニ於テ之ヲ議題トスルコトヲ望ミマス」ト述ヘ異議ナカリシヲ以テ之ヲ議題ト爲シタリ

二三七 議事日程ニ議案ノ會議開始時間ヲ指定スルコトヲ得

法律案ヲ議事日程ニ掲載スルニハ成規ノ日時ヲ要スルニ依リ議長ニ於テ必要ト認ムル場合ハ其ノ日時到達ノ時ヲ以テ其ノ議案ノ會議開始ノ時間ト指定シタルコトアリ此ノ場合ハ之ヲ日程ニ表記セリ即チ議案ノ會議開始時間ヲ指定シタルハ第三回議會(明治二十五年六月二日)ニ一件、第二十二回議會(明治二十九年三月六日)ニ三件アリ

二三八 議事日程ニ議案ノ會議時間ヲ限定ス但シ議事ノ都合ニ依リ之ヲ



延長スルコトヲ得

第四回議會 明治二十五年十二月二十一日明治二十六年度豫算案ノ會議時間ハ議事日程ニ午後三時迄ト指定セラレタルモ議事ノ都合ニ依リ議長(星亨君)ハ院議ニ諮ヒ之ヲ延長シタリ尙同會期中會議時間ヲ限定シタルモノ三件アリ而シテ之ヲ延長シタルコト六回(十二月二十一日、二十三日、二十四日、明治二十六年一月九日、十日、十一日)アリ

二三九 提出者又ハ委員長ノ請求アルトキハ議案ヲ議事日程ニ掲載スルコトヲ延期ス

議案ノ提出者ヨリ議案ヲ議事日程ニ掲載スルノ延期ヲ請求シ又ハ委員長ヨリ報告ノ延期ヲ申出テタルトキハ議長ハ之ヲ許可シ議事日程ノ掲載ヲ延期スルヲ例トシ每會期其ノ例尠シトセス

參看 三九〇號、六四九號

二四〇 議事日程ハ作成毎ニ其ノ號數ヲ新ニス

議事日程ノ配付後又ハ會議前停會ヲ命セラレ或ハ會議前休會散會ヲ決議シ或ハ國務大臣ノ演說ニ對スル質疑等ノ爲議事日程ノ議事ニ入ラス其ノ儘散會シタルトキト雖次會ノ議事日程ハ其ノ號數ヲ新ニスルヲ例トス

二四一 勅語ニ對スル奉答、天機伺、慶賀、弔慰、請暇、辭職、委員ノ辭任其ノ補闕及協議委員選定等ノ件ハ議事日程ニ掲載セサルヲ例トス

勅語ニ對スル奉答、天機伺、慶賀、弔慰、請暇、辭職、委員ノ辭任其ノ補闕及協議委員選定等ノ事項ハ議事日程ニ掲載セサルヲ例トシ之ヲ掲載シタルハ第一回、第二十五回議會ニ於テ辭職ノ件各一(明治二十四年二月二十七日、同四十二年二月二十三日)アリタルノミ

參看 一〇〇號、一〇九號、一五一號、二七九號



第二節 議事日程ノ追加

二四二 議事日程ノ追加ハ院議ヲ經ルヲ要ス

議事日程ヲ議了シ更ニ他ノ事件ヲ追加セムトスル場合ハ其ノ發議ハ議長若ハ議員ノ動議ニ因リ院議ニ諮ヒ之ヲ決ス其ノ例尠カラス

參看 三九一號

二四三 會期切迫ノ爲質問日ノ議事日程ニ當日提出シタル質問ヲ追加ス

第二十六回議會 明治四十三年三月二十二日(火曜日)質問日ニ於テ當日提出シタル質問ニ付二月八日以來質問日ヲ火曜日ト定メタル爲質問日以外ニ於テハ緊急事件ノ外之ヲ許ササルニ依リ會期切迫ノ今日趣旨辯明ノ機會ナキヲ以テ議長(長谷場純孝君)ハ院議ニ諮ヒ當日提出ノ質問三件ヲ日程ニ追加シ各提出者ノ趣旨辯明ヲ許可シタリ

參看 五六五號

二四四 停會後ノ議事日程ニ他ノ事項ヲ追加スルコトヲ得

議院停會ヲ命セラレ再ヒ議事ヲ開ク場合ハ議院法第三十三條第二項ニ基キ前會ノ議事ヲ繼續スルニ依リ停會後ノ議事日程ハ前會ノモノヲ踏襲スルハ勿論ナルモ他ノ議案ヲ追加シタルコトアリ即チ第九回、第十七回議會(第二次停會ノ場合)ニ各一件、第十五回議會(第二次停會ノ場合)ニ五件、第十七回議會ニ二件、第十八回議會ニ十九件ノ如キ是ナリ

二四五 休會後ノ議事日程ハ之ヲ加除スルコトヲ得

議事日程ヲ議了セスシテ休會シタル後議事ヲ開ク場合ハ何等ノ明文ナキニ依リ議長必要ト認ムルトキハ前會ノ議事日程ヲ加除ス即チ第四回議會ニ於テハ(明治二十六年二月十三日)二件ヲ加ヘ二件ヲ除キ又第三十回議會ニ於テ(大正二年二月二十七日)六件ヲ加ヘ一件ヲ除ケリ



第三節 議事日程ノ報告

二四六 議事日程ハ衆議院公報ヲ以テ報告ス

次會ノ議事日程ハ會議ノ終ニ於テ議院ニ之ヲ報告スヘキモノナルモ衆議院公報發刊以來議事日程ハ必ス公報ニ掲載スルヲ以テ議場ニ於テ報告スルノ手續ヲ省略シ議長ハ公報ヲ以テ報告スル旨ヲ告クルヲ例トス

參看 二六五號

二四七 散會ニ際シ議事日程ニ關スル報告ヲ省略ス

次會ノ議事日程ハ會議ノ終ニ於テ之ヲ報告スヘキモノナルモ議事日程ハ衆議院公報ヲ以テ報告スルコトトナレル以來何等ノ報告ヲモ爲サズ散會セルコト枚舉ニ違アラズ

第二章 議事通則

第一節 開議

二四八 開院式當日ヨリ會議ヲ開ク

第一回議會以來開院式當日直ニ開院式勅語ニ對スル奉答文案ノ會議ヲ開クヲ例トシ第二十回(臨時)議會ニ於テハ尙引續キ全院委員長及常任委員ノ選舉ヲ行ヒタリ

參看 二七二號、二七九號、六二九號

二四九 日曜日及祝祭日ニハ會議ヲ開カサルヲ例トス

日曜日及一般ノ祝祭日ニ會議ヲ開カサルハ第一回議會以來ノ慣例ニシテ特ニ會議ヲ開クノ必要アルトキハ豫メ議場ニ諮フヲ例トス

二五〇 豫メ院議ヲ經又ハ議長必要ト認ムル場合ハ午前ヨリ又ハ休會中若ハ休日ニ會議ヲ開ク



緊急議決ヲ要スルカ又ハ特殊ノ事情ニ依リ若ハ會期切迫等ノ場合ニハ豫メ院議ニ諮ヒ又議長必要ト認メ休會中、休日若ハ午前ヨリ會議ヲ開ケリ

(一) 休會中會議ヲ開キタル例

豫メ院議ヲ經タルモノ

第四回議會 明治二十六年二月十日(決議ニ依リ休會中)内閣不信任ノ上奏ニ對スル詔勅傳達アリタル爲

第十三回議會 明治三十二年一月十三日(年始ノ休會中)貞宮多喜子内親王殿下薨去ニ付弔意ヲ表スル爲

第二十一回議會 明治三十八年一月六日(年始ノ休會中)大岡育造君外十四名提出上奏案(三十七八年戰役ニ關スル件)及決議案(旅順攻圍軍ニ對シ功勞感謝ノ件)ヲ院議ニ付スル爲

(二) 休日會議ヲ開キタル例

豫メ院議ヲ經タルモノ

第七回(臨時)議會 明治二十七年十月二十一日(日曜日)會議ヲ開ク

(ロ) 議長必要ト認メタルモノ

第十五回議會 明治三十四年三月二十一日(春季皇靈祭)會期切迫ノ爲

第十七回議會 明治三十五年十二月二十八日(日曜日)停會後年末ニ際セル爲

第十八回議會 明治三十六年五月三十一日(日曜日)會期切迫ノ爲

第二十回(臨時)議會 明治三十七年三月二十日(日曜日)開院式ヲ舉行セラレタルニ依リ式後開

院式勅語ニ對スル奉答文案ノ會議ノ爲

第三十四回議會 大正三年九月五日(日曜日)會期終了日ノ爲

第三十七回議會 大正四年十二月二十六日(日曜日)年末ノ爲

同 大正五年二月二十六日(日曜日)會期切迫ノ爲

第四十一回議會 大正八年三月二十一日(春季皇靈祭)會議切迫ノ爲

(三) 午前ヨリ會議ヲ開キタル例

豫メ院議ヲ經タルモノ

第一回議會 明治二十四年一月二十九日ヨリ連日舊工部大學校ノ假議場ニ於テ午前十時ヨリ午後四時迄開會セリ

第七回(臨時)議會 明治二十七年十月十九日及二十一日ハ午前九時若ハ十時ヨリ開會セリ

第十回議會 明治二十九年十二月二十六日午前九時ヨリ開會セリ

開院式ノ翌日即チ全院委員長及常任委員ノ選舉ハ第二十六回議會以降ハ豫メ院議ニ諮ヒ午前十



時(第二十九回(臨時)議會ハ午前九時)ヨリ之ヲ行ヘリ

又會期切迫セル場合即チ第四回議會明治二十六年二月二十一日及第九回、第十三回、第十五回第十六回、第十八回及第二十二回、第三十回、第三十四回、第三十六回、第三十九回乃至第四十一回議會ニ於ケル會期終了ノ當日ハ豫メ院議ニ諮ヒ午前十時ヨリ開會セリ

(口) 議長必要ト認メタルモノ

第四回議會 明治二十六年二月二十五日會期切迫ノ爲午前十時ヨリ開會セリ

第十五回議會 明治三十四年二月二日決議案(英國ノ先ノ皇帝ヅキクトリヤ陛下御崩御ニ付キ哀悼ノ件)ヲ議スル爲午前十時ニ開會セリ

第三十一回議會 大正三年三月二十三日(會期終了日)午前十時ヨリ開會セリ

第三十九回議會 大正六年七月七日(土曜日)議案ノ都合ニ依リ午前十時ヨリ開會セリ

二五一 會議ハ火曜日、木曜日、土曜日ニ開クヲ例トス但シ必要ノ場合又ハ會期三分ノ一ヲ經過セルトキハ此ノ限ニ在ラス

第十五回議會ヨリ會議定日ヲ設ケ本會議ト委員會トヲ隔日ニ開クノ制ヲ採用ス

第十五回議會 明治三十三年十二月二十六日議長(片岡健吉君)ハ「今回ヨリ差懸ルコトガアリマ

セネバ本會ト委員會ト別チマシテ隔日ニ開クコトト致シタイト思ヒマス是モ御諮リ致シマス  
ガ通常ノ時ニハ委員會ヲ月水金ノ日ニ致シマスサウシテ本會ヲ火木土ノ日ト定メテハ如何デ  
ゴザイマス」ト諮ヒ異議ナカリキ

爾來之ヲ例トシ第二十五回議會ヨリハ委員長及理事ノ互選ハ本會議ノ日ニ於テモ之ヲ行ヘリ  
又必要ノ場合若ハ臨時議會ニ於テハ議長ハ院議ニ諮ヒ委員會日ト雖本會議ヲ開クコトナシトセ  
ス

第十六回議會 明治三十五年二月八日議長(片岡健吉君)ハ「此次ノ本會ヲ開ク日ハ紀元節デアリ

マス本會ヲ開ク日ハ十三日ニナリマスガ政府カラ緊急報告スル事件モアルカラ十二日ニ本會  
ヲ開イテ吳レヌカト云フ交渉モアリマシタノデゴザイマス段々議案モ殘ツテ居リマスカラ十  
二日ニ本會ヲ開クコトニ致シタイト思ヒマス」ト諮ヒ異議ナカリキ

第二十回(臨時)議會 明治二十七年三月二十日議長(松田正久君)ハ「前例ニ依テ見マスルト本會  
及委員會ハ隔日ニ開クガ例デゴザイマシタガ此度ハ短期ノ議會デゴザイマスカラ必要ノ場合  
ハ何時ニ於テモ開クト云フコトニ致シタイトデアリマス」ト諮ヒ異議ナカリキ

尙會期切迫ノ場合ニハ議長ハ院議ニ諮ヒ毎日會議ヲ開クノ例ナリシモ第二十七回議會ヨリハ會期  
三分ノ二ヲ經過スルトキハ議長ニ於テ當然之ヲ取計フコトト爲レリ



第二十七回議會 明治四十四年二月二十八日議長(長谷場純孝君)ハ「會期モ切迫致シマシタカラ……議長ノ許可ニ依ツテ本會議中ニモ委員會ヲ開キ得ルコト議案ノ都合ニ依リテハ委員會ノ日ニモ本會ヲ開キ得ルコト等ハ自今前年ノ通ニ致シタイト思ヒマス御異議ハアリマセヌカ(「異議ナシ」ト呼フ者アリ)……尙此事ハ每會期ノ例トナツテ居リマスカラ將來會期ノ三分ノ二ヲ經過スルトキハ……當然取計ヒ得ラレルコトニ取極メテ置キタイト思ヒマスガ御異議ハアリマセヌカ」ト諮ヒ之ニ異議ナカリキ  
爾來每會期之ニ據ル

參看 一六〇號

二五二 年末年始ノ休會後ハ第一會議日ヨリ開會スルヲ例トス

年末年始ノ休會後議事ニ付スヘキ議案尠ナキトキト雖議長ハ豫メ議事日程ヲ作成シ會議ノ定日ヲ以テ本會ヲ開クヲ例トス但シ第二十一回議會ニ於テハ政府及議員提出ノ議案數多アリタルモ次回ノ會議日迄本會ヲ開カサリキ

參看 一六〇號

二五三 停會滿了ノ翌日ハ會議日ナルト否トヲ問ハス又日曜日ト雖開會スルヲ例トス

停會滿了ノ翌日ハ會議ヲ開クヲ例トシ日曜日又ハ委員會日ニ於テモ本會ヲ開キタリ

(一) 日曜日ニ本會ヲ開キタル例

第十七回議會 二回ノ停會アリ共ニ其ノ滿了ノ翌日、日曜日ニ當リ第一次ノ場合ハ前日議事日程作成後再ヒ停會ノ命下リ本會ヲ開クニ至ラサリシモ第二次ノ場合ハ本會ヲ開キタリ

(二) 委員會日ニ本會ヲ開キタル例

第三十回議會 三タヒ停會ヲ命セラレ内第一次、第二次ノ場合ハ共ニ委員會日(水曜日、月曜日)ニ當リ一ハ本會ヲ開キ一ハ當日會議前三タヒ停會トナレリ



參看 一六〇號、二四九號

二五四 會議ノ開始ハ場合ニ依リ定刻ヨリ遅延セラレ

會議ハ通常午後一時ヲ以テ開始ノ定刻トスルモ場合ニ依リ多少時間遅延スルコトナシトセス即チ

第三十一回議會 大正三年三月十二日ノ會議ハ午後一時四十九分ニ至リ開始セラレ諸般ノ報告

ヲ終ルヤ議長(長谷場純孝君)ハ「都合ニヨリ暫ク休憩致シマス」ト告ケ午後一時五十五分ヨリ

午後三時十九分マテ休憩シタリ

第三十六回議會 大正四年五月三十一日ノ會議ハ午後一時五十一分ニ開始セラレ諸般ノ報告前

議長(島田三郎君)ハ「本職不快ノ爲ニ稍々時刻カ遅レマシタカラ此事ヲ一言申シテ置キマス」

ト告ケタリ

第三十七回議會 大正四年十二月十六日ノ會議ハ午後一時五十四分ニ開始セラレ諸般ノ報告後

伊東知也君ヨリ開議遅延ノ理由ヲ糺ストコロアリ議長(島田三郎君)ハ之ニ對シ「……大臣ノ説

明ヲ一讀會ニ請フノガ最モ議會ヲ重ズルコトダト思フ、今日ハ大禮總裁宮殿下ヨリ閣員ヲ午餐

ニ御招キナツテソレデ閣員ノ方カラモ努メテ時間マデニ參ルノデアリマスガ事ニ依ルト半途

ニ禮ヲ失ツテ立ツ譯ニ行カナイカラト云フコトガアリマシテ念ノ爲協議會ノ席デ責任アル幹  
事ノ御方ニ此話ヲ致シテ置イタ……」ト告ケタリ

又豫メ院議ニ諮ヒ遅レテ開會シタルコトアリ

第三十七回議會 大正四年十二月二日全院委員長選舉ノ當日ハ大禮觀兵式御舉行ニ付議員參列

ノ爲午後二時開議ノ旨又同月九日ハ 天皇陛下東京市ヘ行幸被仰出議員參列ノ爲午後二時三

十分開議ノ旨孰モ豫メ院議ニ諮ヒ議事日程ニ掲載シタリ

第二節 時間延長及休憩

二五五 議長必要ト認ムルトキハ會議時間ノ延長ヲ宣告ス

會議時間ノ延長ハ議長ノ職權ニ屬スルヲ以テ議長ハ會議中定刻ニ迫レルトキ又ハ或ル議案ノ會議  
時間ヲ定メタル場合ニ其ノ時間ニ達セルトキ尙議事ノ繼續ヲ必要ト認ムル場合ニハ發言中ナルト  
否トヲ問ハス又表決中ト雖時間延長ノ宣告ヲ爲スヲ例トス而シテ第三十六回議會(大正四年六月七  
日)ニ於テ午後二時二十五分ニ休憩ノ際豫メ會議時間ヲ延長スヘキ旨ヲ宣告シタルコトアリ



又休憩中定刻ニ達セムトスルトキハ特ニ開會シテ時間ノ延長ヲ宣告ス第四十二回議會(大正九年一月二十三日)休憩中定刻ニ迫リタルヲ以テ午後五時五十四分再ヒ開會シ副議長(濱田國松君)ハ時間ヲ延長シ尙各派交渉中ノ案件アルノ故ヲ以テ更ニ同五時五十五分休憩ヲ宣告シタリ

二五六 議長必要ト認ムルトキハ會議中休憩ヲ宣告ス

部長理事ノ互選、常任委員ノ選舉及奉答文起草ノ場合ニハ議長ヨリ一時休憩ヲ宣告スルヲ例トス又特別委員ヲ各部ニ於テ選舉シ又ハ委員ノ審査報告ヲ埃ツ爲、政府ニ議事日程變更ノ同意ヲ求ムル間、或ハ出席議員定數ヲ闕キタルニ依リ其ノ他食事等ノ爲、議長ハ職權ヲ以テ休憩ヲ宣告スルコト各會期ニ其ノ例尠シトセス而シテ議場騷擾ノ爲休憩シタル事例尠カラス

參看 五九九號

第三節 延會及散會

二五七 議案議了ニ至ラサルモ定刻ニ達スルトキハ延會ス

衆第七四條

定刻前議案ヲ議了セスシテ散會シタルトキ亦同シ

定刻ニ達スルトキハ議事日程掲載ノ議案議了ニ至ラサルモ延會ヲ爲シ又議了セスシテ定刻前散會シタル場合ニ於テモ其ノ議案ハ延會セラルルヲ例トス然ルニ議案ヲ議了セス散會シタル場合ニ於テ未了議案ノ全部若ハ一部ニ對シ次會ノ議事日程ニ掲載セサリシコトアリ

二五八 議事日程ノ議事ニ入ラスシテ延會ス

議事日程ニ入ラス他ノ緊急決議ヲ爲シ若ハ質疑ノミニテ延會シタルコトアリ即チ第五回議會明治二十六年十一月二十九日議事日程(全院委員長及常任委員ノ選舉)ニ先チ安部井磐根君提出議長信任ニ關スル緊急動議ヲ可決シタル際和田彦次郎君ハ「此事ヲ議決シタル以上議長モ熟考セラルルデアリマセウシ是ヨリ散會シタイ」トノ動議ヲ提出シ院議之ヲ可決シ延會シタリ

國務大臣施政ノ方針、外交ノ經過及財政計畫ノ演說ニ對スル質疑ハ近時數日ニ涉リテ之ヲ爲スノ慣行トナリタルヲ以テ議事日程ノ議事ニ入ラス延會スルコト尠カラス即チ第三十一回、第三十五回、第三十七回、第十八回、第四十回、第四十一回、第四十二回議會ハ孰レモ一日乃至三日ニ涉リ質疑



ヲ爲シ議事日程ノ議事ニ入ラス延會シタリ

二五九 議案ヲ議了セス定刻前延會スルトキハ院議ニ諮フヲ要ス

定刻前議事日程ヲ議了セサルモ定刻ニ迫レルカ又ハ次ノ議事長時間ヲ要スルカ其ノ他ノ事由ニ依リ定刻前延會セムトスルトキハ院議ニ諮ヒ散會ヲ宣告スルヲ例トス然ルニ議長必要ト認メ院議ニ諮ハスシテ散會ヲ宣告セシコトナシトセス

二六〇 時間ヲ延長セル場合ニ於テ未了ノ議案アルモ延會ヲ宣告ス

會議時間ノ延長セラルルハ概ネ討論中ノ問題ヲ繼續スル場合ナルヲ以テ之ヲ議了スルトキハ他ニ議事日程ノ議案ヲ餘スモ議長ハ延會ヲ宣告スルヲ例トス第一回議會以來多數ノ事例アリ

二六一 會期終了日ニ於ケル兩院ノ散會ハ同時ナルヲ要セス

會期終了日ニ於テハ他院ニ先チ散會スルトキハ萬一回付案アリシトキ如何トモ爲スヲ得サルヲ以テ散會ハ兩院同時ナルヲ本則トスルモ實際ニ於テハ回付案ノ有無ハ豫メ推定シ得ルヲ以テ同時ニ

散會シタルコトナシ

參看 附錄一五ノ(一〇)

二六二 議長ハ會期終了日ノ散會ニ際シ慰勞ノ辭ヲ述ヘ且會期中ノ成績ヲ報告スルヲ例トス

第一回議會明治二十四年三月七日會期終了ノ日散會ニ際シ議長(中島信行君)ハ議員諸君カ國家ノ爲ニ盡力セラレ且議長ヲ優待セラレタルヲ謝スル旨ヲ述ヘ散會ヲ宣告シ第四回議會ニ於テハ議長(星亨君)ハ慰勞ノ辭ニ次テ會期中ノ成績ヲ報告シタリ爾後第八回議會以來議長ハ前例ニ依リ慰勞ノ辭ヲ述ヘ次テ書記官長ヲシテ會期中ノ成績ヲ報告セシムルヲ例トス又第十六回、第二十四回、第二十八回議會ニ於テハ四箇年ノ任期ヲ全ウシタルノ故ヲ以テ議長ハ特ニ任期間ニ於ケル成績ノ概要ヲ舉ケ國家ノ爲慶賀ノ旨ヲ演述シ年長議員ハ議員總代トシテ任期終了ノ祝詞ヲ述ヘタリ

#### 第四節 休會



二六三 年末年始ノ爲休會ス

休會ノ期間ハ院議ヲ以テ之ヲ定ム

議院ハ年末年始ノ爲休會ヲ爲シ其ノ期間ハ議長ノ發議又ハ議員ノ動機ニ依リ院議ヲ以テ之ヲ定ムルヲ例トシ第十四回議會迄ハ其ノ例區々ナリシモ第十五回議會以來ハ十二月二十六日乃至二十九日ヨリ翌年一月二十日マテ休會スルノ例ト爲リ第十三回、第二十一回、第二十二回議會ニ於テハ緊急事件アルトキハ何時タリトモ開會スルコトヲ得ルノ條件ヲ附シ而シテ第十三回、第二十一回議會ニ於テハ右條件ニ依リ休會中開會シタリ

第十三回議會 明治三十二年一月十三日開會シ貞宮多喜子内親王薨去ニ付弔意ヲ表スル爲議長

參内 天機ヲ奉伺スルコト、御葬儀ノ當日特ニ休會シ議長本院ヲ代表シ靈柩ヲ奉送スルコトヲ議決シタリ

第二十二回議會 明治三十八年一月六日開會シ外岡育造君外十四名提出上奏案及決議案ヲ院議ニ付シタリ

參看 六六七號

二六四 恭敬哀弔其ノ他ノ事由ノ爲休會ス

議院ハ恭敬哀弔其ノ他政府若ハ議長ニ對スル處置ニ關シ又ハ當該問題延期ノ事情ニ依リ或ハ議事堂燒失等ノ爲休會セリ

(一) 敬意ヲ表スル爲休會シタル例

第四回議會 明治二十六年二月七日河野廣中君外二名提出上奉案ヲ議決セシトキ藤澤幾之輔君ハ休會ノ決議案ヲ提出シ河野廣中君ハ之ニ對シテ「本院ハ上奏ニ對シ茲ニ恭敬ヲ表シ且政府ヲシテ責任アル處決ヲ爲サシメムカタメ本日ヨリ來ル二十五日マテ本院ノ休會ヲ決議ス但シ本件ニ關シ開會ヲ要スルトキハ何時タリトモ議長ハ開會スルコトヲ得」トノ修正案ヲ提出シ院議之ヲ可決シ直ニ休會シタリ

(二) 哀弔ノ意ヲ表スル爲休會シタル例

第一回議會 明治二十四年二月十九日議長(中島信行君)ハ内大臣公爵三條實美君ノ薨去ヲ報告シ院議ニ諮ヒ弔意ヲ表スル爲同日休會シタリ(又同月二十四日ノ會議ノ終リニ於テ副議長(津田真道君)ハ二十六日ノ議事日程ヲ報告シ葬儀當日「即チ二十五日」ハ休會シタリ)



第八回議會 明治二十八年一月二十四日議長(楠本正隆君)ハ陸軍大將大勳位威仁親王殿下ノ薨去ヲ報告シ院議ニ諮ヒ弔意ヲ表スル爲同日及御葬儀當日(同月二十九日)休會シタリ

第十回議會 明治三十年一月十一日議長(鳩山和夫君)ハ 皇太后陛下ノ御大患ニ涉ラセラルル趣ヲ報告シ大東義徹君ノ動議ニ依リ恐懼ノ意ヲ表スル爲同日休會シ翌十二日議長ハ 皇太后陛下昨十一日午前六時崩御遊ハサレタルノ通牒ニ接シタルコトヲ報告シ元田肇君ノ動議ニ依リ哀痛悲悼ノ誠意ヲ表スル爲同日ヨリ七日間休會シ又同月二十七日議長ハ二月二日ハ 皇太后陛下御出棺同七日ハ京都大宮御所御發棺同八日ハ御埋棺ノ旨公布アリタルコトヲ告ケ院議ニ諮ヒ二月二日ヨリ十三日マテ休會シタリ

第十三回議會 明治三十二年一月十三日副議長(元田肇君)ハ同月十二日官報號外ヲ以テ貞宮多喜子内親王殿下昨十一日午後十一時五十分薨去遊ハサレタル旨公布アリタルコトヲ告ケ院議ニ諮ヒ哀悼ノ意ヲ表スル爲御葬儀當日(同月十七日)休會シタリ

第十五回議會 明治三十四年二月二日鳩山和夫君外三名提出決議案ノ議決ニ依リ大不列顛國皇帝ヅキクトリヤ陛下ノ崩御ヲ哀悼スル爲休會シタリ

第三十一回議會 大正三年三月十七日副議長(關直彦君)ハ衆議院議長長谷場純孝君薨去ニ付弔詞ヲ呈スル件及葬儀當日休會ノ件ヲ院議ニ諮ヒ全會一致ヲ以テ可決シ當日休會シタリ

第四十一回議會 大正八年一月二十五日 李太王殿下薨去ニ付弔意ヲ表スル爲決議案ヲ議決シタル後議長(大岡育造君)ハ院議ニ諮ヒ弔意ヲ表スル爲本日及御葬儀當日休會シタリ

(三) 政府ノ處置ヲ俟ツ爲休會シタル例

第四回議會 明治二十六年一月十七日河野廣中君ハ「明治二十六年度歲計豫算案ニ付キ本院カ諸般ノ費目ニ修正ヲ加ヘタルニ現在我國ノ民度ヲ斟酌シ輿論ヲ代表シタル正當ノ所爲ナリト確信ス政府若シ之ニ同意セサルトキハ立憲政體ノ本旨ニ基キ斷然處決スル所ナカルヘカラス因テ本院ハ豫算修正案ヲ政府ニ送致シ本日ヨリ五日間休會シテ政府ノ處置ヲ待ツ」トノ動議ヲ提出シ院議之ヲ可決シ直ニ休會シタリ

(四) 議長ノ處決ヲ爲ササルニ對シ之カ處置ヲ講スル爲休會シタル例

第五回議會 明治二十六年十一月三十日中村彌六君ハ「議長星亨君ハ不信任ノ議決アルニモ拘ラス本院ノ勸告ニ應スル能ハスト斷言セラレタリ議長ニシテ院議ヲ重セス自カラ處決セサル以上ハ本院ハ之ニ處スルノ道ヲ講セサル可ラス而シテ此ノ事タル最重大ノ事ナレハ慎重ヲ要スル爲本日ハ臨時休會ス」トノ動議ヲ提出シ院議之ヲ可決シ直ニ休會シタリ

(五) 當該問題ノ議事ヲ延期スルノ事情ヲ生シ休會シタル例

第三十回議會 大正二年二月十三日元田肇君外十名提出決議案(内閣不信任ノ件)ハ前會ヨリノ



繫屬問題ニシテ當日ノ日程第一ニ上レルモ内閣辭職シ後繼内閣組織中ノ爲責任者ノ定マル迄其ノ議事ヲ延期スルニ決シ議事日程ニ入ラスシテ休會セリ

(六) 議事堂燒失整理ノ爲休會シタル例

第一回議會 明治二十四年一月二十日議長(中島信行君)ハ議事堂燒失ニ關スル始末ノ報告及會  
議書記官長ノ實地見分ノ報告アリタル後書記官ヲシテ内閣總理大臣ヨリノ通知書(議會會場燒  
失ニ付テハ政府ニ於テ速ニ舊工部大學校ヲ以テ衆議院假議場ニ充テ可成速ニ議事ニ差支ナキ  
様手配致ス等ニ候間此段及御通知候也)ヲ朗讀セシメ「先ヅ右ノ通りデ御座リマスカラ議場ノ  
總テ準備ノ整理スルマデ議事ヲ延會シ追ッテ開會ノ日時ハ更ニ議員諸君ニ御報告致ス心得デ  
アリマス」ト告ケ同月二十八日迄休會シタリ

(七) 其ノ他ノ事由ニ依リ休會シタル例

第十三回議會 明治三十二年二月二十四日議長(片岡健吉君)ハ院議ニ諮ヒ議員中横須賀造船所  
及東京灣砲臺參觀ノ爲同月二十七日休會シタリ

二六五 議事日程ヲ定メサルトキハ休會トス

決議ヲ以テ休會スルノ外議案ノ都合ニ依リ議長議事日程ヲ定メサルトキハ自然休會トス此ノ場合

ニ於テハ前會會議ノ終ニ議長之ヲ宣告スルカ然ラサレハ前日ノ衆議院公報ニ其ノ旨ヲ掲載スルヲ  
例トス

参看 二四六號、二四七號

二六六 議院成立後ハ議長若ハ副議長闕位トナルモ休會セス

第五回議會ニ於テ議院成立後議長闕位トナリシニ依リ明治二十六年十二月十四日其ノ候補者ノ  
補闕選舉ヲ行ヒ翌日開會シタルニ小西甚之助君ハ「既ニ昨日議長ノ候補者ヲ選舉シテ之ヲ奏上セ  
ラレタコトデアアル此議長ノ御裁可ニナルマデハ他ノ議事ハ差措カナケレバナラヌモノデアアルト思  
フノデアアル、何トナレバ既ニ當期ノ議長ニ於キマシテ副議長ノ補闕選舉ヲナスガ如キハ劈頭ニ於  
テ之ヲ爲シタコトデ他ノ議事ヲ後ニセラレタコトデアアル……此ノ議長ノ定マラザル内ニ他ノ議事  
ヲ進行スルガ如キハ事理ニ於テ順序ニ於テ決シテ許スベカラザルモノト私ハ信ズルノデアリマス」  
ト述ヘタルモ副議長(楠本正隆君)ハ「只今ノ御趣意ニ付テ申シマス議場ハ既ニ成立シテ議事ハ進  
行シツツアル……依ッテ此席ハ副議長ガ議席ヲ保ッテ此進行ヲ促シツツアルノデアアル」ト告ケ會議



ヲ續行シ又同會期中副議長闕位トナリシニ依リ明治二十六年十二月十六日其ノ候補者ノ補闕選舉ヲ行ヒ同月二十日其ノ任命アル迄議事ヲ續行シ爾來議長副議長闕位トナリタル場合ニ休會シタルコトナシ

參看 五九號

### 第五節 定足數

憲第四六條

二六七 諸般ノ報告又ハ投票點檢ノ場合ハ出席議員ノ定數ヲ要セス

第一回議會 明治二十三年十二月六日末松謙澄君ヨリ「議事日程、選舉ノ結果及必要事項ニ付議長ヨリ單ニ報告スル場合ハ定數ヲ要セス」トノ動議ヲ提出セルニ院議之ヲ否決セルモ第二回議會ヨリハ報告ハ議事ニ非ストノ理由ニ依リ出席議員ノ定數ヲ要セサルコトナレリ

又議長、副議長候補者及全院委員長ノ選舉其ノ他議場内ニ於ケル委員選舉ニ於テ投票點檢中ハ出席議員ノ定數ヲ缺クコト多シ第二十八回議會(明治四十五年三月二十日)ニ於テ兩院協議委員

ノ選舉ヲ行ヒ其ノ投票點檢中出席議員多數退席シタルトキト部喜太郎君ハ「投票ノ開票ノ場合ニハ定數ヲ缺イテモ宜イノデアリマス」ト問ヒタルニ議長(大岡育造君)ハ「今マデノ例ニ依レバ必シモ定數ガ無クテモ宜イノデアリマス」ト答ヘ點檢ヲ繼續シタリ

參看 六五號、二七一號

二六八 各部選舉ニ付テハ通算シテ定數ノ議員アルコトヲ要ス

第三回議會 明治二十五年五月三日杉田定一君外二名提出地租條例中改正案ニ付各部ニ於テ委員ヲ選舉セルトキ(散會後)或部ハ投票ヲ爲サス退院シ投票ヲ爲シタルハ總員六十餘名ニ過キサリシカ爲選舉ノ效力ニ關シ議論ヲ生シ同月二十三日議長(星亨君)ノ發議ニ係ル(一)當日投票セザレハ棄權シタルモノナルコト(二)投票總數總議員三分ノ一ニ充タサルトキハ其ノ選舉ハ無効ナルコトヲ議決シ該委員ヲ改選シタリ

參看 一三三號



二六九 出席議員定數ヲ缺キ又缺クノ虞アルトキハ休憩若ハ延會ス

第四回議會 明治二十五年十二月十四日 政府提出辯護士法案ノ第二讀會ニ於テ藤野政高君ハ「定規ノ數ニ足ラズニヤルト例ニナリマス……斯ウ云フコトデ會ヲ開クノガ例トナルト、皆時間ヲづるくスルコトニナル、本員ハ今夜ハモウ人員ガ足りナイカラ止メルト云フコトヲ」ト述ヘ議長(星亨君)ハ「固ヨリ足りナケレバ止メルヨリ外ハナイト考ヘル……足ラナイサウデス、足ラヌケレドモ私ハ一時休憩シテ……少シ待チマス、人ガ來レバ直グヤリマス、呼ビニヤリマセウ 人ガ足りマセヌト見エマスカラ閉會ノ外ナイ、依ッテ今日ハ六條迄議シマシテ又明日ニ延會シマス」ト宣告シ散會シタリ

第三十六回議會 大正四年六月七日田川大吉郎君提出航空學講座設置ニ關スル建議案ノ趣旨辯明ニ次テ武藤金吉君ハ定足數ニ關スル質疑ヲ爲シ議長(島田三郎君)ハ調査ノ後「缺イテ居ルト認メマス、休憩致シマス」ト宣告シタリ

第三十七回議會 大正四年十二月二日(此ノ日午後二時開議)午後二時二十五分ニ至リ出席議員百七名ニシテ定數ニ充タサルヲ以テ議長(島田三郎君)ハ「出席者ハ——時ハ遅レテ居リマスガ、正式ニ充チマセヌカラ開クコトハ出來マセヌゾレデ議長ハ暫ク休憩ヲ致シテ開クコトニ致シマス」

ト宣告シテ休憩シ午後三時二十五分ニ至リ開會セリ

第三十七回議會 大正五年一月二十五日伊東知也君提出乃木問題ニ關スル質問ニ付秘密會ヲ開キ其ノ趣旨辯明中定足數ヲ缺キ議長(島田三郎君)ハ延會ヲ宣告セリ

二七〇 出席議員定數ニ充タサルトキニ於ケル二回ノ計算ハ必ス相當ノ時間ヲ經ルヲ要ス

第三十七回議會 大正四年十二月二日(日程午後二時開議)午後二時二十五分議長(島田三郎君)著席シタルニ出席議員少數ナルヲ以テ書記官ヲシテ引續キ再度計算セシメタルモ百七名ニ過キス依テ議長ハ午後二時二十九分暫ク休憩スル旨ヲ宣告シ午後三時二十五分ニ至リ開會シタルニ端ナクモ二回計算ノコトニ付議論ヲ生シ野添宗三君ハ衆議院規則第七十六條ニ依リ當然延會スハキモノナリト主張シ議長ハ二回計算セシメタルハ事實ナルモ議員ノ質問ニ確答セムカ爲ニ爲シタルモノニシテ相當ノ時間ヲ經タルニ非サレハ規則ニ所謂二回ニ非サル旨辯明シ廣岡宇一郎君ハ「議長ノ處置ヲ不當ナリト決議スヘシ」トノ動議ヲ提出シ又此ノ場合延會ノ一途アルノミト述ヘ福田又一君ハ「二回ノ計算ト云フ事柄ハ初メニ計算ヲシタケレドモ定數ニ足りナイカラソコデ相當ノ時間ヲ隔テテ出席者ヲ成ルベク勸メ若ハ出席シタ場合ニ計算ヲシテ而モ寄ラヌ時分ニ



ハ最早開會スルコトハ出来ヌト見テ延會スル精神ト解釋シテ居ルノデアリマス……ソコデ暫クノ時間猶豫シタノデアリマス……議長ノ處置ハ些モ不當ノ事ハナイト反對シ採決ノ結果廣岡君ノ動議ヲ否決シタリ

參看 二六七號

二七一 出席議員定數ヲ缺キタル場合ニハ議事進行ニ關スルモノト雖之ヲ議場ニ諮フコトヲ得ス

第十五回議會 明治三十四年三月二十日議長(片岡健吉君)ハ「定數ヲ缺イテ居ルヤウデアリマスカラ……明日ノ休日ヲ潰シテ之ヲ議スルコトニシテハドウデス(「贊成」ト呼フ者アリ)明日例刻ヨリ會議ヲ開クコトニ御異議ハアリマセヌカ(「異議ナシ」ト呼フ者アリ)御異議ガナケレバ其ノ通致シマス」ト告ケ翌日(春季皇靈祭)會議ヲ開ケルニ野間五造君ハ「議長ノ特權ヲ以テ今日ノ會議ヲ御開キニナツタモノデアルカ、或ハ未定數ノアツタニ拘ラズ議長ハ此ノ議場ノ進行ト云フコトハ未定數ニ關係ノナイト云フ御考デ以テ此ノ議場ノ可決ニ依ッテ今日ハ御開キニナツタノデゴザイマセウカ……」議長「議長ノ權内ヲ以テ極メタノデアリマス」野間君「ソレナラバ昨日

此ノ會場ニ御諮ヒニナリマシタノハ、ソレハ何デゴザイマス」議長「議長ガ參考ノタメニ聽イタノデアリマス」ト告ケタリ

然ルニ第二十三回議會明治四十年三月二十六日(特別報告第二十六號)北海道留萌増毛間鐵道敷設並増毛港修築ニ關スル請願ノ會議中出席議員定數ヲ缺キ延會セラレタル際議長(杉田定一君)ハ「御諮リ申スコトガアリマス是ハ議事ノ進行上ニ關スルコトデアリマスカラ此場合デ差支ナイト思ヒマスガ明日ハ本會議ノ最終日デアリマスカラ便宜ノタメ午前十時ヨリ開キタイト思ヒマス……御異議ナイモノト認メマス」ト告ケ翌日會議ヲ開キタリ

參看 六五號、二六七號

第六節 諸般ノ報告及開議ノ宣告

二七二 諸般ノ報告ハ開院式當日若ハ翌日ノ會議ヨリス但シ議員ノ異動及議院成立ニ關スルモノハ開院式前ト雖報告ス

諸般ノ報告ハ開院式當日即チ勅語奉答文案ノ會議日若ハ其ノ翌全院委員長及常任委員ノ選舉ノ日

第二編 會議 第二章 議事通則 第五節 定足數 第六節 諸般ノ報告及開議ノ宣告 (二七一、二七二) 二百一



ヨリ之ヲ爲スモ議員ノ異動部長理事互選ノ結果報告ハ開院式前ニ於テ之ヲ爲スヲ例トス

二百二

參看 一六號、一三二號

### 二七三 緊急ノ必要アル報告ハ會議中又ハ散會前ニモ之ヲ爲ス

衆議院規則第七十五條ニ依リ議長ハ開議ノ始ニ於テ諸般ノ報告ヲ爲スヘキモノナルモ議長必要ト認ムルトキハ會議中又ハ散會前報告ヲ爲スコト尠シトセス即チ會議中報告ヲ爲シタルハ第一回議會明治二十三年十二月十九日外數回、散會前報告ヲ爲シタルハ同月六日外二回ニシテ爾來各會期ニ於テ其ノ例枚舉ニ違アラス

### 二七四 報告ノ爲ニハ出席議員ノ定數ヲ要セス

第一回議會 明治二十三年十二月六日末松謙澄君ヨリ議事日程ヲ報告シ又ハ議場内ニ於テ行ヒタル選舉ヲ結了シ並總テ議院内ニ行ヒタル選舉ノ結果ヲ報告シ及通知必要ノ事件ニシテ單ニ報告ニ止マルモノヲ議長ヨリ議場ニ報告スルニハ定數ノ現在ヲ要セストノ動議ヲ提出シタルニ院議之ヲ否決シタルモ第二回議會ヨリハ議長ノ報告ハ議事ニ非ストノ理由ニ依リ定數ノ出席ヲ要

セサルコトナレリ

參看 六五號、二六七號、二七一號

衆第七五條

### 二七五 報告スヘキ事項ハ議長必要ト認ムルトコロニ依ル

衆議院規則ニ於テハ諸般ノ通信ヲ報告スヘキコトヲ規定スルモ其ノ事項ヲ定メス而シテ從來議長ノ報告セシ事項ハ概ネ左ノ如シ

- 一 議員ノ異動及改姓名
- 二 議案類ノ提出、撤回、送付若ハ回付
- 三 議事ニ關スル政府又ハ議員ノ要求及政府貴族院ノ通牒
- 四 質問主意書ノ提出、撤回及政府ノ答辯覆牒
- 五 議案類、質問主意書ノ提出者及贊成者ノ追加若ハ取消
- 六 委員、委員長及理事ノ當選、辭任若ハ其ノ補闕

其ノ他議長ニ於テ必要ト認メタル事項ヲ報告セリ今一二ノ例ヲ舉クレハ皇室ニ關シ特ニ官報ニ公

第二編 會議

第二章 議事通則

第六節 諸般ノ報告及開議ノ宣告

(二七三—二七五) 二百三



示セラレタル事項、元勳ノ疾病、薨去、議員ノ遭難及各種ノ通牒等是ナリ

二七六 報告スヘキ事項ハ衆議院公報ニ掲載セラレタルモノト雖尙之ヲ報告ス

從來衆議院公報ニ掲載セラレタルモノニシテ議場ニ報告スヘキ事項ハ總テ之ヲ報告シタリシモ第二十二回議會ノ下期ヨリハ特別委員、委員長及理事ノ氏名ニシテ公報ニ掲載セラルルトキハ議場ノ報告ヲ省略スルコトナレリ

參看 一三四號、一三五號、一四四號、一四五號

二七七 議長開議ヲ宣告シテ後議事ヲ開ク  
議長ハ開會ノ始諸般ノ通信ヲ報告シ次テ會議ヲ開ク旨ヲ宣告ス而シテ其ノ開議宣告前發言ヲ求ムル者アルモ之ヲ許ササルモノトス

參看 三二〇號

二七八 開院式勅語奉答文案ノ議事ハ式後直ニ之ヲ開クヲ例トス

開院式勅語奉答文案ノ議事ハ開院式式後直ニ之ヲ開キ即日之ヲ議決スルヲ例トス但シ第八回議會ニ於テハ起草委員ノ報告翌日ナリシヲ以テ同日之ヲ議決シ第一回議會ニ於テハ起草委員ニ全權ヲ委ネタルヲ以テ其ノ立案ヲ議事ニ付セサリキ  
第二十回(臨時)議會以來ハ議長指名ノ起草委員ヲ設ケテ之ヲ起草セシムルコトナリ委員ノ數ハ九名若ハ十八名ニシテ近來ハ十八名ト爲スヲ例トス

參看 二四八號

二七九 勅語ニ對スル奉答、天機伺、慶賀、弔慰、請暇、辭職、委員ノ辭任、退席等ノ事項ハ概ネ會議ノ始ニ於テ之ヲ院議ニ諮フヲ例トス

會議ニ付スヘキ事項ハ議事日程ニ掲載スヘキ筈ナルモ勅語ニ對スル奉答、天機伺、慶賀、弔慰、請暇、辭職、委員ノ辭任、退席等ノ事項ハ議事日程ノ議事ニ入ルノ前即チ會議ノ始ニ於テ之ヲ院議ニ諮フヲ例トシ又時ニ會議中之ヲ院議ニ諮フコトアルモ此ノ場合ニハ議事日程ノ變更ヲ要スルコト

第二編 會議 第二章 議事通則 第六節 諸般ノ報告及開議ノ宣告 (二七六—二七九) 二百五



ナシ

參看 二四一號

第七節 議案ノ朗讀

衆第八九條

二八〇 議案ノ朗讀ハ之ヲ省略スルヲ例トス但シ議長必要ト認ムルトキ又ハ議員ノ要求アルトキハ此ノ限ニ在ラス

議案ヲ朗讀スル場合ハ議事ノ始ニ於テス

議案ハ朗讀スルヲ原則トスルモ第八回議會以來ハ概ネ之ヲ省略シ一々其ノ旨ヲ宣告シタルモ第二十八回議會(明治四十五年二月六日)ニ於テ議長(大岡育造君)ハ「會議ノ初メニ議案ノ朗讀ヲ致シマスルノガ定則デアリマスルガ從來ノ實例ヲ見マスト多クハ之ヲ省略スルコトニナツテ居リマス偶々私ガ朗讀ヲ命ジテ見マシテモ諸君ガ省略ヲ望マレテ居リマス議案毎ニ宣告スルコトヲ止メマシテ必要ノ場合ニ諸君カラシテ望ミモアリ又議長ガ認メマシタ場合ニ朗讀スルト云フコトニ致シ

マシテ一々ニハ宣告ヲ致シマセヌカラ此段御了知アリタシト宣告シ爾來之ヲ例トス  
議案ヲ朗讀スル場合ハ其ノ議案ノ院議ニ付セラレタルトキ之ヲ爲シ議案ニ對スル修正案若ハ修正動議ニ付テハ其ノ採決ノ際之ヲ朗讀スルヲ例トス

第八節 議案ノ趣旨辯明

衆第八九條

二八一 議案會議ニ付セラレタルトキハ提出者先ツ其ノ趣旨ヲ辯明ス  
趣旨辯明ハ討論中ト雖之ヲ爲スコトヲ得

議長議題ヲ宣告シタル後提出者登壇シテ其ノ趣旨ヲ辯明スルヲ例トス  
然レトモ提出者議案ノ會議中ニ出席シタルカ其ノ他ノ事情ニ依リ討論中趣旨辯明ヲ爲スコトナシトセス左ノ如シ

第四回議會(明治二十五年十二月五日)工藤行幹君外二名提出郡制改正法案、第十三回議會(明治三十二年二月九日)星亨君外三名提出鐵道國有ニ關スル建議案、第二十三回議會(明治四十年三月十八日)神崎東藏君外九名提出第二高等農林學校校位置選定ニ關スル建議案ニ對シ各提出者ハ反對演說

第二編 會議 第二章 議事通則 第七節 議案ノ朗讀 第八節 議案ノ趣旨辯明(二八〇、二八一) 二百七



アリシ後其ノ趣旨ヲ辯明シタリ

第十回議會(明治三十年二月二十七日)元田肇君提出新聞紙法案ニ對シ提出者ハ讀會省略後ニ於テ、第十五回議會(明治三十四年三月二十四日)安部井磐根君外一名提出元寇殉難者國祭ニ關スル建議案、第二十三回議會(明治三十九年三月十三日)星野仙藏君外八名提出體育ニ關スル建議案ニ對シ各提出者ハ委員長ノ報告ニ次テ其ノ趣旨ヲ辯明シタリ

看參 三二七號、三二八號

### 二八二 議案ノ趣旨辯明ヲ讀會省略後ニ於テス

第十回議會 明治三十年二月二十七日元田肇君提出新聞紙法案ハ第一讀會ニ於テ提出者趣旨ヲ辯明セシテ委員ニ付託セラレ其ノ第一讀會ノ續會ニ於テ讀會ヲ省略セラレタル後元田肇君ハ本案提出ノ趣旨辯明ヲ爲シタリ

參看 四七二號

### 二八三 議案ノ趣旨辯明ハ提出者兩名ニテ之ヲ爲スコトヲ得

議員提出議案ノ趣旨ヲ辯明スルハ提出者ノ一名之ヲ爲スヲ例トスルモ第二回議會(明治二十四年十二月九日)第五回議會(明治二十六年十二月六日)ニ一件、第三回議會(明治二十五年五月十四日、二十五日、二十六日)第四回議會(明治二十五年十二月五日、十日、二十六年二月二十三日)ニ三件、第二十七回議會(明治四十四年三月十四日)ニ一件、第三十六回議會(大正四年六月三日)ニ一件、第四十回議會(大正七年三月十二日)ニ一件ハ孰レモ提出者兩名相次テ趣旨辯明ヲ爲シタリ

### 二八四 贊成者ハ提出者ニ代リテ議案ノ趣旨辯明ヲ爲スコトヲ得

議案ノ趣旨辯明ハ贊成者ト雖之ヲ爲スヲ妨ケサルヲ以テ第一回議會以來十數回其ノ事例アリ

第三十九回議會 大正六年七月一日武富時敏君外四名提出滿洲銀行法案ノ第一讀會ニ於テ贊成者タル高木正年君其ノ趣旨ヲ辯明シタリ

第四十二回議會 大正九年二月十三日大正九年度豫算案ノ會議ニ於テ佐々木平次郎君ノ提出ニ係ル修正案ハ贊成者津田毅一君之カ提案ノ説明ヲ爲シタリ



二八五 議案ノ趣旨辯明ハ之ヲ補足スルコトヲ得

議案ノ提出者ハ一度趣旨ヲ辯明シタル後ト雖其ノ辯明ヲ補足スルコトヲ得ルノミナラス其ノ他ノ提出者之ヲ補足スルコトヲ得

第十八回議會 明治三十六年六月四日鈴置倉次郎君提出會計ニ關スル決議案ノ會議ニ於テ鈴置

倉次郎君ハ櫻井駿君委員長報告ニ對スル少數者意見ノ報告ヲ爲シタル後更ニ其ノ辯明ノ補足ヲ爲シタリ

第三十七回議會 大正四年十二月十六日根本正君提出未成年者禁酒法案ノ第一讀會ニ於テ根本

正君ハ同案ノ趣旨辯明ヲ爲シ伊東知也君之ニ反對ノ演說ヲ爲シタル後更ニ其ノ辯明ノ補足ヲ爲シタリ

第四十回議會 大正七年三月十二日奥田榮之進君外二名提出沖繩縣特別自治制撤廢ニ關スル建

議案ノ會議ニ於テ兒玉好熊君ハ同案ノ趣旨辯明ヲ爲シ我如古樂一郎君ハ更ニ其ノ辯明ノ補足ヲ爲シタリ

參看 三二〇號、三二七號、三二八號、三六八號、三七八號、五八五號

二八六 數箇ノ議案ヲ一括シテ議題トナシタル場合ニ提出者同一ナルト

キハ同時ニ、提出者異ナルトキハ順次其ノ趣旨ヲ辯明セシム

第四十回議會 大正七年二月二十八日三土忠造君外二名提出阿讚鐵道建設ニ關スル建議案外二件

ノ會議ニ際シ議長(大岡育造君)ハ「日程第七、第八、第九ハ同ジク同種ノ議案ナルニ依リ、一括議題トナスニ御異議ハアリマセヌカ」ト諮ヒ異議ナカリシヲ以テ議長ハ「但シ説明ハ各別ニ求

メマス」トテ提出者林毅陸君、小西和君、板東勘五郎君ヲシテ順次其ノ趣旨ヲ辯明セシメタリ

第四十二回議會 大正九年二月十九日大口喜六君外六名提出府縣制中改正法律案外三件ノ第一讀

會ニ際シ議長(大岡育造君)ハ「日程第十四乃至第十七ノ議案ハ同種ノ議案ニシテ、提出者同一ナルニ依リ、一括議題ト爲スニ御異議ハアリマセヌカ」ト諮ヒ異議ナカリシヲ以テ提出者大口喜六君ヲシテ順次其ノ趣旨ヲ辯明セシメタリ

二八七 議案ノ趣旨辯明ナキ場合ニハ其ノ議事ヲ一時延期シ又ハ直ニ委員ニ付託シ或ハ之ヲ即決ス

員ニ付託シ或ハ之ヲ即決ス

貴族院提出ノ議案ハ趣旨辯明ナクシテ直ニ委員ニ付託スルモ政府及議員提出議案ハ其ノ趣旨ヲ辯



明スルヲ通例トス故ニ趣旨辯明者其ノ席ニ在ラサル場合ニハ便宜議事ヲ前後シ若ハ一時延期シ又ハ會期切迫セル爲直ニ委員ニ付託シ或ハ即決スル等其ノ例一ナラス

第三十一回議會 大正三年二月二十四日政府提出私立學校及公益法人ノ用地免租ニ關スル法律案ノ第一讀會ニ於テ議長(大岡育造君)ハ「政府委員ハ出席シテ居リマセヌ」ト告ケ川原茂輔君ノ動議ニ依リ關聯セル外一件ト共ニ議事ヲ一時延期シ日程六件議了ノ後之ヲ議事ニ付シタリ同大正三年三月十三日中川虎之助君提出眞心金條例制定ニ關スル建議案ノ會議ニ於テ提出者中川虎之助君議席ニ在ラス副議長(關直彦君)ハ之ヲ採決セムトセル際花井卓藏君ハ一時本案ノ會議ヲ延期スヘシトノ動議ヲ提出セルニ議院此ノ動議ヲ否決シ次テ本案亦否決セラレタリ第三十一回議會 大正三年三月十四日ノ會議ニ於テ中村啓次郎君ヨリ會期切迫ニ付本日ノ日程第二十乃至第四十七ノ建議案ハ提出者ノ趣旨辯明ヲ省略シ直ニ委員ニ付託スヘシトノ動議ヲ提出シ副議長(關直彦君)ハ之ヲ院議ニ諮ヘルニ院議異議ナク此ノ動議ヲ可決シタリ四月十四日、十七日ニ同一ノ事例アリ

第三十五回議會 大正三年十二月十二日清水市太郎君外二名提出鑛業法中改正法律案第一讀會ニ際シ議長(奥繁二郎君)ハ「提出者ガ出席ゴザイマセヌカラ此日程ハ次會ニ延バシマス」ト告ケ次テ伊東知也君提出東方調査局設置ニ關スル建議案提出者ノ趣旨辯明ヲ求メタルモ出席ナ

カリシ爲「此建議案モ提出者ノ出席ガアリマセヌカラ次會ニ延バマス」ト宣告シタリ

參看 二九二號、二九三號、三七二號、三七三號

### 二八八 一議案ニ對シ多數ノ修正案提出セラルル場合ハ順次各案全部ノ趣旨辯明ヲ爲サシム

一議案ニ對シ多數ノ修正案提出セラルルトキハ討論ニ先チ便宜提出ノ順序ニ依リ各全部ノ趣旨ヲ辯明セシムルハ各會期ニ於ケル豫算案討議ニ屢々其ノ事例ヲ見ル

第二十八回議會 明治四十五年三月五日政府提出衆議院議員選舉法中改正法律案ノ第二讀會ニ於テ田川大吉郎君、高木益太郎君外七名、安達謙藏君外一名ヨリ各修正案ヲ提出シタルニ依リ議長(大岡育造君)ハ提出順ニ依リ修正案全部ノ趣旨ヲ辯明セシメタリ

第四十二回議會 大正九年二月十二日大正九年度豫算案會議ニ於テ三土忠造君、濱口雄幸君外二名、鈴木梅四郎君外一名、佐々木平次郎君ヨリ各修正案ヲ提出シタルニ依リ議長(大岡育造君)ハ提出順ニ依リ修正案全部ノ趣旨ヲ辯明セシメタリ



參看 四四八號

二八九 修正案ノ趣旨辯明ト同時ニ自己ノ意見ヲ述フルコトヲ得ス

一議案ニ對シ修正案提出セラルル場合ハ先ツ其ノ趣旨ヲ辯明シ次テ討論ニ移ルヲ例トシ趣旨辯明ト同時ニ自己ノ意見ヲ述フルコトハ之ヲ許サス

第三十回議會 大正二年三月二十四日政府提出所得税法中改正法律案第二讀會ノ際三箇ノ修正案アリシヲ以テ議長(大岡育造君)ハ院議ニ諮ヒ各提出ノ順序ニ依リ趣旨辯明ヲ許シ加藤政之助君ノ辯明中意見ニ涉レルトキ、先刻議長ガ宣告シタノハ先ツ修正案ノ説明ヲ聽キテ然ル後ニ討論ニ入ルベシト言ッタノデアリマスカラ説明ダケニ止メルヤウニ御注意シマス」ト告ケ意見ヲ述フルヲ許ササリキ

第四十二回議會 大正九年二月十二日大正九年度豫算案會議ノ際四箇ノ修正案アリシヲ以テ議長(大岡育造君)ハ各提出順ニ依リ趣旨辯明ヲ許シ濱口雄幸君ノ辯明中意見ニ涉レルトキ「濱口君ニ注意致シマス修正ニ直接關係ノアル事ヲ御述ヲ願ヒタイ」ト告ケ次テ「豫算ノ修正ノ關係上、餘儀ナキ議論ヲ主トシテ貫ヒタイ、次ニ討論ヲスル場合ニハ、自ラ贊否ノ通告モアツテ、ソレニ從ッテ許スノデアリマス」……單ニ修正ノ意味ノミデハ通ラヌカラ多少ノ議論ヲスルコトハ許ス、併シナガラ修正ノ理由ハ是ダケデ大概濟ンダト言ウテ置キナガラ一般ノ議論ヲ此所ニ持出スコトハイケマセヌ」ト告ケタルニ濱口君ハ修正ノ理由ヲ結ハントストテ更ニ繼續發言シ進テ財政計畫ノ意見ヲ述ヘムトスルヤ議長ハ「豫算ヲ議スルニハ前例モアリ、修正ヲ爲スニハ修正ノ方法ガアルケレドモ是ダケ勘定ヲシテ、是ダケ除クト云フガ如キ、數字ノミ言ヘルモノデハナイ、多少ノ議論ハ之ヲ許サネバナラヌ、ソレハ多少ノ議論デナク、今濱口君ハ總體論ヲ此所ニ持出シテ、一般ノ經濟論ニ關係スルマデヲ汎ク言ハレル、之ニ就テハ是マデノ慣例ヲ全ク破ラレタ、之ヲ許スコトハ議長ノ忍ビサル事デアリマス」ト告ケタリ

二九〇 簡單ナル趣旨辯明ハ自席ヨリ之ヲ爲スコトヲ得

議案ノ趣旨辯明ハ登壇シテ之ヲ爲スヲ本則トスルモ議案簡單ニシテ提出者議席ヨリ趣旨ヲ辯明セムコトヲ求ムルトキハ議長ハ之ヲ許可スルヲ例トス

第三十一回議會 大正三年二月二十八日高木益太郎君外一名提出會計検査院法中改正法律案ノ會議ニ際シ高木君ハ「簡單デゴザイマスカラ此席カラ提出ノ理由ヲ述ベルコトヲ御許シテ願



ヒマス」ト請求セシニ議長(大岡育造君)ハ「簡單ナラバ宜シウゴザイマス」ト告ケ之ヲ許可シタリ

同日同一ノ事例三件アリ其ノ他枚舉ニ違アラス

參看 三六四號

### 二九一 一ノ修正案中ニ包含セラルルモノハ獨立ノ修正案トシテ趣旨辯明ヲ許ササルコトアリ

一議案ニ對シ數箇ノ修正案提出セラレタル場合ニ於テ乙修正案甲修正案ニ包含セラルルトキハ乙修正案ハ獨立ノ修正案トシテ趣旨辯明ヲ許サス甲修正案ノ贊成者トシテ發言ヲ許シタリ

第三十一回議會 大正三年二月十二日大正三年度豫算案ノ會議ニ於テ議長(大岡育造君)ハ「豫算ニ關スル修正動議ハ武富君、犬養君、尾崎君等ヨリ提出ニナツテ居リマス」ト告ケ武富時敏君、鈴木梅四郎君ハ各修正案ヲ說明シ次テ尾崎行雄君發言ニ際シ小川平吉君ハ「此尾崎君ノ修正案ヲ見マス」ト乙號海軍省所管ノ部、軍備補充費追加額...ヲ削除スルト云フ修正案デア

是ハ武富時敏君ヨリ說明ヲセラレタル所ノ修正案ノ中ノ一ノ箇條ニ過ギナイデアリマス、果シテ...一ノ箇條タルニ過ギズトスレバ茲ニ獨立ノ修正案トシテ此際御說明ニナルノハ順序ガ相違致シテ居ルデハナイカト考ヘルノデアル...此點ハ如何ナル御趣意デゴザイマスカ...」ト問ヒ議長「...」ト答ヘ議長ハ小川君ニ「唯今ノハ順序ニ關スル御意見デアリマスカ御注意デアリマスカ」ト問ヒ小川君ハ「私ノ考デハ明カニ他ノ點ニ付テ贊成ノ意思ヲ表示セラレザル以上ハ單ニ武富君ノ修正案ノ一部ニ對スル御贊成ノ案ト看做シマスカラ即チ獨立ノ修正案トシテ此際順序ヲ越エテ發言スベキモノデナイト考ヘマス」ト述ヘタリ此ニ於テ議長ハ「議長ノ意見ヲ述ベテ議場ノ判斷ヲ乞ヒマス...武富君ノ說明ニ依ツテ尾崎君ノ提出セラレタル修正ハ其中ニ含まレテ居ル其儘デアルト云フコトヲ...明カニスルコトヲ得タノデアアル小川君ノ御意見ハ能ク此意味ヲ發揮シタモノト思ヒマスガ是ハ贊成論者...ノ中ニ數ヘテ說明ヲ與ヘル機會ヲ作ルノガ一番宜シイト云フコトヲ今私ハ思フノデアリマス」ト答ヒタルニ異議ナキヲ認メ井上角五郎君ニ發言ヲ許可



セシモ異議アルニ依リ議長ハ「此場合ニ尾崎君ニ發言ヲ許スヘシ説明ヲ爲サシムヘシ」トノ採  
決ヲ爲シ少數ノ宣告ヲ爲シタルニ異議アルヲ以テ更ニ「此場合説明ヲ許スベカラス」トノ反對  
表決ヲ爲シ多數ノ宣告ヲ爲セリ然ルニ尙異議アリ記名投票ヲ行フ旨ヲ宣告セルモ投票ノ執行  
ニ至ラス一時休憩ヲ爲シ協議ヲ重ネタルモ協議成ラス再ヒ會議ヲ開キ採決ノ結果多數ヲ以テ  
修正ト認メス贊成者トシテ發言セシメタリ

二九二 院議ヲ以テ議案ノ趣旨辯明ヲ省略シ之ヲ委員ニ付託ス

會期切迫ノ爲又ハ重要ノ議案若ハ數多ノ議案ヲ議了シ長時間ヲ經タルトキ其ノ他議事ノ進行ヲ必  
要トスル場合ハ議員ノ動議ニ依リ議決ヲ以テ議案ノ趣旨辯明ヲ省略シテ直ニ委員ニ付託スルコト  
第十三回議會以來往々見ル所ノ事例ニシテ枚舉ニ違アラス第三十一回議會大正三年三月十三日二  
十八件、翌十四日十件、十七日八件ノ建議案ヲ孰レモ會期切迫ノ理由ニ依リ趣旨辯明ヲ省略シ直ニ  
委員ニ付託シタリ

參看 三四四號、三四五號、四〇一號

二九三 院議ヲ以テ議案ノ趣旨辯明ヲ省略シ討論ヲ用キスシテ採決ス

第三十七回議會 大正四年十二月十八日大場茂馬君提出決議案ニ對シ小山松壽君ハ大場君ノ決議  
案ノ主旨ハ前決議案(原敬君外八名提出)ト内容同一ナルヲ以テ説明ヲ聽カス、討論ヲ用キスシ  
テ採決セラレムコトヲ望ムトノ動議ヲ提出シ院議本動議ヲ可決シ引續キ決議案ニ付採決ノ結果  
之ヲ否決シタリ  
同 同年同月同日林毅陸君提出決議案ニ付テモ武内作平君ハ同一ノ動議ヲ提出シ院議之ヲ可決  
シ更ニ決議案ニ付採決シ之ヲ否決シタリ

第九節 質疑

二九四 質疑ハ議案ノ趣旨辯明前ト雖之ヲ許ス

第三回議會 明治二十五年六月四日政府提出貴族院送付小包郵便法案ノ第一讀會ニ於テ其ノ趣旨  
辯明ニ先チ加藤政之助君ヨリ質疑ノ爲發言ヲ求メタルニ議長(星亨君)ハ「宜シウゴザリマス」ト



之ヲ許可シ加藤君ノ質疑ニ對シ「御質問ニ答ヘルノハ後デ答ヘルサウデス」ト告ゲ後藤遞信大臣ノ趣旨辯明ニ次テ河津遞信次官ハ質疑ニ對シテ辯明シタリ  
第三十六回議會 大正四年六月七日原敬君外八名提出決議案ノ會議ニ於テ議長(島田三郎君)ハ提出者元田肇君ト呼ヒタルトキ横田千之助君ハ「私ハチヨット質問ガアリマス……司法大臣ニチヨット伺ヒタイ」ト述ヘタルニ議長ハ「此問題ニ對スル政府ニ質問デアリマスルナラハ、唯今ノ場合宜シウゴザイマス」トテ同君ニ質疑ヲ許シタリ

**二九五 會期ノ始ニ於ケル各國務大臣ノ演說ニ對スル質疑ハ演說終了後通告順ニ依リ之ヲ許可ス**

每會期ノ始ニ於ケル内閣總理大臣、大藏大臣、外務大臣等ノ演說ニ對シ議員ヨリ質疑ノ通告ヲ爲スヲ例トス此ノ場合ニ於テハ各大臣ノ演說終了後通告順ニ依リ質疑應答ヲ許可スルモノトス  
第四十二回議會 大正九年一月二十二日議長(大岡育造君)ハ「國務大臣ヨリ演說ノ通告ガアリマス……且ツ大臣ノ演說ニ對シマシテハ質疑ノ通告モアリマス、先ツ前例ニ依ッテ國務大臣ノ演說ヲ聽キタル後、通告順ニ從ッテ質疑ノ發言ヲ許シマス」ト宣告シタリ

參看 三〇八號、三〇九號、三一九號、三二一號

**二九六 國務大臣ノ演說ニ對シ連日ニ互リ質疑ス**

每會期ノ始ニ於ケル内閣總理大臣、大藏大臣、外務大臣等ノ演說ニ對シ議員ヨリ質疑ノ通告ヲ爲スモノ近時益多キヲ加ルノ傾向トナリ數日ニ互リテ之ヲ爲スニ至レリ而シテ其初ハ第三十五回議會ニシテ三日間質疑ヲ繼續シ第三十七回、第四十回、第四十一回議會ハ孰レモ二日間第四十二回議會ハ三日間ニ互リテ之ヲ爲セリ

參看 三〇二號、三一九號

**二九七 一議案ニ對シ二日間ニ互リ質疑ス**

第四十回議會 大正七年三月五日政府提出軍需工業動員法案ノ第一讀會ノ會議ニ於テ質疑應答中岩崎勳君「本案ニ付キマシテハ尙ホ重要ナル通告ヲ殘シテ居ルノデアリマス、故ニ本日ハ此程度ヲ以テ他ノ日程ト共ニ延會シ、次回定刻ヨリ更ニ質疑ヲ續行セラレムコトノ動議ヲ提出致シマ



スレト提議シ院議異議ナク翌々七日更ニ質疑ヲ繼續シタリ

## 二九八 國務大臣ノ演說ニ對スル質疑ノ通告多數ナルトキハ通告者順次

大體ニ付質疑ヲ爲ス

### 一 質疑數項ニ涉ル場合亦同シ

第二十八回議會 明治四十五年一月二十三日西園寺内閣總理大臣、山本大藏大臣ノ演說ニ次テ高木正年君發言ヲ求メタルニ議長(大岡育造君)ハ「質問モ豫メ通告ガアリマス、其順ヲ逐フ積リデアリマス、先ヅ大臣ノ演說ヲ終ッテ」ト告ケ内田外務大臣ノ演說ノ後通告順ニ從ヒ片岡直温君ニ質疑ヲ許シ山本大藏大臣ノ辯明ニ對シ同君ハ引續キ質疑セムトセルニ議長ハ「先ヅ大體ノ質問ヲ許シマス通告モ非常ニ多ウゴザイマスカラ次ギノ竹内君ニ許シマス」ト告ケ順次大體ノ質問ヲ爲サシメタリ然レトモ大石君ノ質疑ニ對シテハ新ナル事項アリシヲ以テ更ニ質疑ヲ許シタリ

第三十三回(臨時)議會 大正三年六月二十三日ノ會議ニ於テ國務大臣ノ演說ニ際シ議長(奧繁三郎君)ハ「是ヨリ大隈内閣總理大臣、若槻大藏大臣ノ演說ガゴザイマス大臣ノ演說ニ對シマシテ質疑ノ通告モ數多ゴザイマスルガ先ヅ大臣ノ演說ヲ聽キマシタ後ニ通告順ニ從ツテ發言ヲ許ス考デゴザイマス」ト告ケ内閣總理大臣、大藏大臣ノ演說ニ次テ通告順ニ依リ元田肇君、高木益太

郎君、井上角五郎君、鈴木梅四郎君、小川平吉君、相島勘次郎君、澤來太郎君、田川大吉郎君、齋藤珪次君、林毅陸君ハ各質疑ヲ爲シ大隈内閣總理大臣兼内務大臣、若槻大藏大臣、尾崎司法大臣、武富遞信大臣、加藤外務大臣、八代海軍大臣、岡陸軍大臣ハ之ニ應答シタリ

第三十六回議會 大正四年五月二十二日國務大臣ノ演說ニ對シ床次竹二郎君ハ「本員ノハ簡單ナル數箇條デアリマスガ……一問毎ニ御答ヲ戴キマスレハ大層私ハ仕合ニ考ヘマスガ、左様ナ御許可ハ得ラレヌモノデアリマセウカ」ト質シタルニ議長(島田三郎君)ハ答ヘル方ガ御承諾デアレバ議長ハ干渉致シマセヌ」ト答ヘ床次君ハ「ソレデハ外務大臣ニ御尋致シマス」ト問ヒタルニ議長ハ「外務大臣ノ答ハ總テノ事ヲ言盡シタ處デ、箇條ニ付テ御答スルト云フコトデアリマス」ト答ヘ床次君ハ登壇ノ上外務大臣ニ對シ數項ニ涉リテ質疑ヲ試ミ加藤外務大臣ノ辯明アルヤ引續キ兩君ノ間ニ質疑應答ヲ重ネタリ之ニ對シ菊池武徳君ハ「先程床次君カ外務大臣ニ對シテ一問一答ノ請求ヲシタトコロガ、ソレハ總テ言了ツテ後ニスルト云フコトニナツタノデアリマス、然ルニ外務大臣ノ發言中ニ於テ床次君ハ慎重ノ態度ヲ以テ甚ダ失禮デスガト言ツテ隨分充分ナル發言ヲサレタヤウデアリマスガ、其事ハ答辯者ノ意ニ委セルト言フコトデアリマスレバ、議長ハ之ヲ許シ、之ヲ先例彙纂ノ中ニ書遺ス考デアリマスカ、ソレヲ確メタイト思ヒマス、若シ之ヲ差支ナイモノトスレバ、非常ナ惡慣例ヲ遺スノデアリマス」ト質シタルニ議長ハ「答ヘル方ニ御



異存ガナケレバ成ルベク干渉ヲ致サス、併ナカラ他ニ之ニ向ツテ故障ノアル方ガアレバ、實ハ著席ノ所カラ問答ヲ爲サルノハ不規則ト考ヘマス、斯様ナルコトハ屢々セラレサランコトヲ望ミマス」ト答ヘタリ

第四十回議會 大正七年一月二十二日國務大臣ノ演說ニ對シ尾崎行雄君ハ「極メテ簡單ナル質疑ヲ十餘リ致シテ更ニ進ンデ其御答辯ニ依ツテ疑ヲ質シタイノデアリマスガ……十餘リアルモノヲ悉ク一回ニ其處ニ登ツテ述ヘマシテハ、答ヘル人モ定メテ御迷惑スルデアラウト思ヒマスカラ、若シ議長ガ御許シニナルナラバ一項宛此處デ答辯ヲ得タイト思ヒマスガ」ト問ヒタルニ議長(大岡育造君)ハ「先刻豫メ議長ガ議場整理ノ方針ヲ宣明致シテ置キマシタ、即チ順序ニ從ツテ發言ヲ許ス、而シテ極メテ簡單ナルモノニ付テハ、自席ヨリ發言スルコトヲ求メラレレバ、ソレモ許シマスルガ、議場ノ形勢ニ依リ徹底ノ必要アリト思フ時ニハ何時ニテモ登壇ヲ促ス豫メ十アルニアル、ソレヲ皆許シヲ得タイト云フ如キ事ノ御約束ハ致シマセヌ」ト答ヘ更ニ「大體ノ質問ノ御趣旨ヲ登壇ノ上御宣明ニナツテ、尙遺漏ノアル事デ簡單ニ御尋ネノ場合ダケヲ自席デヤラレタ方ガ洵ニ整理上宜シカラウト思フ」ト告ケタルニ尾崎君ハ「ソレハ不便ナ遣方ト思ヒマスルガ議長及議場ノ諸君ガ、ソレガ宜カラウト云フコトデアルナレバ登壇致シマセウ」トテ登壇ノ上數項ニ涉リ質疑ヲ爲シタリ

然ルニ一質疑數項ニ涉ル場合各項毎ニ之ヲ許シタルコトアリ

第三十八回議會 大正六年一月二十三日國務大臣ノ演說ニ對スル質疑ニ於テ尾崎行雄君ハ「……確メテオキマス、——議長ガ御許ニナレバ私ハ總理大臣ノ御答ヲ聽イテ續イテ又立チタイト思ヒマス」ト述ヘタルニ議長(島田二郎君)ハ「……續イテ外務大臣ニ問ヒタイト云フコトデアレバ、御問ニナツテ宜ウ御座イマス、ソレトモ寺内國務大臣ノ説明ヲ御聽ニナツテ、ソレカラ又別ニ爲スツテモ宜シウ御座イマス……」ト告ケ寺内閣總理大臣ノ答辯ニ對シ重ネテ質疑應答ヲ爲シ更ニ同君ハ「總理大臣ニ對シテハ止メテ置キマス、次ニ外務大臣ニ就テ事實ダケヲ質問ヲ致シテオキタイ」トテ外務大臣ニ對シ質疑ヲ爲シタリ

第三十九回議會 大正六年六月二十六日國務大臣ノ演說ニ對スル質疑ニ於テ島田二郎君ハ質疑條項ノ一部ヲ述ヘタル後「……此ニツノ點ヲ明白ニ御説明アランコトヲ願ヒマス」ト告ケタルトキ「降壇々々」ノ聲アリ同君ハ「本員ハ尙續々問ヲ發スルノデアリマスカラ」ト述ヘタルニ議長(大岡育造君)ハ大臣ハ低聲ニシテ徹底セサルヲ以テ降壇シ更ニ登壇ノ上繼續スヘキ旨ヲ告ケ同君ハ其後四回演壇ニ上リ國務大臣ト質疑應答ヲ重ネタリ

### 二九九 國務大臣ノ演說ニ對スル質疑ノ會議ニ於テ演說ヲ爲ササル他ノ



國務大臣ニ對シテモ質疑ヲ爲ス

每議會ノ始ニ於テ内閣總理大臣、外務大臣、大藏大臣ノ演說アルヲ例トス之ニ對スル質疑ハ必スシ  
モ上記國務大臣ノミニ限ラス列席セル他ノ國務大臣ニ對シテモ之ヲ爲スコトヲ得而シテ質疑ノ通  
告者多數ナルトキハ質疑數日ニ互ルコトナシトセス

參看 三〇八號、三〇九號

三〇〇 國務大臣ニ對スル質疑ニ付テ政府委員ヨリ辯明ヲ爲ス

國務大臣ノ演說又ハ議案ノ趣旨辯明等ニ對シ議員ヨリ質疑ヲ爲セル場合ニ政府委員之カ辯明ヲ爲  
スコト亦尠シトセス

參看 三〇九號、五八六號、六五八號、六六〇號

三〇一 當該問題ニ關係アルモノハ質問ノ名ヲ以テスルモ之ヲ質疑ト看  
做ス

第二十七回議會 明治四十四年二月十四日明治四十四年度豫算案ノ會議ニ於テ守屋此助君ハ「豫  
算全體ニ涉リマシテ五段ニ分ケテ大體ノ質問ヲ致サウト思ヒマス」ト述ヘ發言セル際長晴登君ハ  
「守屋君ノ發言ハ議院法第四十八條ニ依リ提出スヘキモノニシテ此場合ニ於テ許可スヘキモノ  
ニアラス」トノ動議ヲ提出シ院議之ヲ可決セルニ依リ議長(長谷場純孝君)ハ其ノ發言ヲ止メ守  
屋君ハ同日更ニ「豫算ニ付テ説明ヲ政府ニ求ムルタメニ演說ヲ致シマス……」ト云ヒ質疑ヲ爲セ  
リ然ルニ同日二十八日三土忠造君外三名提出砂糖消費稅法中改正法律案ノ會議ノ際中川虎之  
助君ハ「政府委員ニ質問致シマス」ト述ヘ發言セルニ議長之ヲ許可セルニ依リ三月二日日野國明  
君ハ右ニ關シ「(前略)過日ノ會議ニ於テハ議案ニ付テ質問ヲスルト云フコトハ出來ナイト云フ  
意味ヲ決議ニナツテ居ルガ、ソレハ不當デアルト云フコトヲ御認メニナツテ議長ハ此院議ニ反對ヲ  
スルト云フ方針ヲ御執リニナル意味デアリマスカ……」ト問ヒ議長ハ「明白ニ御答致シマス、去ル  
十四日ノ速記録ノ總テヲ御熟讀ヲ請ヒ置キマス……即チ長君ハ成文ノモノガアルカラト云フノ  
デ議長ハ之ニ依ッテ採決ヲシタ……尙中川君ノハ議長ハ質疑ト云フコトニ了解シテ許シマシタ」  
日野君「……質問ト云フコトデハ議題ニナツテ居ルコトニ付テ問ヲ發スルコトガ出來ナイト云フノ  
ガ長君ノ動議ノ趣旨デアアルソレヲ多數デ決セラレテ居ルノデ……議長モ此院議ヲ重ンゼナケレ  
バナラヌノデアアルガ……」議長「議長ハ斯ウ心得マス所謂質疑ト云フコトハ議院法ニモ書イテア



ル、ソレデ其ノ名ヲ質問ニ藉リテ、サウシテ議論ヲ濫リニスルト云フコトハ宜シクナイト思フノ  
デゴザイマス、其ノ場合ニ於テ極ク簡明ナル疑ヲ質スコトハ差支ナイト思フノデゴザイマス、併  
ナガラ御承知ノ通り十四日ノ日ハ議場モアノ通りノ混雜デアリマシタカラシテ尙取調べテ御答  
ヲスルコトニ致シマセウ」ト告ケ同月七日議長ハ「……先月十四日長晴登君ノ提出セラレタル動  
議ハ當日ノ議場デ本職ノ朗讀シタル通り……デアリマス即チ成文ノ動議ヲ見マスレバ其争フト  
コロノモノハ名稱デナクシテ演説ノ實質ニアリト認メネバナリマセヌ之ヲ要スルニ議長ハ當該  
問題ニ直接ノ關係アルモノハ其何等ノ言葉ヲ用ユルヲ問ハス從來ノ慣例ニ依リテ之ヲ許可スル  
コトニ致シ而シテ其當該問題ニ直接ニ關聯セサルモノハ何等ノ言葉ヲ用ユルニ拘ラス議院法第  
四十八條ニ依ルヘキモノトスル考デアリマス過日中川君ノ質問ト云ハレタニモ拘ラス之ニ發言  
ヲ許可シマシタノハ右ノ理由ニ基キ衆議院規則ノ所謂質疑ト認メタカラデアリマス此段御答ヲ  
致シマス」ト述ヘタリ

### 三〇二 質疑其ノ範圍ヲ超ユルトキハ中止セラル

第二十八回議會 明治四十五年二月十三日明治四十五年度總豫算案ノ會議ニ於テ議長(大岡育造  
君)ハ「質問ハ是マデ許サレタル例デアリマスカラ、質問ヲ許シマスルガ、名ヲ質問ニ藉リテ討論

スル場合ガアレバ之ヲ差止メマスカラ左様御承知ヲ願ヒタイ」ト注意シ早速整爾君、小橋榮太郎  
君ノ質疑中議論ニ涉レルモノヲ差止メタリ

第三十七回議會 大正四年十二月十六日秦豊助君ハ議事進行ニ關ルル質疑トシテ廣岡宇一郎君ヨ  
リ朗讀ニ代ヘ訴訟記録ヲ速記録ニ掲載セムコトヲ要求シタルニ未タ其ノ掲載ナキ所以ヲ質シタ  
ルトキ議長(島田三郎君)ハ本日議事日程終了後掲載ノ許否ヲ院議ニ諮フヘシト告ケタルモ秦君  
ハ噂ニ依レハ祕密會トシ傍聽人ヲ退去セシメ多數ヲ以テ決定セン計畫ナリ云々ト發言シ議長ハ  
質疑ノ域ヲ脱シタルモノトシ之ヲ差止メタリ

第四十回議會 大正七年三月二十日衆議院議員選舉法中改正法律案ノ第一讀會ノ續會ニ於テ齋藤  
隆夫君ハ前日內務大臣ニ對シ質疑ヲ爲シタルモ徹底セサルヲ以テ更ニ質疑ヲ許サレムコトヲ求  
メ院議之ヲ許可シタルトキ同君ハ「昨日ノ本員ノ質問ニ對シテ內務大臣ノ御答辯ハ……殊ニ要  
領ヲ得ルニ苦ンダノデアリマス、併シ此點ニ付如何ニ質問ヲバ致シマシタ所ガ元來要領ヲ得タ  
ルヤリ方デナイノデアリマスカラ到底要領ヲ得ル答辯ハ承ルコトカ出來ナイト思ヒマス、ソレ故ニ  
他ノ點ニ付テ一二質問ヲシテ置キタイ……政府ハ工業動員法案ノ通過ヲ圖ルカ爲ニ選舉法ノ改  
正案ヲ犠牲ニ供シタト云フコトデアル此事實ハ果シテ正當ナリヤ否ヤト云フコトヲ先ヅ第一ニ  
伺ヒタイ……」ト述ヘタルトキ議長(大岡育造君)ハ「問ニ對スル返答徹底セザルコトヲ以テ發言



ヲ御求メニナツタノデアリマス、然ルニ其方ヲ放棄シテ、更ニ新タナル事ヲ御尋ネニナル、今ノ御演説ハ是ハ差止メマス」ト告ケ其ノ發言ヲ許ササリキ

同 大正七年一月二十四日政府提出所得税法中改正法律案外一件ノ第一讀會ニ於テ勝田大藏大臣ノ趣旨辯明ニ對スル吉植庄一郎君ノ質疑中議長(大岡育造君)ハ「吉植君、此場合ハ關聯シタル税法ニ就テ御質問ヲ願ヒタイ」……「重ネテ御忠告ヲ申シマス唯今議題トナツテ居リマスモノハ増案デアリマス、昨日ノ如キ場合ニ於テ此御尋ノアルノハ御尤カモ知レマ稅及減稅ノセヌガ議場整理ノ爲ニ更ニ御注意申上ゲマス」ト告ケタルニ吉植君ハ「……併シ本議場ニ於ケル此質問ハ必スシモ法文ノ第何條ノ何項ニ限ルト云フカ如キ、此議場ニ於ケル吾々議員ノ發言權ハ狹隘ノモノモノデナカラウト思ヒマス」ト答ヘ議長ハ更ニ「然ラバ更ニ申上ゲマス、議院ニハ別ニ質問ノ日ガ設ケテアリマス、題ノ何タルヲ問ハズ、御質問ナサルト云フコトハ議場整理ニ妨ガアリマス」……「此中ノ問題ニ就テ御述ベニナラバ無論御自由デアリマス」ト告ケ吉植君「……豫算案並増稅案ハ本年ノ議會ニ於ケル政府ノ根本問題デアル、此根本問題ヲ御提案ニナツテ居リマスカラ、此日ハ餘リ官僚式ノ解釋ヲ執ラナイデ、此政策ノ大體ニ就テ質問スルモ敢テ妨ナイト思ヒマス」ト問ヒ議長ハ「然ラバ議長ト見解ガ違フノデアリマス、議長ハ問題ヲ出シタラ、其問題ニ就テノ討論ヲ運ブコトヲ主トシテ居ルノデアリマス、故ニ吉植君ノ議論ヲ壓スルノデモナケレバ、止メルモノデモナケレバ御降壇ヲ促スノデモアリマセス」ト告ケ同君ハ引續キ範圍外ニ涉リ演説ヲ進ムルニ依リ議長ハ「重ネテ御注意申上ゲマス、此議場ニ在ル所ノ慣習及規則ハ自然ノ例ヲナスノデアリマス、此意味ヲ尊重シテ直接ナル御質問ダケニ止メテ戴キタイ」ト告ケ同君ハ聽テ演説ヲ終了シタリ  
同一ノ事例尠カラス

參看 三三〇號、三三一號

### 三〇三 討論ニ對スル質疑ハ之ヲ許ス

反對賛成ノ討論ニ對シ質疑ヲ爲ス者アルトキハ之ヲ許スヲ例トス

第三十七回議會 大正五年二月二十六日高木益太郎君外二名提出人權保護ニ關スル法律案及刑事訴訟法中改正法律案ノ第一讀會ノ續會ニ於テ望月長夫君ハ關和知君ノ反對演説ニ對シ「……關君ノ御論ニ依レバ本案ノ修正案ノ第一條ハ全ク刑法第百九十三條ノ說明ニ過ギナイ、第百九十三條ニ規定シテアル處其ノ儘ヲ書イタニ過ギナイ、左様ニ御論ジニナリマシタガ……此法案ハ其結果ハ兎モ角先ヅ根本ニ於テ被告人ノ取調ヲ爲シ、恐喝許言ナルモノヲ用キルコト



ヲ禁ジテ居ル、刑法トマルデ違フノデアリマセヌカ、……ヤハリ刑法第九十三條ニ該當致スト云フ御解釋デアルカ、私ノ百九十三條ノ解釋ガ違フカ、是ハ明白ニ御答ヲ得タイ」トノ質疑ヲ爲シ關和知君之ニ應答セリ

參看 四一六號、四一八號

### 三〇四 發言中其ノ發言ニ關シ質疑ス

第一回議會 明治二十四年二月七日明治二十四年度豫算案ノ會議ニ於テ歲出經常部外務省所管ニ對シ井上角五郎君ノ演說中堀内忠司君ハ「一寸井上君ニ質問ガ御座リマス……」ト云ヒ質疑ノ爲發言ヲ求メ議長(中島信行君)ハ「井上君ノ發議中デアリマスカラ……」ト告ケタルニ堀内忠司君ハ「發議サレルコトニ就イテ一言シタイノデ、濟マシタナラバ要ハナイノデ」ト云ヒ尙之ヲ求メ議長ハ遂ニ同君ニ質疑ヲ許シ次テ中村榮助君モ「一寸演說中デアリマスガ、井上角五郎君ニ是非質問シナケレバナラヌ事ガアル」ト述ヘタルニ議長ハ其ノ質疑ヲ許シタリ

第二十二回議會 明治三十九年二月八日政府提出非常特別稅法中改正法律案ノ會議ニ於テ波多野傳三郎君ノ演說中與野市次郎君ハ其ノ演說ニ關シテ質疑ヲ爲シタルニ議長(杉田定一君)ハ之ヲ

許シタリ

### 三〇五 質疑ハ討論終局ノ動議成立後ハ之ヲ許サス

議案ニ對スル質疑ハ討論前若ハ討論中ニ於テシ討論終局ノ動議成立スルカ若ハ討論終局シタル後ハ之ヲ許ササルヲ例トス

#### (一) 討論終局ノ動議成立後質疑ヲ許サリシ例

第五回議會 明治二十六年十二月十八日青山朗君外一名提出特別輸出港追加法律案ノ第一讀會中討論終局ノ動議成立シタルトキ工藤行幹君ハ採決方法ニ就テ發言ヲ求メ議長(楠本正隆君)ハ之ヲ許シタルニ同君ハ「私ハ此事ニ就イテ政府ノ説明ヲ得テ然ル後決議ヲシタイト思フ(中略)政府委員ガ居ルナラバ只今此席ヘ出シテ十分ナル説明ヲ得タイ」ト述ヘタルヲ以テ議長ハ「決議ノ採方ニ就イテ御注意ヲ促スト云フコトデゴザイマシタガ討論終結ノ動議ガ成立ッテ居ル已上ハ質問ト云フコトハ最早經過ヲシテ出來マセヌト告ケタリ

第六回議會 明治二十七年五月二十六日小室重弘君外八名提出震災地方未納地租延納法案ノ第一讀會中討論終局ノ動議起リ之ニ贊成者アリタルトキ深山聳峯君質疑ノ爲發言ヲ求メタルモ議長(楠本正隆君)ハ「……質問ハ最早イケマセヌ」ト告タリ



第八回議會 明治二十八年一月二十一日議員收賄ノ調査委員ヲ設クル件ニ付討論終局ノ動議成立後田中正造君質疑ノ爲發言ヲ求メタルニ議長(楠本正隆君)ハ「討論終局ガ問題ニナリマシタ」ト告ケタリ

(二) 討論終局後質疑ヲ許ササリシ例

第一回議會 明治二十四年二月二十六日明治二十四年度豫算案ニ關シ政府ヨリノ覆牒ニ關スル件ニ付討論終局シタル後鈴木萬次郎君ハ「議長質問ガアル」ト云ヒタルニ議長(中島信行君)ハ「決議ノ宣告ヲシタ以上何ガアリマスカ」鈴木萬次郎君「質問デアリマス」議長「質問ハ行ケナイ」ト告ケタリ

第二十二回議會 明治二十九年三月二十六日政府提出宅地地價修正法案第一讀會ノ續會ニ於テ討論終局後根本正君ハ「質問ガアリマス」ト云ヒ發言ヲ求メタルニ議長(杉田定一君)ハ「此際根本君ハ本案ニ付キマシテ政府ヘ質問ガアルト云フコトデアリマス」ト告ケ之ヲ起立ニ諮ヒシニ起立者無キヲ以テ質疑ヲ許ササリキ

又翌二十七日政府提出貴族院送付徴兵令中改正法律案ノ第二讀會ニ於テ討論終局後西村丹治郎君ハ「質問ガアル質問ハ許シテ宜シイ昨日モ討論終結ニナツテカラ根本君ニ確ニ許サレテアル」ト云ヒ根本君ハ「アレハ確ニ許サレナカッタ」ト述ヘ議長ハ其ノ質疑ヲ許ササリキ

然ルニ討論終局後簡明ナル質疑ヲ許シタルコトアリ

第二十七回議會 明治四十四年三月九日政府提出日本勸業銀行法中改正法律案外三件ノ會議

ニ於テ討論終局後片岡直溫君「質問ハ許サヌデスカ」議長(長谷場純孝君)「討論ハ終結致シマシタ」片岡君「討論終結ハ宜シイガ、質問ヲチヨットシタイノハ御説明ニ對シテ」議長「討論終結後ハ質問ヲ許サヌガ本則デスガ、又終結後ト雖許シタ例モアリマスカラ、簡明ナラバ許シマス」ト告ケ質疑應答ノ後細野次郎君、西谷金藏君ヨリ「質問デス」ト發言ヲ求メタルモ議長ハ「モウ發言ハ止メマス、採決ヲ致シマス……」ト告ケ之ヲ許ササリキ

參看 四一六號

三〇六 質疑ハ委員付託ノ動議成立後ト雖之ヲ許スヲ例トス

第十回議會 明治三十年三月六日立石岐君外二名提出岡山縣廣島縣境界變更並廣島縣郡界變更法律案ノ第一讀會中委員付託ノ動議起リ之ニ贊成者アリタルモ議長(鳩山和夫君)ハ質疑ヲ許シ「吉本榮吉君ノ委員説ガ出テ居リマスガ決議ヲ」ト云ヒタルニ對シ議長ハ「質問ダケハ許サナケレバナラヌト考ヘマス」ト告ケ尙質疑ヲ許シタリ



第十八回議會、第二十一回議會ニ於テモ同一ノ事例一回アリ

參看 四一六號

三〇七 委員付託後ニ於ケル國務大臣ノ發言ニ對シ質疑ヲ許可ス

第三十一回議會 大正三年三月十三日花井卓藏君外二君提出陸軍治罪法中改正法律案外一件ニ對シ兩案トモ委員ニ付託後楠瀬陸軍大臣ハ政府ノ意見ヲ述ヘ花井卓藏君ヨリ質疑ノ請求ヲ爲セシニ副議長(關直彦君)ハ「大臣ハ何時ニテモ發言スルコトヲ得ル其發言ニ對シテ説明ヲ求メルト云フコトデアリマスカラ許シテ差支ヘナカラウト思ヒマス」ト告ケ其ノ質疑ヲ許可シ楠瀬陸軍大臣ハ花井君ノ質疑ニ對シ應答セリ

參看 二九八號

三〇八 議案若ハ演說ニ對シ質疑ノ通告ヲ爲ス

重要ナル議案及動議ノ議事ニ付セラルルトキハ質疑ノ通告ヲ爲ス者毎會期其ノ事例鈔カラス又近

時毎會期ノ始國務大臣ノ演說ニ對シ多數ノ質疑通告アルヲ例トス

參看 二九八號、三二三號

三〇九 質疑ニ對スル質疑ハ之ヲ許ス

第四十回議會 大正七年一月二十四日國務大臣ノ演說ニ對スル質疑ノ會議ニ於テ正木照藏君ノ質疑終了スルヤ廣岡宇一郎君之ニ對シ質疑ヲ爲シタリ

第四十一回議會 大正八年三月二十日小寺謙吉君提出外交ニ關スル緊急質疑ニ付テ同君ノ趣旨辯明終了後吉植庄一郎君ヨリ質疑ヲ爲サムトシタルニ議長(大岡育造君)ハ質問ノ質問ハ許サヌ例ナルヲ以テ別段ノ方法ヲ採ラムコトヲ求メタルニ廣岡宇一郎君ヨリ第四十回議會ニ於テ質問者ニ質問ヲ爲シタル前例アリト主張シタルモ議長ハ「御聽ヲ願ヒマス、唯今議長ノ記憶ニ依レハ質問ニ質問ハ許サヌ例ト思ヒマスガ、併ナガラ是ハ重大ナル事デアルトシテ、議場ガ之ヲ許セバ差支ナイノデアリマス……」ト告ケ之ヲ許可スルヤ否ヲ院議ニ諮ヒ院議之ヲ許可スルニ決シタリ

## 第十節 發言及發言通告



三一〇 發言ハ開議宣告ノ後ニ非サレハ之ヲ許可セス

議長開議ヲ宣告セサル以前ニ於テハ議事ニ付テハ勿論何人ヨリ何等ノ發言ヲ請求スルモ之ヲ許ササルヲ例トス

第二十五回議會 明治四十二年二月六日議長ノ開議宣告前發言ヲ求ムル者アリタルトキ議長(長谷場純孝君)ハ「……規則ニ依ッテ議長ガ開會ノ宣告ヲセヌ以上ニハ何人ニモ發言ハ許シマセヌ——」ト告ケ之ヲ許ササリキ

第二十八回議會 明治四十五年三月二十日議長ノ開議宣告前日野國明君、藏原惟郭君ヨリ發言ヲ求メタルニ議長(大岡育造君)ハ「マダ會議ヲ開キマセヌ、是ヨリ會議ヲ開キマス」ト告ケ發言ヲ許可シタリ

第四十一回議會 大正八年三月二十五日議長ノ開議宣告前横山勝太郎君發言ヲ求メタルニ議長(大岡育造君)ハ「マダ會議ヲ開キマセヌ——」ト告ケ之ヲ許ササリキ

參看 二七七號、三二四號

三一〇 議事進行又ハ議員ノ身上ニ關スル發言ハ直ニ之ヲ許可スルヲ例トス

議事進行ニ關シテ發言ヲ求ムルトキハ議長ハ直ニ之ヲ許可スルヲ例トス其ノ事例尠カラス議員ノ身上ニ關スル發言亦同シ

第二十四回議會 明治四十一年二月二十九日議事日程第十ヲ終リタルトキ武藤金吉君ハ「私ハ自己ノ進退ニ關シマシテ演壇ヲ述ベタイコトガアリマスガ滿場ニ御諮リヲ願ッテ登壇ヲ御許ヲ願ヒタイノデアリマス」ト要求セルニ議長(杉田定一君)ハ其ノ許否ヲ院議ニ諮ヒ「異議ナシ」ト呼フ者アリ「異議ガナイト認メマス」ト告ケタルニ望月長夫君ヨリ「マダ議題ガ殘ッテ居リマス、日程ガ殘ツテ居リマス」ト云ヒ議長ハ更ニ「日程ガアルニ拘ラズ此際ニ述ベタイト云フノデアリマスソレデ諸君ニ御諮リ申シタノデアリマス」ト告ケ異議ナカリシヲ以テ同君ノ發言ヲ許可シタリ

第三十六回議會 大正四年六月九日齋藤珪次君外二名提出決議案(議長不信任案)ノ議事ニ際シ齋藤珪次君趣旨辯明後副議長(花井卓藏君)ハ「通告ハアルノデアリマス、是レハ島田君ガ辯明ヲナサルト云フコトデゴザイマスカラ通告ニ拘ラズ先例ニ依リ許スコトニ致シタノデゴザイ



マスカラ左様御承知ヲ願ヒマス」ト告ケ島田三郎君ヲシテ辯明セシメタリ

第三十七回議會 大正四年十二月十六日廣岡宇一郎君ノ要求ニ係ル質問ノ參考書ヲ速記録ニ掲載スルヤ否ノ件院議ニ付セラレタル際花井卓藏君ハ議事ノ進行ニ關シ發言ヲ求メタルニ議長(島田三郎君)ハ之ヲ許可シ同君ハ議事ノ進行ニ關シ議長ニ對シテ質疑シ次テ希望ヲ述ヘタリ同 大正四年十二月二十一日質問ヲ終ルヤ議長(島田三郎君)ハ日程ニ入ルニ先チ元田肇君ヨリ辯明ノ要求アル旨ヲ告ケ同君ノ發言ヲ許可シ同君ハ去十八日ノ會議ニ於テ森田君並金澤君ノ演說中自己ノ身上ニ關スル事項ニ關シ辯明ヲ爲シタリ

參看 三九六號ノ(二〇)、三八三號、三八五號

### 三三二 議事若ハ議場整理ニ關スル發言ハ直ニ之ヲ許可スルヲ例トス

議事若ハ議事整理ニ關スル發言ノ要求アルトキハ議長ハ直ニ之ヲ許スヲ例トシ其ノ事例尠カラス  
第四十回議會 大正七年二月九日政府提出遠洋漁業獎勵法中改正法律案ヲ議シタル際前川虎造君ハ議事整理ニ關シ發言ヲ求メタルニ議長(大岡育造君)ハ之ヲ許可シ同君ハ一昨七日通行稅法案 議事ニ關シ議長ニ注意ノ發言ヲ爲シタリ

第三十一回議會 大正三年二月十四日ノ會議ニ於テ武富時敏君ハ議場整理ニ關スル發言ヲ求メタルニ議長(大岡育造君)ハ之ヲ許可シ同君ハ本日午後三時頃營業稅外九件ノ委員會ニ於テ議員ニアラザル大野某ナル者院內通行證第十四號並ニ委員會出入證第三號徽章ヲ佩用シ議員加賀卯之吉君ニ危害ヲ加ヘテ面部ヲ打撲シ疾病休業ニ週間ノ怪我ヲ負ハシメタリ議院內ノ警察ハ議長ノ責任ナリ議長ハ如何ナル處理ヲセラル、ヤ明答アリタシ而シテ右答辯如何ニ拘ハラズ此ノ議場內ノ秩序ハ紊亂ノ極ニ達セルニヨリ秩序ノ回復セラル、迄三日間休憩スヘシ」トノ動議ヲ提出シ議長(大岡育造君)ハ右質疑ニ對シ辯明ヲ爲シ唯今ノ動議ヲ先決問題ト爲ス旨ヲ告ケ其ノ可否ヲ院議ニ諮ヘリ

參看 三八三號、三八五號

### 三三三 議長必要ト認ムル場合ハ一時發言ヲ中止スルコトヲ得

詔勅ノ傳達、至急ヲ要スル諮問事項、時間延長又ハ議場騷擾セルトキ其ノ他出席議員定數ヲ闕キタリト認ムル場合ニ計算ヲ爲ストキ等必要ナル場合ニハ議長ハ一時議員ノ發言ヲ中止ス



三一四 議席ニ於ケル發言者ヲ登壇セシム

第四十二回議會 大正九年二月十日政府提出酒造法中改正法律案第二讀會ニ於テ佐々木正藏君ハ議長ノ許可ヲ得テ修正意見ヲ陳述中議長(大岡育造君)ハ「尙ホ御説明ニナルナラバ、御登壇ヲ希望致シマス……徹底致シマセヌ」ト告ケ登壇ヲ促シ同君ハ登壇ノ上更ニ説明ヲ進メタリ  
同一ノ事例毎會期尠カラス

參看 二九〇號、三六四號

三一五 國務大臣及政府委員ト雖議長ノ許可ヲ得テ登壇ス

第六回議會 明治二十七年五月三十一日(特別報告第二號)地租引當米過剩金下戻ノ請願ノ報告ニ對スル政府委員松岡内務次官ノ發言ニ於テ議長(楠本正隆君)ハ神鞭知常君ニ發言ヲ許シタルモ内務大臣臨時代理芳川司法大臣ノ發言ニ關シ議場騷擾シ議長々々ト呼フ者アリシト議長ハ「一寸御待チナサイ此處ハ他ニ發言ヲ許シマセヌ政府委員モ意見ヲ述ベルコトヲ請求ニナッテ居ルケレドモ止メテ居ル場合デアルト告ケ政府委員兒玉陸軍次官ノ「政府委員ノ發言ヲドウシ

テ御止メナサル」ト述ヘシニ對シ「今他ニ登壇ヲ許シテアル」ト告ケ神鞭知常君發言ノ後政府委員兒玉陸軍次官議長ノ許可ヲ得ス登壇シタルト議長ハ「一寸御待チナサイあなたハマダ許サヌ」ト告ケ之ヲ停メタリ

三一六 演說者ハ私話ニ應酬スルコトヲ得ス

第二十八回議會 明治四十五年二月二十二日小橋榮太郎君ハ其ノ提出北海道拓殖經營ニ關スル建議案ノ趣旨辯明中議員中發言スル者アリタルニ對シ「ヤカマシイコトヲ言フナ僕等ハ唯辯ヲ賣ルノデハナイ……」何ダ君等餘計ナコトヲ言フカライカヌ」小橋榮太郎ガ此壇上ニ長ク居レバ居ルホド多數黨ガ横暴ヲ極ムル證據ダ……」等ノ語ヲ以テセルニ議長(大岡育造君)ハ「私話ヲ止メテ貰ヒタイ」小橋君屢々忠告ヲシマスガ私話ヲナサルナ……」屢々演說者ト諸君トノ間ニ私話ガ往復サレテハ困リマスカラ……」ト之ヲ制止シタリ

第四十回議會 大正七年二月十四日武富時敏君外七名提出決議案ノ會議中ニ於テ尾崎行雄君ノ演說中「諒解トハ何ゾ」「誰カラ聞イタ」ト呼フ者アリ同君ハ「拙者承知致シテ居ル」ト述ヘタルニ議長(大岡育造君)ハ「私話ハ禁ジマス」ト之ヲ制止シタリ本事例ノ如キハ每會期數多アリ



三一七 議長ノ許可セサル發言ハ發言ト認メス

第一回議會 明治二十四年一月十日大津淳一郎君ハ「昨日田中正造君ノ遞信大臣ニ對スル事柄デアリマス、昨日彼ノ事ニ就キマシテ遞信大臣ヨリ議長ヘ申サレタノハ、田中君ノ述べラレマシタ事柄ハ狂人ノたは言デアアルカト云フコトノヤウニ承知致シマシタ、其際ニ議長ヨリノ御答、如何ニモ音聲ガ低クテ、如何ナル御答ヲナサレタカ聞ヘマセンデ仕舞ヒマシタ(中略)議會ノ體面ト云フ點カラ見ルト確メテ置イタ方ガ宜シカラウト思ヒマス(中略)議長ハ如何ナル御答ニナッタノテアリマセウカソレヲ一寸伺ヒマス」ト問ヒタルニ議長(中島信行君)ハ「昨日ノ田中正造君ノ發議ハ議長ノ許可ヲ與ヘズシテ發議サレタルコト、後藤伯ノ發議亦議長ノ許可ヲセザル發議デアアル、共ニ此ノ議場ニ成立タザルモノニシテ、既ニ速記録ニモ記載セザルコトデ、凡ベテ議長ハ此ノ事ニ就テ敢テ此ノ議場ニ辯解ラスルヲ要セザル事ト考ヘマス」ト告ケタリ

三一八 外國語ハ慣用語又ハ己ムヲ得サル場合ノ外使用スルコトヲ得ス

外國語ハ己ムヲ得サル場合ノ外使用スルコトヲ得サルヲ原則トスルモ近時慣用語又ハ簡單ナル外國語ハ之ヲ認容スルノ傾向トナレリ但シ請願書ハ普通ノ邦文ヲ用キ若シ外國語ヲ用キサルヲ得サ

ルトキハ註解ヲ附スヘキコトハ衆議院規則第五十條ノ規定スル所ナリ

第十七回議會 明治三十五年十二月十六日政府提出地租條例中改正法律案第一讀會ノ續會ニ於

テ大石正巳君ハ其ノ演說中「バイオレンス」ナル語ヲ用キタリシニ議長(片岡健吉君)ハ「唯今

大石君ノ演說中ニ「バイオレンス」ナル語ヲ用キタリシハ日本語デナイト思ヒマス外國語ハ成

ルタケ己ムヲ得ナイトキデナケレバ用キナイコトニナツテ居リマス、若シ用キテモ成ルタケソ

レヲ御解釋スルコトニ致シタイト思ヒマスカラ是ハ御注意ヲシテ置キマス」トノ注意ヲ爲シ

同君ハ「是ハ此處デ説明致シマス必ズサウ云フ言葉ヲ使フ必要ハナイ唯其時ノ場合デサウ云

フ言葉ヲ使ヒマシタガ是ハ即チ勢ヒノ猛烈ヲ加ヘルト云フ意味デ申シマシタ」ト述ヘタリ

第二十五回議會 明治四十二年三月六日島田三郎君提出國民ノ權利及議會ノ體面ニ關スル質問

ノ趣旨辯明中「デモンストレーション」ナル語ヲ用キ之ヲ譯シテ示威運動ト稱スト述ヘタリ

三一九 國務大臣ノ演說ニ對シ注意ノ爲ノ發言ハ之ヲ許サズ

第十七回議會 明治三十五年十二月十三日桂内閣總理大臣ノ施政ノ方針ニ關スル演說及曾瀨大藏

大臣ノ明治三十六年度豫算案並政府提出地租條例中改正法律案ニ關スル演說ニ對シ竹越與三郎君

ハ注意ヲ與ヘム爲ノ發言ヲ求メタルニ議長(片岡健吉君)ハ「今マデ注意ヲ與ヘルト云フ發言ヲ



許シタコトハアリマセス」ト告ケ同君ノ「注意ヲ與ヘ且ハ聽キタイコトガアルノデス」ト云ヘルニ對シ「質問ナラバ許シマス」ト告ケ質疑トシテ發言ヲ許シタリ

三二〇 同一讀會中ト雖趣旨辯明ノ補足ハ勿論其ノ資格ヲ異ニスルトキハ再度發言ヲ爲スコトヲ得

同一議題ニ付テハ發言一回ニ及フコトヲ得サルモ議案ノ提出者ハ其ノ趣旨辯明ノ爲ニハ數回ノ發言ヲ爲スコトヲ得ヘク從テ同一讀會中ト雖趣旨辯明ノ補足トシテハ再度ノ發言ヲ爲スコトハ勿論趣旨辯明後又ハ委員長トシテ報告(少數意見ノ報告ヲモ含ム)ヲ爲シタル後議員一箇ノ資格ヲ以テ贊否ノ議論ヲ爲スコトヲ得ルモノトス

趣旨辯明ノ補足ニ付テハ二八五號ニ之ヲ掲ク  
委員長報告ノ補足ニ付テハ三六八號ニ之ヲ掲ク

趣旨辯明後若ハ委員長報告後贊否ノ議論ヲ爲シタルモノ左ノ如シ

第二十五回議會 明治四十二年三月九日 島田三郎君外五名提出非常特別稅法中改正法律案外二件第一讀會ニ於テ島田三郎君ハ「本員ハ二ツノ職分ヲ帶ビテ唯今此壇上ニ立ッテ本員ノ所思ト並ニ委託セラレタルトコロノ少數意見ノ報告ヲ致シマス……」述ヘ各案ニ對スル少數者

意見ノ趣旨ヲ辯明シ引續キ委員長報告ニ對スル反對ノ演說ヲ爲セリ

第四十二回議會 大正九年二月十七日 政府提出議院法中改正法律案第一讀會ノ續會ニ於テ委員長小川寅六君委員長報告ノ後議長(大岡育造君)ハ「本案ニハ別ニ演說ノ通告モアリマセヌガ、小川君ハ此案ニ就テ一個ノ意見ヲ以テ是ヨリ述ベタイト云フコトデアリマスカラ、之ヲ許可致シマス」ト告ケ同君ハ引續キ本案ニ反對ノ意見ヲ述ヘタリ

三二一 發言權ハ之ヲ拋棄スルコト得

議員ハ發言通告若ハ發言ノ許可ニ依リ發言權ヲ得ルモ之ヲ拋棄スルハ自由ナルヲ以テ議事ノ都合ニ依リ又ハ議場喧騒セル等ノ爲之ヲ拋棄シタルコト尠シトセス

參看 四二〇號

三二二 書記官長及書記官ハ議長ノ命ニ依リ又ハ議長ニ對シ發言スルコトヲ得



第一回議會 明治三十三年十一月二十七日部長理事當選ノ報告ニ際シ末松三郎君ノ定足數ヲ調査スヘシトノ請求ニ對シ曾禰書記官長ハ「只今ノ發言ガ御座リマシテ書記官ガ數ヘテ見タラバ人數ハ今ノ憲法第六十四條カラ云ヒマス時分ニハ人數ハ足りマセヌ併シナガラ此ノ憲法ニ御座リマスノハ議事」ト發言セシニ末松三郎君ハ「書記官長ハ何ノ權利デ申シマスカ」ト問ヒ曾禰書記官長ハ「議長ニ申上ゲルノデス……議事デナシ只今ハ報告ノ所デ議事ノコトデハナイト思ヒマスカラ此ノ段御注意申シテ置キマス」ト述ヘ次テ中村榮助君ノ議員現在數ノ問ニ對シ同書記官長ハ「書記官長ヨリ申シマスデ御座リマスガ九十三名」ト答ヘタリ同二十三年十二月一日衆議院規則起草ノ議事中工藤行幹君ノ傍聽出願人ノ有無ノ問ニ對シ曾禰書記官長ハ「書記官長ヨリ申上ゲマス書記官ノ手許ニアリマセヌ願書ヲ出シタ者ハ少シモアリマセヌ只書記官ノ處ニ來マシテ今日ハ傍聽ガ出來ルカドイデ御座イマシヤウカト問ヒマシタ之ニ書記官ガ答ヘテ言イマシタ何ニモ其ノ手筈ガ附イテ居ラヌカラ未ダ分ラナイト是丈ヲ答ヘマシタ」ト述ヘ翌二日末松三郎君ハ「次回ノ議事日程ノ初ニ此ノ勸議ヲ發言スルト云フコトヲ御記載アラムコトヲ議長ニ請求シマス」ト云ヒタルニ對シ同書記官長ハ「其目的ヲ御示シテ願ヒマス」ト又「ソレデハ議事日程ヲ書キマストキニ一寸私ノ處迄」ト述ヘタリ

同 二十三年十二月二十四日末松謙澄君提出版權法案ノ議事中板倉中君ノ「……未ダ足ランデス

カ幾人アリマスカ」トノ問ニ對シ水野書記官ハ「未ダ十二三人足りマセヌ」板倉中君「十六人足ラナイト云フノデスカ」水野書記官「ソナモノデス」ト答ヘタリ

同 二十四年一月二十日議長(中島信行君)ハ「議場燒失ニ關スル始末書ヲ報告シ次テ」書記官長ガ「實地ヲ見分シ且彼是其ノ處置ヲシタル所ノ模様ヲ一ツ書記官長カラ御話スル事……」ト告ケ曾禰書記官長ハ演壇ニ上リ其ノ見分シタル顛末ヲ詳述シタリ

第十四回議會 明治三十三年二月十九日門馬尙經君ハ各部室ニ配付セル時事新報ニ關シ林田書記官長ニ質疑ヲ爲サムトシタルニ議長(片岡健吉君)ハ「書記官長ニ質問ナラ許シマセヌ」ト告ケタリ

第十八回議會 明治三十六年五月二十七日犬養毅君外四名提出上奏案ノ無名投票ヲ行フニ際シ副議長(杉田定一君)ハ「……且又此投票ノコトニ付キマシテ前ノヤウナ間違ノナイヤウニ書記官カラ説明ヲ致シマスルデ御靜聽ニナランコトヲ希望致シマス」ト告ケ寺田書記官ハ演壇ニ上リ其ノ構造及球ノ投入方ヲ説明シタリ

三三三三 發言通告ハ其ノ議案ノ議事日程ニ掲載セラレタル後(政府及貴族院提出議案ハ委員長ノ報告)之ヲ受理ス但シ議事日程以外ノ議題ニ對シ



テハ議長議事ニ付スル宣告ノ後之ヲ受理ス

第一回及第二回議會ニ於テハ議長ヨリ某議案提出ノ報告後議事日程掲載前ニ通告ヲ爲ス者アリテ頗ル混雜ヲ來タシタルコトアリ依テ第三回議會ヨリハ議案ノ議事日程ニ掲載セラレタル後ニ非サレハ發言ノ通告ハ之ヲ受理セサルコトトセリ又政府及貴族院提出ノ議案ハ委員ニ付託スヘキモノナルヲ以テ第十二回議會ノ始ニ當リ議長(片岡健吉君)ハ第一讀會ニ於テノ發言通告ハ必ス委員長報告ノ日程ニ上リタル後受理スルコトニ定メ其ノ旨ヲ各部ニ掲載シタリ

議事日程ヲ變更シ若ハ日程掲載ノ議案議了後他ノ議案ヲ議スルトキ又ハ緊急動議若ハ先決問題ニ對スル發言通告ハ議長之ヲ會議ニ付スルノ宣告ヲ待チ之ヲ受理ス發言通告者ハ別ニ定メタル用紙ニ氏名、件名、反對、贊成等ノ事項ヲ記入シ之ヲ書記官ニ交付シ書記官ハ受取りタル日時ヲ記入シ以テ通告ノ前後ヲ明ニシ發言表ニ轉載ス

### 三二四 發言通告ハ正式ニ申出ツルコトヲ要ス

第二十八回議會 明治四十五年二月二十日水野正己君質問ノ趣旨辯明ヲ爲サムトセル際日向輝武君發言ヲ求メタルニ議長(大岡育造君)ハ「唯今許シマシタカラ」日向君「ソレデハ水野君ガ終ヘ

テカラデ宜シウゴザイマス」議長「豫約ハチヨット致シマセヌ」ト答ヘ原内務大臣答辯ノ爲登壇スルヤ日向君ハ「私ハ通告ヲ致シテアリマス内務大臣ト雖議員ノ通告前ニ飛込シテ發言スル順序ハナイ」ト云ヒ議長ハ「發言ヲ許シマセヌ」日向君「通告ヲ致シテアルノデス」議長「通告ヲ受ケタコトハアリマセヌ」ト告ケ同大臣ノ答辯後日向君ハ「水野君ノ御演說ノ濟ミマシタ後ニ發言ヲ致シタイト云フコトヲ通告シテ置キマシタ」ト云ヘルニ對シ議長ハ「豫約ヲセヌト御斷リヲシタカララ通告ヲ受ケヌト同シ意味ニナリマス」日向君「發言ノ通告ヲスルト同時ニ幾人デモ議長ハ之ヲ御受ケニナルガ當然デアアル」議長「何時デモ通告ヲ持ッテ御出ニナリマスレバ受ケマスルケレドモ立ツテ議長々々ト云ハレタノデハ豫約スル譯ニハ往キマセヌ」ト告ケ通告ニ依ラサル發言トシテ之ヲ許可シタリ

### 三二五 發言通告者一時ニ集合シ其ノ前後ヲ區別シ能ハサルトキハ通告者ノ協議ニ依リ又ハ抽籤ヲ以テ順序ヲ定ム

第一回議會 明治二十四年三月六日議事日程ヲ變更シテ今井磯一郎君提出特別地價修正ニ關スル建議案ヲ院議ニ付シタルトキ反對又ハ贊成ノ旨ヲ記シ發言通告ヲ爲シタル者多數ニシテ其ノ前後ヲ識別スルコト能ハサリシヲ以テ通告者ノ姓名ヲ列記シ抽籤ノ上之カ順序ヲ定メタリ



三二六 發言ノ順序ハ通告者間ノ協議ニ依リ之ヲ變更スルコトヲ得

第三回議會 明治二十五年六月三日政府提出明治二十四年勅令第四十六號ノ會議ニ於テ橋本久太郎君ハ角田眞平君ニ通告ノ順位ヲ讓リタルヲ以テ議長(星亨君)ノ角田眞平君ニ發言ヲ許シタルトキ藤野政高君ハ「私ノ方ガ早イ積リデアリマスガドウ云フ譯デアリマス」ト問ヒタルニ議長ハ「早クナッタト云フ理由ハ通告ノ先キノ人ガ讓ツタカラデアル」ト告ケタリ

第六回議會 明治二十七年五月三十一日明治二十六年度ニ於テ中央備荒儲蓄金ヲ以テ豫算超過支出ノ件ノ會議ノ際重岡薫五郎君ハ井上角五郎君ニ通告ノ順位ヲ讓リタルヲ以テ議長(楠本正隆君)ハ井上角五郎君ニ發言ヲ許シタリ

第三十六回議會 大正四年六月一日(第一號)大正四年度歳入歳出總豫算追加案外二件ノ會議ニ於テ議長(島田二郎君)ハ「唯今通告ノ順序ニ依リマシテ鈴木梅四郎君ヲ呼ビマシタガ、元田肇君ヨリ御求メガアリマスカラ順序ヲ變ヘマス」ト告ケ元田肇君ニ其ノ發言ヲ許可シタリ

參看 五五七號

三二七 修正案若ハ修正動議ノ提出者ハ發言通告ノ順序ニ拘ラス其ノ趣旨ヲ辯明スルコトヲ得

修正案若ハ修正動議ノ提出者其ノ趣旨ヲ辯明セムトスルトキハ發言通告者アルモ之ニ先チ辯明ヲ許シ發言通告ノ順序ニ依ラサルヲ例トス

第一回議會 明治二十四年二月七日明治二十四年度豫算案歳出經常部外務省所管ノ會議ニ於テ佐々田懋君ヨリ發言ヲ求メタルニ對シ議長(中島信行君)ハ「發議者ノ通告ノ順序モアリマスケレドモ佐々田君ハ即チ修正案ノ提出者デアリマスルニ依ッテ佐々田君ヲシテ此ノ演壇ニ登ラセマス」ト告ケ修正案ノ趣旨辯明ヲ爲サシメタリ

第四回議會 明治二十六年二月七日河野廣中君外三名提出上奏案ノ會議ニ於テ森本藤吉君ノ發言通告ハ第十番ナリシモ修正案提出者ナリシヲ以テ議長(星亨君)ハ「貴方ハ修正案ヲ出シテアリマスガ修正案ノ趣旨ヲ辯明スルノデスカ」ト問ヒ同君ノ「左様デス」ト答ヘタルニ依リ其ノ趣旨ヲ辯明セシメタリ

第二十五回議會 明治四十二年三月九日森本駿君外四名提出會計法中改正法律案ノ第二讀會ニ於テ議長(長谷場純孝君)ハ「小川平吉君——小川君ニチヨット御諮リヲ致シマスガ今鳩山君カ



ラ修正意見ガアリマスノデアナタノ御辯論前ニ鳩山君ノ修正意見ヲ許シタイト思ヒマスガ  
……ト問ヒ同君ハ「宜シウゴザイマス」ト答ヘタルニ依リ鳩山和夫君ヲシテ修正動議ノ趣旨  
ヲ辯明セシメタリ

豫算案若ハ重要議案ニ對シテハ各派ヨリ修正案提出セラルルヲ例トシ此ノ場合ニ於テハ發言通告  
ノ順序ニ拘ラス修正案ノ趣旨辯明ヲ許スヲ每會期ノ事例トス

參看 二八一號、三六八號、四〇七號、四〇八號

三二八 委員長報告若ハ少數意見ノ補足ハ發言通告ノ順序ニ拘ラス之ヲ  
述フルコトヲ得

第八回議會 明治二十八年三月二十二日喜多川孝經君外三名提出部長任用法案ニ關スル建議案ノ會  
議中「討論終結」ト呼フ者アリタルモ議長(楠本正隆君)ハ「マダ通告ガアル……」ト告ケ次テ「喜  
多川孝經君ノ委員長ノ意見ノ足ラザルヲ補ヒタリト云フ説ガ出テ居リマス喜多川君」ト指名シ  
委員長ヲシテ其ノ報告ヲ補足セシメシ後通告者ノ發言ヲ許シタリ  
第十回議會 明治三十年三月十二日政府提出國有土地森林原野下戻法案ノ第二讀會中議長(鳩山

和夫君)ハ更ニ少數意見ノ報告ヲ補足スル爲工藤行幹君ヲ指名シタルトキ中村彌六君ハ「通告ノ  
順序ニ御許シテ願ヒタイ」ト述ヘタルニ議長ハ「工藤君ハ其前ニ委員會少數者ノ意見ヲ説明スル  
ト言フカラ許サヌ譯ニ往クマイト思フソレカラ通告ノ順序ニ依ル積リデス」ト告ケ同君ニ其ノ  
辯明ヲ許シタリ  
第四十回議會 大正七年三月十六日村松恒一郎君提出物價調節ニ關スル建議案外二件ノ會議ニ於  
テ田中隆三君ハ森田茂君修正動議趣旨辯明ノ後更ニ同案委員長報告ノ補足ヲ爲シタリ  
參看 三六八號、三七八號、三七九號

三二九 發言通告ハ同一讀會中其ノ效ヲ失ハサルモ次ノ讀會ニ繼續セス  
討論ノ際發言通告ヲ爲シタル者發言ノ順序又ハ延會若ハ議事中止等ニ依リ發言スルコトヲ得サリ  
シ場合ニ於テハ其ノ議案ノ同一讀會中ハ通告ノ效ヲ失ハサルモノトス  
第三回議會 明治二十五年六月十日貴族院提出民法商法施行延期法律案ノ第二讀會ニ於テ議長  
(星亨君)ハ「是ヨリ通告ノ順ハ別ニ改メマシテ前ノ通告ニ依ツテ諸君ノ中デ種々御都合ニ  
ナッタラ宜カラウ」ト告ケタルモ次テ「先程前ノ通告ヲ用ユルト云フコトニ致シマシタガソレ



デハ一部延期ノ議論が出テ居リマスカラ其通告ヲ用フルト却テ行カヌト云フ考ヲ起シマシタ  
カラ是ハ取消シテ新ニ通告ヲ申込ダラ宜シイト宣告シ新ニ通告ヲ爲サシメタリ

參看 三二三號

### 第十一節 發言ノ制止及取消

三三〇 議長ハ議員ノ發言議題外ニ涉リ若ハ不穩ト認ムルトキハ之ヲ制  
止シ又ハ取消ヲ命ス

議長ハ議題外ノ發言若ハ不穩ノ言語ナリト認ムルトキハ之ヲ制止シ又ハ取消ヲ命シタルコト尠カ  
ラス而シテ發言許可ノ範圍外ニ互レルトキハ又之ヲ差止メタルコトアリ

(一) 議題外ニ涉リシトキ

第四十回議會 大正七年一月二十四日政府提出所得税法中改正法律案外十件ノ第一讀會ニ於テ  
吉植庄一郎君ノ發言中議長(大岡育造君)ハ同君ノ發言ニ對シ再三再四注意ヲ爲シ且議題外ニ涉

ル發言ヲ制止シタリ

(二) 不穩ノ言語ヲ用キタルトキ

第三十九回議會 大正六年七月十一日富田幸次郎君外七名提出決議案ノ會議ニ於テ早速整爾君  
其ノ趣旨辯明中議長(大岡育造君)ハ同君ニ對シ不穩ノ發言ノ取消ヲ命シ早速整爾君ハ其ノ取  
消ヲ爲シタリ

(三) 許可ノ範圍外ニ涉リシトキ

第四十回議會 大正七年三月二十日藤澤幾之輔君外四名提出衆議院議員選舉法中改正法律案外  
一件第一讀會ノ續會ニ於テ齋藤隆夫君ハ政府ニ對シ質疑ヲ爲シタルニ議長(大岡育造君)ハ同  
君ノ發言ハ質疑要求ノ範圍外ニ互ルヲ以テ之ヲ制止スル旨ヲ宣告シ同君ハ尙質疑ヲ繼續シタ  
ルニ議長ハ更ニ範圍外タルコトヲ闡明シテ發言ヲ制止シタリ

參看 三〇二號、六〇一號、六一二號

三三一 院議ヲ以テ不穩ノ言語ヲ取消サシメ又ハ速記録ヨリ之ヲ削除ス

第一回議會 明治二十四年一月十二日西毅一君提出豫算委員ノ査定案ニ對スル緊急勳議ノ會議中

第二編 會議 第二章 議事通則 第十一節 發言ノ制止及取消 (三三〇、三三一) 二百五十七

議第九七條  
議第九一  
議第九二條  
議第九〇條

議第九七條  
議第九二條  
議第九〇條  
議第八七條



南磯一郎君ノ發言ニ對シ犬養毅君ハ「私ガ取消ヲ希望スルノハ外デハナイ只今ノ議員ハ佛蘭西革命時代ノ事ヲ申シマシタ左様ナ不祥ナ言葉ヲ此帝國議會ニ於テ吐クハ議會ノ神聖ヲ瀆スモノデアル速ニ此言葉ヲ取消スコトヲ私ハ議場ニ訴ヘマス」トノ動議ヲ提出シ院議之ヲ可決シタリ

第四回議會 明治二十六年二月二十三日田中正造君ノ其ノ提出犯罪者搜索ニ關スル質問ノ趣旨辯明中引證セル文書ニ關シ議長(星亨君)ハ「諸君ニ御諮リ申スハ先程田中君ノ演說中ニ引證トシテ朗讀セラレタル所謂檄文ハ議院法ノ九十一條ト九十二條トニ幾分カ牴觸スルノ嫌ガアルヤウデアリマス或ハ皇室ニ對シ或ハ一身ノ身分ニ對スル嫌ガアリマスカラシテ速記録ニ記載シナイコトニシタラ宜カラウト考ヘルガ……」ト告ケタルニ田中正造君ハ「アノ文章ノ中デ皇室ニ對シテ不敬ニ涉ル文字ヲ削リ其他ハ殘シテ差支ナイト思フ」ト述ヘ議員中ニ異議ヲ唱フル者アリシヲ以テ文章ノ全部ヲ削除スルヤ否ヲ採決シタルニ多數ヲ以テ之ヲ削除スルニ決シタリ

第三十九回議會 大正六年七月三日横出千之助君ハ六月三十日決議案ノ會議ニ於テ尾崎行雄君ノ爲シタル演說中國務大臣ノ身上ニ關スル部分ノ取消ヲ要求スルノ動議ヲ提出シ之ニ對シ尾崎行雄君ハ辯明ノ後取消スヘキ理由ナシトテ之ヲ拒絕シタルモ院議本動議ヲ可決シタルヲ以テ尾崎君ハ登壇ノ上之カ取消ヲ爲シタリ

三三三二 速記録ニ掲載セラレタル不穩ノ言語ヲ正誤ス

第二十五回議會 明治四十二年二月二十五日阪本彌一郎君ハ速記録ニ掲載セル不穩ノ言語ニ關シ議長ニ質セルニ議長(長谷場純孝君)ハ「イヅレ此事ハ議長ニ於テ尙篤ト取調べテ置キマス」ト答ヘ越テ二十七日「一昨二十五日阪本彌一郎君ヨリ發議ノコトニ付テ取調ヲスルト云フコトヲ申シテ置キマシタガ其取調ノ結果ガ分リマシタカラ御報告致シマス本月二十三日本會議ニ於テ武藤金吉君ノ發言中佐々木君ハ少シ發狂ノ氣味ガアリマスカラトアル發狂ノ文字ニ付テ當時ノ速記原稿ヲ取調べタルニ二人ノ速記者中主任速記者ノ原稿ニハ發狂トアリ補助速記者ノ原稿ニハ病氣トアリ反文ノ際主任速記者ノ原稿ヲ採用シテ發狂ト記載セリ當時議場騷擾ノタメニ速記原稿モ一致セザリシモノト思ハルルガ故ニ孰レヲ正確ナリト判定スルニ苦シム然レドモ武藤金吉君ヨリ病氣ト發言セリト申出デラルル以上ハ是ヲ確實ト認ムルノ外ナシ仍テ次號ノ官報ニ於テ之ヲ正誤スルコトトスベシ此段申シテ置キマス」ト告ケ次號ニ之ヲ正誤セリ

三三三三 議員自ラ不穩ノ言語又ハ誤レル發言ヲ取消ス

第二回議會 明治二十四年十二月十四日伊藤大八君外三名提出集會政社法改正案ノ第二讀會ニ際



シ議長(中島信行君)ノ「末松君ノ提案ハ集會及結社法案トアリマス議場テ議スルノ政談及集會結社法ト云フノ違ヒマス一字デモ違ヘバ違ガツテ居ル」トノ宣告ニ對シ末松謙澄君ハ「唯今ノ御言葉ニハ私ハ服スルコトハ出來ナイムグリ代言ノ云フ様ナコトヲ以テ咎メラレルノハ」ト述ヘタルヲ議員中ヨリ懲罰委員ニ付スヘシ或ハ演壇ニ上テ謝辭ヲ述フヘシ等ノ發議アリシモ別ニ採決セス同日再會議ノ始ニ於テ末松謙澄君ハ「一寸一言致シマスガ先刻段々述ベマシタ其中ニ少少言葉ガ過ギタト思フ様ナコトガアリマシタカラムグリ代言ノ取消サウト思ヒマスカラ」ト述ヘ之ヲ取消シタリ

第四十回議會 大正七年一月二十四日戰時船舶管理令(承諾ヲ求ムル件)ノ會議ニ於テ正木照藏君ノ質疑中報知新聞ノ記事ヲ引用シタルトキ、廣岡宇一郎君ヨリ正木君ノ質問ハ報知新聞ノ記事ヲ根據トシタルモ該記事ハ既ニ取消濟ナリ、新聞社自身取消ヲ爲シタルニ拘ラス尙之ヲ根據トシ質疑ノ主旨ヲ貫カントスルカヲ質シタルニ正木君ハ遂ニ其ノ發言ノ一部ヲ取消シタリ

第四十二回議會 大正九年二月十三日大正九年度豫算案、(第一號)臨時軍事費豫算追加案前會ノ續ニ於テ討論ニ入ルヤ三土忠造君ノ演說中不穩ノ語アリ小橋藻三衛君ハ同君ニ對シ其ノ發言ノ取消ヲ要求シ三土忠造君ハ之カ釋明ヲ爲シタルモ三木武吉君ハ其ノ辯明ニ服セス更ニ緊急動議ヲ提出シ「三土君不穩ノ發言ニ付之カ取消ナクムバ此際同君ノ演說ヲ中止シ速記録ニ付其ノ事實

ヲ調査スヘシ」ト述ヘ議長ハ之カ採決ノ結果少數ヲ宣告シタルモ三木武吉君ハ重テ同一ノ意見ヲ述ヘタルニ三土君ハ「煽動政治家ト云フ言葉ハ——用キタコトハ覺エテ居リマス、其ノ言葉ソレ自身ガ他ニ差支ナク言ッタ積リデアリマスガ、ソレヲ諸君ガソウ解釋シテ居リマスレバ、洵ニ諸君ニ對シテ失禮デアリマスカラ取消シマス」ト述ヘタリ

第二十回(臨時)議會 (明治三十七年三月二十六日)第二十三回議會(明治四十年三月九日、十九日)、第二十五回議會(明治四十二年三月九日、二十日)、第二十七回議會(明治四十四年二月九日)第二十八回議會(明治四十五年三月二十日)、第三十一回議會(大正三年二月十七日、三月五日)ニ同一ノ事例アリ

參看 六五四號

三三四 無禮ノ言語若ハ議院外ノ發言ニ對シテハ議長答辯ヲ爲サス

(一) 無禮ノ言語ヲ發シタルモノ  
第三十一回議會 大正三年二月十二日大正三年度豫算案ノ會議ニ於テ議長(大岡育造君)ハ尾崎行雄君ニ發言ヲ許可セルニ尾崎君ハ「……議長ハ議場ヲ整理スルノ能力アリヤ否ヤ……」ト問



ヒ議長ハ「議長ハ無禮ナル言ニ對シテハ返答スル責任ヲ持チマセヌ」ト告ケ屢々同君ニ登壇ヲ促シ後尾崎行雄君ノ無禮ナル質問ニ對シテハ答ヘル必要ガアリマセヌ」ト告ケ他ノ發言通告者ニ發言ヲ許可セルモ孰レモ發言スルニ至ラス終ニ尾崎君ハ登壇發言ヲ爲セリ

(二) 議院外ニ於テ發言シタルモノ

第三十六回議會 大正四年五月二十二日會議ニ先チ佐々木安五郎君ハ「帝國ホテルノ或ル招待會ニ於テ議長トシテ臨席ヲセラレ吾々國民黨ノ提出セントスルノ議案ニ向テノ批評ガアツタ議長トシテハ斯ノ如キ所ニ於テ戰ヲ挑ムベキトコロノ言語ヲ用フベキデハアルマイト思フ」トノ質疑ニ對シ議長(島田三郎君)ハ「此席ニ於テハ議院以外ノ事ニハ何事モ御答ヲ致シマセヌ」ト告ケタリ

第十二節 參考文書ノ朗讀

三三五 文書ハ引證若ハ報告ノ外之ヲ朗讀スルコトヲ得ス

會議ニ於テ自己ノ意見書又ハ理由書ヲ朗讀スルヲ得サルハ衆議院規則ノ示ス所ナリ然レトモ演說ノ引證若ハ參考ノ爲又ハ或ル事項ヲ報告スル爲文書ヲ朗讀スルコトヲ妨ケス而シテ其ノ朗讀ハ議

員自ラ之ヲ爲スヲ例トスルモ書記官長若ハ書記官ヲシテ之ヲ爲サシメタルコトアリ

(一) 引證ノ爲朗讀シタル例

第一回議會 明治二十四年一月二十九日明治二十四年度豫算案全院委員會ニ於テ武富時敏君ハ質疑ニ關スル辯明中引證ノ爲他ノ文書ヲ朗讀シタリ

第八回議會 明治二十八年一月二十六日明治二十六年年度豫備金支出ノ件ノ會議ニ於テ吉本榮君ノ本件ハ前議會ニテ既ニ議決シタルモノニアラスヤトノ問ニ對シ議長(楠本正隆君)ハ「此案ハ委員ニ付託ヲシテ調査中ニ解散ニナリマシタ」ト告ケ次テ「御疑團ガアレバ速記録ヲ調べマス……議事録ヲ朗讀シマス」ト告ケ水野書記官長ヲシテ議事録ヲ朗讀セシメタリ

第十回議會 明治三十年二月二十六日政府提出新聞紙條例中改正法律案第一讀會ノ續會ノトキ工藤行幹君ハ本案賛成ノ演說中便宜ノ爲書記官或ハ其ノ他ノ者ニ本案ニ關スル參考書ヲ朗讀セシメタキ旨ヲ請求シタルニ議長(鳩山和夫君)ハ院議ニ諮ヒ書記官ヲシテ參考書ヲ朗讀セシメタリ

第四十二回議會 大正九年一月二十四日國務大臣ノ演說ニ對スル質疑ニ對シ高橋大藏大臣ノ答辯中「サー、チャールズ、ウキード」氏ノ物價問題ニ關スル說ヲ援用朗讀シタルニ議場騒然タリ依テ議長(大岡育造君)ハ「參考ノ爲メニ朗讀スルノハ議院法デ許サレテ居ル、モウ少シ靜ニ御



聴キナサイ」ト注意シタリ

(二) 報告ノ爲朗讀シタル例

第八回議會 明治二十八年二月四日及四月六日政府委員林外務次官ハ清國講和使接見ニ關スル帝國全權辦理大臣ノ報告書ヲ朗讀シタリ

第十六回議會 明治三十五年二月十二日小村外務大臣ハ帝國政府ト英國政府トノ間ニ成立シタル協約ノ顛末報告ノ演說中其ノ協約全文ヲ朗讀シタリ

第二十回(臨時)議會 明治三十七年二月二十九日山本海軍大臣ハ第二回旅順口閉塞事業ニ關スル聯合艦隊司令長官ヨリノ報告書ヲ朗讀シタリ

然ルニ第四回議會ニ於テ意見書ナルニ拘ラス之ヲ他人ノ文書トシテ朗讀ヲ許可シタルコトアリ

第四回議會 明治二十五年十二月一日内閣總理大臣臨時代理井上内務大臣ハ伊藤内閣總理大臣ノ施政ノ方針ニ關スル筆記ヲ朗讀シタルトキ議長(星亨君)ハ高須峰造君ノ問ニ對シ「議院ノ意見ヲ御話致シマス議長ハ衆議院規則ノ百十二條ハ意見書又ハ理由書ヲ朗讀スルコトハ出來ナイ或ハ之ヲ政府委員トカ大臣等ニ用ユベキモノデアルカナイカト云フ様ナコトハ決スルノ必要ガナイ此百十二條ハ意見書ト理由書ヲ朗讀スルコトハ出來ナイト云フノハ其人ノ意見書理由書ヲ朗讀スルコトガ出來ナイト云フコトデアツテ決シテ他人ニ係ル今日ノ如キ伊藤總

理大臣ガ不慮ノ負傷ヲサレタ如キ有様ニ於テ其人ノ言フコトヲ此處ニ朗讀ハ出來ナイト云フ意味トハ議長ニ於テハ解釋致シマセヌソレデ今内務大臣井上君ガ總理大臣ノ意見ヲ朗讀スルコトニ於テハ此條ノ關係スル處デナイト議長ハ考ヘマスレト告ケタリ

三三六 參考文書ハ朗讀ヲ省略シ議長ノ許可ヲ得テ之ヲ速記録ニ掲載スルコトヲ得

議案又ハ質問ノ提出者其ノ趣旨ヲ辯明スルニ際シ若ハ委員長其ノ報告ニ當リ參考文書ノ朗讀ヲ省略シテ之ヲ速記録ニ掲載セムコトヲ請求スルトキハ議長ハ其ノ請求ヲ容レ之ヲ速記録ニ掲載スルヲ例トス然レトモ院議ニ依リ又ハ議長不必要ト認メ之ヲ許サザリシコトアリ

第三十七回議會 大正四年十一月十四日廣岡宇一郎君ハ大浦氏不起訴ニ關スル再質問ノ趣旨辯明ノ際參考書トシテ瀆職事件ニ關スル訴訟記録ノ朗讀ヲ省略シ速記録ニ掲載セムコトヲ求めタリ超エテ同月十七日議長(島田三郎君)ハ「是七百頁ノ大冊デアリマス印刷能力其他ノ關係ヨリ實行極メテ至難且斯ノ如キ浩漭ナル書冊ヲ掲載セラル、コトハ將來ノ例トモナリマスカラ議場ニ諮ツテ其要求ノ採否ヲ決シタイ」ト諮ヒ、武内作平君ハ參考書ハ演說其ノモノニ直接關係アル書類ナラサルヘカラス然ルニ本書ハ其大部分ハ直接ニ關係ナキノミナラス不必要ナ



モノヲ掲載スルハ惡例ヲ貽スモノナリ又演說當日議長之ヲ拒否セザリシハ即チ之ヲ承認シタルモノナリト云フモ斯ル大部ノモノヲ掲載スヘキヤ否ヤヲ直ニ判斷セラル、ハ困難ナルヲ以テ調査ノ上其ノ可否ヲ決スヘキモノナリト反對シ討議ノ末院議之ヲ掲載スヘカラスト決シタリ

同月十五日佐々木安五郎君ハ乃木問題ニ關スル質問ノ趣旨辯明ノ參考トシテ發賣ヲ禁止セラレタル大正四年十月一日及同月十五日發行ノ雜誌「日本及日本人」中ノ記事ヲ速記録ニ掲載セムコトヲ求メ超エテ翌年一月二十六日議長島田三郎君ハ其ノ許否ヲ院議ニ諮ヒタルトキ政府ヨリ祕密會ノ要求アリ議長ハ祕密會議ノ結果速記録ニ掲載スヘカラスト決シタル旨報告シタリ

第四十回議會 大正七年三月五日田中善立君ハ國民思想ニ關スル質問ノ趣旨辯明ノ際同年二月十一日發行ノ雜誌「日本及日本人」中ノ記事ノ一部ヲ參考トシテ掲載セムコトヲ要求シタルニ掲載セラレサルヲ以テ同月二十三日同君ヨリ右ハ發賣ヲ公許セラレ居ルモノニシテ風教上國民思想上質サントセラル、モノナルニ之ヲ掲載セサルハ如何ナル理由ニ基キヤヲ問ヒ副議長(濱田國松君)ハ「演說材料タル新聞雜誌類ニシテ朗讀セラレサリシモノヲ速記録ニ掲載スルコトニ付テハ議長ニ於テ許可スルモノニ限り之ヲ掲載シ來ツタ例ニナツテ居ル而シテ唯今

御申出ノ分ハ議長ニ於テ掲載スルコト宜シカラサルモノト認メテ許可セナカツタノデアリマス此議長ノ許否カ正當デアルカ不當デアルカハ議論ニ屬スルモノデアリマシテ此席デ申上ゲル必要ハナイト思フ……」ト答ヘタリ

### 三三七 參考文書ニシテ發賣頒布ヲ禁セラレタルモノハ速記録ニ掲載ヲ許サス

第三十七回議會 大正四年十二月十五日佐々木安五郎君ハ同君提出乃木問題ニ關スル質問ノ趣旨辯明ニ際シ引用セシ雜誌「日本及日本人」ノ乃木將軍ニ關係スル論文ヲ參考トシテ速記録ニ掲載方ヲ請求セシニ對シ議長(島田三郎君)ハ大正五年一月二十五日ノ會議ニ於テ「豫テ懸案トナツテ居リマシタ佐々木安五郎君ヨリ請求ニカカル質問ノ參考書トシテ發賣頒布ヲ禁セラレタル「日本及日本人」ヲ速記録ニ掲載スルヤ否ヤノ件ヲ議題ト致シマス」ト告ケ其ノ許否ヲ院議ニ諮ヒタルトキ政府ヨリ祕密會ノ要求アリ議長ハ祕密會ノ結果ヲ報告シ速記録ニ掲載スヘカラスト決シタル旨ヲ宣告シタリ

### 三三八 參考文書ニシテ浩漉ノモノハ速記録ニ掲載ヲ許サス



第三十七回議會 大正四年十二月十四日廣岡宇一郎君ハ同君提出大浦氏不起訴事件ニ關スル質問  
ノ趣旨辯明ニ際シ引用セシ參考文書(豫審調書ノ抄録約七百頁)ヲ速記録ニ掲載方ヲ要求セシニ  
關シ十二月十六日ノ會議ニ於テ議長(島田三郎君)ハ之ヲ院議ニ諮ヒ速記録ニ掲載セサルコトニ  
決セリ

參看 六三七號

### 第十三節 委員付託

#### 三三九 開院式勅語奉答文案ハ委員ヲ設ケテ起草セシム

開院式 勅語ニ對スル奉答文案ハ議長ニ於テ起草シ之ヲ院議ニ諮フヲ例トシタリシカ第十九回議  
會(明治三十六年十二月十日)ニ於テハ 勅語奉答文案議決ノ翌日議會解散セラレ奉答文案呈ニ至  
ラサリシ爲第二十回(臨時)議會明治三十七年三月二十日 勅語奉答文案ノ會議ニ際シ議長(松田正  
久君)ハ「奉答文案ノ議案ハ例ニ依テ議長ニ於テ認メマシタガ併シ今回ハ別段ノコトデアリマスカラ

願クハ委員ヲ設ケマシテ其委員ニ於テ審査ヲ致シテ其報告ヲ待テ議決ヲスルコトニ致シタナラバ  
宜カラウト考ヘマス先以テ議長ニ於テ認メマシタ草案ヲ朗讀致シマス」ト告ケ之ヲ朗讀シ委員ヲ  
設クルニ異議ナキヤヲ諮ヒタルニ元田肇君ハ「特ニ此ノ場合ノミニ付テ委員ヲ設ケルノ趣旨デゴ  
ザリマセウカ將來ニモ奉答文案ニ關シテハ鄭重ニ委員ヲ設ケラル、ト云フ趣旨デゴザリマセウカ  
：本員ノ如キハ願クハ之ヲ以テ例ト致シテ毎開會ノ時ニ委員ヲ設ケラレタイト云フ希望ヲ持ッテ  
居リマス」ト問ヒ議長ハ「議長ニ於テモ勿論其考デゴザリマス成ルベク鄭重ナ式ニシタイ考デゴザ  
リマス」ト答ヘ第二十一回議會ヨリハ委員ヲ設ケテ起草セシムルノ例トナレリ

#### 三四〇 政府ヨリ委員ノ審査省略ノ要求アルトキハ概ネ之ニ同意ス

政府ヨリ委員ノ審査省略ノ要求アルトキハ議長ハ其ノ要求ヲ容ルルヤ否ヲ院議ニ諮ヒタルモ第十  
二回議會ヨリ此ノ要求アルトキハ議事日程ニ委員選舉ノ件ヲ表示セサルコトナリシヲ以テ議員  
ノ動議出テサルトキハ當然審査ヲ省略スルコトナレリ今同意不同意ノ場合ヲ舉クレハ左ノ如シ

##### 一 審査ノ省略ニ同意シタル例

- 第一回議會 商法施行期限法律案、海軍省所管軍艦及水雷艇並兵器製造費繰越ニ關スル法律案
- 第四回議會 銀行條例及貯蓄銀行條例施行延期法律案、取引所稅法案



第六回議會 越中國伏木後志國小樽兩港ニ於テ露領沿海州薩哈噠島及朝鮮國貿易ニ關スル船舶  
出入及貨物積卸許可法律案

第八回議會 補充兵役國民兵役ニ在ル者及國民軍編入志願者ニ關スル法律案

第九回議會 會計検査院法律案、會計検査官退官ニ關スル法律案、會計検査院支廳ヲ設置スルノ  
法律案

第十回議會 屯田兵土地給與規則中改正法律案、明治二十八年法律第二十六號改正法律案

第二十九回(臨時)議會 明治四十五  
大正元年度歳入歳出總豫算追加案(以上書面)

第七回(臨時)議會 明治二十七年勅令第四百四十四號(承諾ヲ求ムル件)

第九回議會 (子)明治二十九年年度歳入歳出總豫算追加案(以上口頭)

(二) 審査ノ省略ニ同意セサル例

第四回議會 明治二十六年二月十六日鐵道敷設法中改正法律案ノ第一讀會ニ於テ鈴木萬次郎君  
ハ「此議院法ノ二十八條ノ但書ニ據リマシテ政府ノ得テ居ル所ノ權利ニ依ッテ即決ヲ求メラ  
レタノデアリマスケレドモ之ニ同意スルトシナイトハ本院ノ權利ニアリマスカラ本員ハ茲ニ  
十八名ノ委員ヲ選舉致シマシテ之ニ熟考審査セシメンコトヲ望ム」トノ動議ヲ提出シタルニ  
議長(星亨君)ハ「今ノ貴方ノ議院法ノ但書ト云フモノハ——理由ハ衆議院ニ於テドチラニデ

モ決スルコトガ出來ルト云フノ致スノデスカ或ハ緊急ト認メナイカラト云フ方デアルカ又  
ハ但書ニ於テハ政府ノ要求ガアッタ所ガ議院ハ勝手ニ極メル權ガ有ルト云フノデアアルカドッテ  
デスカ」ト問ヒ鈴木君ハ「要求ハ政府ノ權利ニ依テ要求セラレルケレドモ之ヲ決スルノ委員ヲ  
置ク置カナイトハ衆議院ノ權利デアリマスカラ本員ハサウ考ヘテ居リマス必ス政府カラ此要  
求ガアッタカラ斯ウセネバナラヌト云フコトデハナイ」ト答ヘ院議此ノ動議ヲ可決シタリ次  
テ鐵道比較線路決定ニ關スル法律案ノ第一讀會ニ於テ神鞭知常君ハ「是モ同性質ノモノデゴ  
ザリマスカラ前ノ委員ニ付託セラルルコトヲ希望致シマス」トノ動議ヲ提出シ院議之ヲ可決  
シタリ

第六回議會 鐵道比較線路決定ニ關スル法律案(甲)(乙)(丙)(丁)(戊)(己)豫定鐵道線路中私設  
鐵道會社ニ敷設許可ノ件ニ關スル法律案(甲)(乙)(丙)鐵道敷設法中改正法律案、實業教育費  
國庫補助法案

第九回議會 臺灣ニ施行スヘキ法令ニ關スル法律案(以上書面)

右ハ孰レモ議員ノ動議ニ依リ之ヲ委員ニ付託シタリ

參看 四六九號



三四一 委員付託中ノ議案ニ對シ政府ヨリ委員ノ審査省略ノ要求アリタルトキ議院ハ其ノ審査ニ期限ヲ付シタリ

第二十三回議會 明治四十年三月二十一日委員審査中ノ公共團體課税ノ制限ニ關スル法律案(同月十八日付託)ニ對シ政府ヨリ議院法第二十八條但書ノ要求アリタルトキ長谷場純孝君ハ「此案ハ既ニ特別委員會ニ付シテアルノデゴザイマスカラ今日委員會ヲ開キ速ニ審査ヲ遂ゲラレテ明後日ノ本會議ニ付シテ決議スルヤウニ致シタイ」トノ動議ヲ提出シ委員長荒川五郎君ハ其ノ期限ニ關シ異議ヲ唱ヘタルニ長谷場君ハ「ソレデ彼是サウ云フ議論ガ起リマス、規則ニ依ツテ其ノ要求ヲ容レテ即決シテモ差支ハナイガ、サウ云フコトヲシナイデ穩ニシタイ、折角委員ニ付シテアルモノデアアルカラ、今日委員會ヲ御開キニナツテ明後日ノ議事日程ニ御上セニナル方ガ穩當デアルト私ハ考ヘル」ト述ヘ院議異議ナク此ノ動議ヲ採用シタリ

三四二 政府ヨリ單ニ緊急事件トシテ議決ヲ要求シタル議案ハ概ネ委員ニ付託ス

第一回議會以外政府ヨリ議院法第二十七條但書及第二十八條但書ニ依ラス單ニ緊急議決ヲ求メタ

ルモノ三十九件内十八件ハ委員ノ審査中ニ緊急若ハ至急議決ヲ求メタルニ依リ之ヲ除キ他ノ二十一件中明治二十九年度歳入歳出總豫算追加案(國葬費(第十回議會)及生絲直輸出獎勵法廢止法律案(第十二回議會)ニ對シ議院ノ決議ニ依リ委員ノ審査ヲ省略シタル外他ハ總テ之ヲ委員ニ付託シタリ

參看 二一八號、二一九號、四五五號

三四三 議員提出案ハ概ネ委員ニ付託ス

政府及貴族院提出案ハ委員ニ付託シテ審査セシムルヲ原則トシ議員提出法律案ハ別段ノ規定ナキヲ以テ委員ニ付託シテ審査セシムルヲ要セサルモノナルモ每會期法律案ハ勿論建議案ト雖概ネ委員ニ付託シテ審査セシムルヲ例トス

參看 四〇〇號、四〇一號

三四四 議案ヲ委員ニ付託スルハ其ノ趣旨辯明ノ後ナルヲ例トス



豫算案決算及貴族院提出ノ議案ヲ除キ其ノ他ノ議案ニ付テハ提出者ヨリ先ツ其ノ趣旨ヲ辯明シ然ル後委員ニ付託セラルルヲ例トス然レトモ簡單ナル議案ニ在リテハ其ノ辯明ナクシテ直ニ委員ニ付託シ又重要ノ議案議了後委員ニ付託セラルヘキ議案數多アルトキ若ハ定刻ニ迫レルトキ會期切迫等ノ場合ニハ議決ヲ以テ其ノ辯明ヲ省略シ委員ニ付託シタルコトナシトセス

參看 二八七號、二九二號

三四五 委員付託ノ動議提出セラルルトキハ先決問題トシテ直ニ議題ト爲ス

委員付託ノ動議提出セラルルトキハ先決問題トシテ直ニ之ヲ議題トナシ又ハ動議成立後通告者ニ發言ヲ許シ若ハ修正案ノ趣旨辯明ヲ爲サシムル等其ノ例區々ナリシモ第八回議會以來ハ通告者ノ發言前ナルト討論中ナルトヲ問ハス先決問題トシテ直ニ之ヲ採決スルノ例トナレリ

第八回議會 明治二十八年一月十四日木村實太郎君外一名提出地租條例第二十條改正法律案ノ第一讀會ニ於テ提出者ノ趣旨辯明ニ次テ委員付託ノ動議起リタルモ議長(楠本正隆君)ハ通告者ニ發言ヲ許サムトシタルニ先決問題ト呼フ者アリシヲ以テ議長ハ「委員說ガ出テ通告」ア

トニスルト云フコトハ自然ノ慣例デアリマスガ實ハ德義上ニ取捨ヲシテ往カナケレバナラヌト思ヒマスガ既ニ唯今ノ御議論ガアル以上ハ已ムコトヲ得ズ委員說ニ付テ決ヲ採リマスルト告ケ委員付託ノ動議ヲ採決セリ

第三十七回議會 大正四年十二月十六日根本正君提出未成年者飲酒禁止法案ノ第一讀會ニ於テ提出者ノ趣旨辯明ニ次テ討論ニ移リ二名ノ反對論ヲ終リタル際委員付託ノ動議起リ議長(島田三郎君)ハ委員付託ノ動議ヲ採決セリ

參看 三九六號、四〇〇號、四〇一號

三四六 委員付託ノ動議ハ討論終局前ニ之ヲ提出スルヲ要ス

討論終局スルトキハ其ノ案ニ付最早議決ヲ爲スノ外ナキヲ以テ委員付託ノ動議ハ討論終局前ナラサルヘカラス

第三回議會 明治二十五年五月二十四日佐々木正藏君提出衆議院規則追加ノ件ノ會議中討論終局後委員付託ノ動議起リ之ニ贊成者アリ議論ヲ生シタル後議長(星亨君)ハ「決ヲ採リマス殊更討論終局ノ後ニ尙委員ノ說ヲ出シ得ルヤ否ヤ斯ウ云フコトノ決ヲ採リマス」ト告ケ之ヲ採

第二編 會議 第二章 議事通則 第十三節 委員付託 (三四五、三四六)



決シタルニ少數ニテ否決シタリ

第四回議會 明治二十五年十二月十七日大岡育造君外三名提出俸給稅法案ノ第一讀會中討論終局後委員付託ノ動議起リ贊成者アリタルトキ議長(星亨君)ハ「討論終結ノ後ニ於テ委員ヲ設ケル說ハ採ラナイコトニナツテ居ル然ルニ諸君ガ今迄ノ例ト違ッテ採ルト云フナラバ採ルサウデナケレバ今迄ノ習慣通ニスル」ト告ケタリ

參看 三九八號

三四七 請願委員長提出ノ法律案ハ委員ニ付託セサルヲ例トス

法律ノ制定ニ關スル請願取扱規則ニ基キ請願委員長ヨリ提出シタル法律案ハ第二十三回議會以來十九件ニシテ概ネ委員ニ付託セス直ニ議決セルモ尙委員ニ付託シタルモノ左ノ如シ  
第二十三回議會 明治四十年三月十六日裁判所管轄區域變更ニ關スル法律案  
第三十一回議會 大正三年三月十二日奈古浦丸ノ所有者救恤ニ關スル法律案  
第三十七回議會 大正五年二月十六日元屯田歩兵扶助ニ關スル法律案  
同 同年同月十九日高等試驗法案、裁判所構成法中改正法律案

同 同年同月二十四日司法代書人法案

三四八 決議案ハ特別委員ニ付託セサルヲ例トス

決議案ハ動議ナルヲ以テ委員ニ付託スルコトナク直ニ採決スルヲ例トス然レトモ之ヲ特別委員ニ付託シテ審査シタルコトアリ

第三十六回議會 大正四年六月七日原敬君外八名提出決議案(大浦内務大臣ノ處決ヲ望ム件)元田肇君提案趣旨辯明後荒川五郎君ハ「本案ハ事重大デアリマスカラ、議長指名十八名ノ委員ニ付託シテ審査スルコトニ致シタイ、其ノ委員ハ議長ニ於テ直ニ指名セラレ、委員ハ引續キ委員會ヲ開キ、速ニ審査ノ結果ヲ本會ニ報告アラントラ望ム」トノ動議ヲ提出シ院議之ヲ可決シ議長ハ直ニ委員ヲ指名シ委員ハ同日本案ヲ否決シタル旨ヲ報告シタリ

三四九 委員會ノ審査ニ期限ヲ附スルハ付託ノ際ナルヲ要セス

議院ハ期限ヲ定メ委員會ヲシテ議案審査ノ報告ヲ爲サシムルコトヲ得ルハ衆議院規則ノ規定スルトコロナリ而シテ其ノ期限ヲ附スルノ時期ハ委員付託ノ際ナルヲ常トスルモ委員會ノ審査遲滯セシルカ或ハ急ヲ要スル場合ニハ付託後ニ之ヲ附シタルコトナシトセス

第二編 會議 第二章 議院規則 第十三節 委員付託 (三四七、三四八、三四九)



參看 三四一號、六二一號

衆第五五條

三五〇 委員會ノ審査期限ヲ猶豫ス

第九回議會 明治二十九年二月二十八日政府提出移民保護法案ヲ委員ニ付託スルニ當リ一週間ヲ期シ其ノ審査ノ報告ヲ爲サシムルコトトナリシモ三月六日議長(楠本正隆君)ハ委員長ヨリ審査上種々ノ困難ヲ生シタル故ヲ以テ審査期限猶豫ノ請求アリタル旨ヲ告ケ院議異議ナク之ヲ許可シタリ而シテ委員會ハ同月十一日ヲ以テ報告書ヲ議長ニ提出シタリ

議第二八條  
衆第一三三條

三五一 豫算案ハ議事ニ付スルノ前之ヲ委員ニ付託ス

政府ノ要求アルトキハ委員ニ付託セサルコトヲ得

議案ハ先ツ院議ニ付シタル後委員ニ付託スルヲ例トスルモ豫算案ハ常任委員アルニ依リ其ノ提出アルトキハ直ニ之ヲ委員ニ付託スルヲ例トス

然ルニ政府ヨリ議院法第二十八條但書ニ依リ又ハ單ニ緊急事件トシテ議定セムコトヲ要求シタル左ノ豫算追加案ニ對シテハ議院ハ其ノ要求ヲ容レ委員ニ付託セス直ニ之ヲ議事ニ付シタリ

第一回議會 明治二十四年二月二十四日明治二十四年度歳入歳出總豫算追加案

第九回議會 明治二十九年三月二十六日(子)明治二十九年年度歳入歳出總豫算追加案(緊急事件)

第十回議會 明治二十九年十二月二十六日明治二十九年年度歳入歳出總豫算追加案(緊急事件)

第二十九回(臨時)議會 大正元年八月二十四日<sup>明治四十五年</sup>大正元年度歳入歳出總豫算追加案(緊急事件)

第三十二回(臨時)議會 大正三年五月六日大正三年度歳入歳出總豫算追加案(緊急事件)

參看 四八三號、四八六號

三五二 決算ハ議事ニ付スルノ前之ヲ委員ニ付託ス

決算ハ常任委員アルニ依リ其ノ提出アルトキハ直ニ之ヲ委員ニ付託シ其ノ報告ヲ竣テ議事ニ付ス

三五三 審査又ハ議決未了ノ決算ハ後ノ會期ニ於テ之ヲ委員ニ付託ス

決算ハ第六回議會ニ於テ明治三十四年度決算ノ提出アリシヲ始トシ而シテ一タヒ提出セラレシ決算ハ其ノ會期中院議ニ付スルニ至ラサリシ場合ト雖次ノ議會ニ再ヒ提出セララルコトナシ其ノ審査ニ關シテハ第十三回議會(明治三十二年二月十八日)ニ於テ安川繁成君外三名ヨリ決算審査ニ關

第二編 會議 第二章 議事通則 第十三節 委員付託 (三五〇—三五三)



スル決議案(本院ニ於テ解散其ノ他ノ事故ニ依リ歳入歳出決算ノ審査ヲ終了スル能ハサリシトキハ其ノ年度ノ如何ニ拘ラス其ノ未了ニ係ル決算ヲ審査スヘキモノトス)ヲ提出シ院議之ヲ可決シ爾來議院ハ前期ニ於テ審査又ハ議決未了ノ決算アルトキハ後ノ會期ニ於テ之ヲ委員ニ付託シ審査セシムルコトナレリ。

(一) 審査未了ノ場合

第六回議會ニ於テ審査未了ノ明治二十四年度歳入歳出總決算及明治二十四年度各特別會計歳入歳出決算ヲ第十五回議會ニ於テ審査シ是認シタリ

第十二回議會ニ於テ審査未了ノ明治二十八年度歳入歳出總決算、明治二十八年度各特別會計歳入歳出決算及臨時軍事費特別會計歳入歳出決算ヲ第十四回議會ニ於テ審査シ是認シタリ

第十七回議會ニ於テ審査未了ノ明治三十三年度歳入歳出總決算及明治三十三年度各特別會計歳入歳出決算ヲ第十八回議會ニ於テ審査シ是認シタリ

第三十五回議會ニ於テ審査未了ノ<sup>明治四十五</sup>年度歳入歳出總決算及<sup>明治四十五</sup>年度各特別會計歳入歳出決算ヲ第三十六回議會ニ於テ審査シ是認シタリ

第三十一回議會ニ於テ議決未了ノ明治四十四年度歳入歳出總決算及明治四十四年度各特別會計

歳入歳出決算ヲ第三十六回議會ニ於テ審査シ是認シタリ

第三十九回議會ニ於テ議決未了ノ大正三年度歳入歳出總決算及大正三年度各特別會計歳入歳出決算ヲ第四十回議會ニ於テ審査シ是認シタリ

議決未了ノ場合

歳入歳出決算ヲ第三十六回議會ニ於テ審査シ是認シタリ

第三十九回議會ニ於テ議決未了ノ大正三年度歳入歳出總決算及大正三年度各特別會計歳入歳出

決算ヲ第四十回議會ニ於テ審査シ是認シタリ

参看 一七二號、五〇一號、五〇二號

三五四 豫備金支出又ハ豫備金外支出ニ關スル件ハ特別委員ニ付託ス

第四回議會 明治二十六年二月二十日明治二十四年度豫備金支出ノ件外三件ヲ先例(第二回議會

ニ一件第二回議會ニ二件孰レモ委員ニ付託ス)ニ依リ特別委員ニ付託シタリ然ルニ翌二十一日ヲ以テ委員長石田貫之助君ハ左ノ如ク議長ニ報告シタリ

本委員會ニ於テ明治二十四年度豫備金支出ノ件外三件審査ヲ爲スニ先チ本件ハ特別委員ニ付スヘキモノナルヤ否ヤニ付審査ヲ遂ケタル後本件ハ豫算委員會ニ付スヘキモノト決議致候間本件ヲ返付シ此段及御報告候也

依テ同月二十二日右ノ報告ヲ院議ニ付シタルニ橋本久太郎君ハ「二十四年度豫備金支出外三件ハ特別委員ニ於テ審査スヘキモノトス」トノ動議ヲ提出シ院議之ヲ可決シタリ



爾來特別委員ニ付託スルヲ例トス

三五五 議題ニ上ラサル議案ニ對シ豫メ委員ニ付託ノ動議ヲ提出スルコトヲ得

第九回議會 明治二十九年一月十一日政府提出酒造稅法案ノ委員選舉ニ際シ工藤行幹君ハ「本案以下議事日程第十二(政府提出營業稅法案外四件)マデニ掲載シタル議案ノ審査ハ凡テ同一ノ委員ニ付託スベシ」トノ動議ヲ提出シ院議之ヲ可決シタリ 同二十九年三月二日政府提出開港外ニ於テ外國貿易ノ爲メ船舶出入及貨物輸出入ノ件ニ關スル法律案ノ委員選舉ニ際シ吉本榮吉君ハ「議長ノ指名ニシテ而シテ此委員ガ成立タバ日程第十二(小畑岩次郎君外八名提出福井縣越前國敦賀港外七港ニ於テ東洋貿易ニ關スル船舶ノ出入許可法律案)第十三(須藤時一郎君外五名提出開港法案)モ同一ノ委員ニ付託スルコトニ致シタイ」トノ動議ヲ提出シ之ニ贊成アリタルトキ議長ハ「議長指名ノ委員ニ付託スルト云フ意見ガゴザイマスガ第十二及十三ハ政府案ノ如ク當然委員ニ付託ナルベキモノデハアリマセヌカラ或ハ其結果ドウナルカ分リマセヌガ若シ委員ニ付託サレルヤウニナリマシタナラバ即チ吉本君ノ動議ノ通決スルト御承知ヲ請ヒマス」ト告ケ遂次兩案ノ第一讀會ヲ開キ吉本榮吉君ノ委員付託ノ動議ヲ採決シタリ

參看 二九二號

三五六 委員付託中ノ議案ト同種又ハ牽聯セル議案ハ議事日程ニ掲載シタルト否トヲ問ハス之ヲ同一委員ニ併セ付託スルコトヲ得

委員ニ付託シタル事件ニ同種牽聯セル他ノ事件ヲ併セテ之ニ付託スルコトヲ得ルハ衆議院規則ノ定ムルトコロナリ而シテ從前ハ議事日程ニ掲ケタル上之ヲ付託シ又ハ議事日程ニ掲ケス直ニ之ヲ付託シ或ハ又單ニ議案ノ提出ノミニシテ未タ印刷配付ニ至ラサルモノヲ付託シタル等其ノ例區々ナリシモ第十回議會以來議案ニシテ印刷配付ヲ了リタルモノハ總テ之ヲ議事日程ニ掲載スルコトトナリタルヲ以テ其ノ議案ノ議事ニ付セラレタル後併セテ之ヲ同一委員ニ付託スルノ例トナリ必要ノ場合ニ於テノミ議員ノ動議又ハ議長ノ發議ニ依リ日程掲載前ノ議案若ハ印刷配付前ノ議案ヲモ併セ付託シタリ

第三十九回議會 大正六年七月七日議長(大岡育造君)ハ尾崎行雄君外九名提出市町村立小學校費國庫補助法案ハ本日ノ日程ニ上リ居ラサルモ至急審査ノ要アルヲ以テ趣旨辯明ヲ省略シ嚮ニ付託シタル市町村教育費國庫補助ニ關スル建議案外一件委員ニ付託スルノ可否ヲ議場ニ諮



リタルニ異議ナカリシヲ以テ同委員ニ付託シタリ

參看 二三五號、三六二號

三五七 委員ニ付託シタル議案ノ議場報告前ハ之ト同種又ハ牽聯セル議案ヲ其ノ委員ニ併セ付託スルコトヲ得

委員長ヨリ報告書ヲ議長ニ提出スルモ未タ議場ニ報告ヲ爲ササルトキハ委員ノ任務ハ尙存續スルモノナルカ故ニ之ト同種又ハ牽聯セル議案ハ其 委員ニ併セ付託スルコトヲ得ルモノトス

第九回議會 明治二十九年三月十六日政府提出東京府下郡廢置法律案ノ第一讀會ニ於テ高木正年君ハ(前略)自カラ東京府下郡廢置法律案ヲ提出シテ既ニ委員會カラ報告ガ成立ッテ居ル：故ニ此件ニハ委員ノ審査ヲ經ズ直ニ議決スルト云フコトヲ政府カラ求メラルルコトニ私ハ望ミマス」ト述ヘ議長(楠本正隆君)ハ「政府ヨリ別段ノ請求モアリマセヌ、是ハ高木正年君ノ案ノ委員ガ出來テ居ル夫レト同一ノ議案デアリマスガ其委員ニ付託スルコトニシテハ如何デスカ」ト語ヒタルニ異議ナシト呼フ者アリ 委員會ハ既ニ高木君提出案ノ審査ヲ終リ報告書ヲ議長ニ提出シホタ議場ニ報告前ナリシモ之ニ併セ付託シタリ

第二十五回議會 明治四十二年三月十三日東武君外五名提出天鹽北見鐵道速成ニ關スル建議案ノ第一讀會ニ於テ同案ハ三月十三日委員會報告書ヲ議長ニ提出シタル近江谷榮次君提出奥羽南部橫斷鐵道敷設ニ關スル建議案委員ニ併セ付託シタリ

第二十六回議會 明治四十三年三月五日東武君外四名提出衆議院議員選舉法中改正法律案ノ第一讀會ニ於テ同案ヲ三月三日委員會報告書ヲ議長ニ提出セル小泉又次郎君外七名提出衆議院議員選舉法中改正法律案委員ニ併セ付託シタリ

參看 二三五號、二六三號

三五八 各別ニ付託セラレタル議案牽聯セル爲其ノ委員ヲ併合シテ更ニ之ヲ付託ス

第二十一回議會 明治三十八年一月二十四日花井卓藏君外一名提出外國ニ於テ流通スル貨幣紙幣銀行券證券偽造變造ニ關スル法律案、鳩山和夫君外一名提出外國ニ於テノミ流通スル硬貨紙幣銀行券及帝國官府發行ノ證券偽造變造及模造ニ關スル法律案及花井卓藏君外四名提出俘虜刑罰法案、元田肇君外一名提出俘虜處罰ニ關スル法律案ハ各別ノ委員ニ付託シタルモ翌々二十六日議事

第二編 會議 第二章 議事通則 第十三節 委員付託 (三五七、三五八)

二百八十五



日程ノ會議ニ入ルノ前飯松隆慶君ハ「過日此停廢トソレカラ貨幣云々ノ事ニ付イテ各案毎ニ委員ヲ設ケテゴザイマシタガ此問題ハヤハリ關聯致シテ居リマスカラ合併シテ調査セシメタイト云フ意見デアリマス而シテ此中デ鳩山君ハ兩方ニ關係シテ居リマスカラ其一人ダケハ更ニ補闕ニナリマシテ合併ニナランコトヲ望ミマス」トノ動議ヲ提出シ議長(松田正久君)ハ之ヲ院議ニ諮ヒタルニ異議ナカリキ依リテ其ノ補闕委員トシテ森田卓爾君ヲ指名シタリ

### 三五九 委員ノ員數ハ後ニ之ヲ增加スルコトヲ得

議案ヲ委員ニ付託シタル後其ノ委員ノ數ヲ增加スルコトハ第八回(明治二十八年一月十八日)、第十二回議會(明治三十一年六月四日)ニ於テハ議院ノ容ルルトコロトナラサリシモ第二十一回議會以來ハ之ヲ認容スルコトトナレリ即チ第二十一回議會(明治三十七年十二月三日)政府提出相續稅法案(後チ登錄稅法中改正法律案併託)第二十七回議會(明治四十四年二月二十一日、同二十八日)根岸晴太郎君外四名提出國稅徵收法中改正法律案、小橋榮太郎君提出北海道拓殖經營案基礎確立及北海道拓殖鐵道急設ニ關スル建議案外三件ノ委員ハ動議ニ依リ執レモ九名ヲ増加シタリ

### 三六〇 特種ノ事項ヲ調査スル爲委員ヲ設ク

議院ハ議案ノ審査ヲ委員ニ付スルノ外必要ノ場合ハ特種ノ事項ヲ調査スル爲之カ委員ヲ設ケタルコトアリ

#### (一) 政府ノ意向ヲ確ムヘキ委員

第四回議會 明治二十六年一月十二日明治二十六年度豫算案ヲ議了シ其ノ修正議決ニ係ル費項中憲法第六十七條ノ歲出ニ付三タヒ政府ノ同意ヲ求メ政府之ニ同意セサルニ對シ本院ハ上奏ヲ爲シ且休會シテ政府ノ處決ヲ俟チタルニ 詔勅ヲ賜ハリタルヲ以テ二月十三日特別委員九名ヲ選舉シ 詔勅ヲ遵奉スルニ付政府ノ意向ヲ確メシム  
委員ハ政府ト交渉ヲ重ネ翌々十五日委員長河野廣中君ハ議院ニ委員會ノ經過及結果ヲ報告シ左ノ報告書ヲ朗讀セリ

政府ニ於テハ 詔勅煥發ノ爲ニ局面ヲ一變セサルヘカラス故ニ從來ノ覆牒ノ主旨ヲ固執セ  
ス憲法第六十七條ノ費目中緩急ヲ計リ削減ニ同意スヘキモノハ同意スヘシ政府ハ第五議會開會迄ニハ行政各部ノ整理ヲ爲シ政費節減ノ實ヲ舉クルコトヲ務ムヘシ特ニ海軍ノ如キハ大ニ改革シ且ツ其著手ヲ最モ急ニスヘシ

右報告終ルヤ伊藤内閣總理大臣ハ 詔勅ニ對スル政府ノ意見ヲ演說シ井上角五郎君ハ「本院ハ謹テ 詔勅ヲ奉體シ徹慮ヲ徹底スル爲メ明治二十六年度ノ歲入歲出總豫算修正案ヲ再議ス



ルヲ要ス依テ豫算委員ニ付託シ之ヲ整理セシムルコトトノ動議ヲ提出シ院議多數ヲ以テ之ヲ可決シタリ

(二) 特別報告ニ係ル請願調査委員

第六回議會 明治二十七年五月二十二日齋藤珪次君ハ緊急動議ヲ提出シタリ其ノ要旨ニ曰ク「曩ニ請願委員長ノ報告ニ於キマシテ請願中院議ニ付スベキモノト報告ヲセラレタル第一項、即チ石代引當米過剩金下渡請願ト申スコトニ就キマシテ、アノ請願ハ其ノ表面カラ見マスレバ、單ニ石代ノ賣捌代金過剩金下戻シノ請願ニ止リマスルガ、深ク吾々ノ調査スル所ニ於テハ彼ノ請願ハ政治上ノ問題ヲ含ンダモノデゴザイマシテ、大ニ吾々ガ之ヲ調査スル必要ガアラウト考ヘマス、故ニ院議ニ掛ケマスル前ニ於テ此ノ案ヲバ九名ノ特別委員ヲ擧ゲテ十分調査致シマシテサウシテ此ノ政治上ノ問題ヲ審議致シタイト云フ考ヘデゴザイマスル」ト本動議ハ院議之ヲ可決シ議長ノ指名ヲ以テ委員九名ヲ設ケ委員ハ同月三十日請願ノ採擇スヘカラサルコト及特別ニ調査スヘキ事項五件ノ報告書ヲ提出シタリ

六月一日請願事件ノ會議ニ上リタル際特別委員ノ報告ニ付テノミ討議セシヲ以テ議長(楠本正隆君)ハ剩餘金下戻ノ請願ハ請願委員會ニテ調査シ政治問題ハ特別委員ニ於テ調査シタルモノナルヤ否ヤ請願委員長ノ意見ヲ問ヒタルニ請願委員長小松二省君ハ「地租引當米下戻請願

審査特別委員會ノ報告ニ依レハ此ノ請願ハ採擇スヘカラストノ決定ヲ下シ請願委員ノ一度審査決定シタルモノヲ二重ニ審査決定シ大ニ議院規則ニ背キタルノミナラス特別委員ハ請願其モノヲ審査スルニアラスシテ請願事件ニ包含スル政治問題ヲ審査決定スルノ委員ナリ故ニ請願ノ採否ハ委員長ノ特別報告トシテ之ヲ決シ特別委員ノ報告モ併セテ決議セラレムコトヲ望ム」ト述ヘタルニ大岡育造君ハ特別委員ヲ選フニ當リ本問題ハ請願委員カ調査スヘキモノニアラスヤト質問シ議場ノ多數ハ「請願委員ヲ無視スルノ嫌アレトモ事重大ナルヲ以テ特別委員ヲ選フト云フニアリキ故ニ今ニ當テ特別委員カ越權ナリトノ議論ヲ爲スヘキモノニアラス議場ノ體面ノ爲特別委員ノ報告ニ依テ決定セラレムコトヲ望ム」ト述ヘ議長ハ請願事件ハ一ナレトモ二箇ノ問題アリ即チ請願ハ剩餘金ノ下戻シヲ請フニ止マル之ニ隨伴スルハ政治問題ナルヲ以テ先ツ請願ノ採否ヲ決定シ次に政治問題ヲ決定スヘシト宣告シタリ

(三) 請願委員ノ審査權能ニ屬スル事項調査委員

第二十二回議會 明治三十九年三月十七日請願委員長竹越與三郎君ハ「請願委員會ニ於テハ生絲検査法案否決ノ請願外三件ニ對シ審査ノ末哀願ノ體裁ヲ備ヘス規定ニ適セサルヲ以テ却下スヘキモノナリト決シタリ是ハ請願委員ノ權利ノ廣狹ニ關スルモノニシテ諸君ノ注意ヲ惹クヘキ問題ナリト思惟シ茲ニ報告ス」ト述ヘタルニ福井三郎君ハ請願委員ノ權能ニ關スル動議(請願委



員會ニ於テ生絲検査法案否決ノ請願ニ對シ之ヲ却下スヘキモノト議決シタルハ不當ナリト認ムルニ依リ委員ヲ設ケテ其ノ當否ヲ審査セシムヘシヲ提出シ二十七名ノ委員ニ之ヲ付託シタリ三月二十六日委員長元田肇君ハ本件付託事項ハ明瞭ヲ闕ケルニ依リ左ニ朗讀スル事項ヲ付託セラレタルモノト認ムヘキヤヲ議長ニ質疑ス

一横濱蠶絲貿易組合長小野光景提出ノ生絲検査法案否決ノ請願外三件ヲ却下シタルノ當否如何及之ニ附帶シ凡テ議案ニ對シ可決否決ノ請願ハ之ヲ受理スヘキモノナリヤ如何之ニ對シ動議提出者福井三郎君ハ唯今朝讀ノ意味ヲ以テ付託セラレタルモノナリトノ辯明ヲ爲シ議長(杉田定一君)ハ右ノ趣意ニ異議ナキモノト認ムト告ケタリ然ルニ會期終了ニ迫レル爲委員ノ報告ヲ得ルニ至ラサリキ

(四) 議長ノ職權行使ニ關スル事實調査委員

第三十六回議會 大正四年五月二十五日加瀬禧逸君ハ「望月長夫君ヨリ曩ニ島田議長ノ望月圭介君ニ對シ不穩ノ言語ノ取消ヲ命シタルハ謝罪ヲ強要シタルモノニ非サトノ質疑ヲ發シタルニ付右件ヲ調査セシムル爲調査委員ヲ設クヘシ」トノ動議ヲ提出シ院議之ヲ可決シ委員ハ即日其ノ調査ヲ遂ケ左ノ報告ヲ爲シタリ

本院ニ於テ議長ノ望月圭介君ニ對スル發言ハ同君ニ對シ謝罪ヲ強要セルモノニアラスト議

決致候云々

此ノ報告ニ對シ委員少數者ヨリ「謝罪ヲ強要シタルモノト決スヘキモノト認ム云々」ノ少數者意見書ヲ提出シ同日院議ニ付シ院議少數者意見ヲ否認シ委員長報告ヲ是認シタリ

(五) 議員ノ行動ニ關スル調査委員

第三回議會 明治二十五年六月十四日貴族院回付明治二十五年度豫算追加案ノ會議ニ際シ稻垣示君ハ「本案ニ關シ議員中ニ收賄ヲナシ又ハ收賄セムトシタル者アルヲ以テ其ノ眞偽ヲ調査セシムカ爲委員ヲ設クヘシ」トノ動議ヲ提出シ院議之ヲ可決シタリ

委員ハ即日其ノ調査ヲ遂ケ左ノ報告ヲ爲シ院議ハ秘密會ニ於テ動議提出者ヲシテ事實ヲ演說セシメ其ノ報告ニ對シテハ議決スルコトナカリキ

委員會ハ稻垣君ノ陳述ヲ聽キ審査スルニ同君カ或ル議院外民間ノ一人ニ誘導ヲ受ケタルハ事實ナルカ如シト雖モ其他ハ誘導者ヨリ傳聞シタルト云フニ止リ證據甚タ不確實ナリト決定ス

第十四回議會 明治三十二年十二月十五日久米民之助君ヨリ尾崎行雄君ノ發言(地租増徴案ニ關シ議員收賄ノ件)ニ關シ委員ヲ設ケ其ノ事實ヲ調査セシムルノ動議ヲ提出シ院議之ヲ可決シタリ然ルニ委員ノ調査終了セス其ノ報告ヲ經ルニ至ラサリキ



第二十回(臨時)議會 明治三十七年三月二十三日小河源一君ヨリ秋山定輔君ニ關スル事實ヲ調査スル爲委員ヲ設クルノ動議ヲ提出シ院議先決問題トシテ之ヲ可決シタリ  
委員會ハ同月二十六日左ノ調査ノ結果ヲ報告シ議院ハ即日之ヲ院議ニ付シ此ノ報告ヲ是認シタリ

委員會ハ本院議員秋山定輔君ノ露國間牒タル確實ノ證據ヲ發見セスト雖同君カ一身ノ利益ヲ圖ルカ爲ニ帝國ノ利益ニ反シ露國ニ利益ナル行動アリシコトハ之ヲ認ム

第二十三回議會 明治四十年三月十二日小川平吉君外二名ヨリ本院ノ體面ニ關シ調査委員ヲ設クルノ動議ヲ提出シ院議議事日程ヲ變更シテ之ヲ可決シタリ  
委員會ハ同月十八日左ノ報告書ヲ提出シタリ

本院ニ於テ高梨哲四郎君、尾見濱五郎君、栗原宣太郎君、小山田信藏君、關信之介君、武藤金吉君、藻寄鐵五郎君、愛澤寧堅君ノ諸君ハ本院ノ體面ニ關スル行爲アルモノト認メスト議決スヘキモノト議決致候云々

此ノ報告ニ對シ委員少數者ヨリ「本院ニ於テ前記諸君等カ本院ノ體面ニ關スル行爲アリタルヤ否ヤハ之ヲ確認スルヲ得スト議決スヘキモノト認ムルニ依リ云々」トノ少數者意見書ヲ提出シ翌十九日本件ヲ院議ニ付シ院議少數者意見ヲ否認シ委員長ノ報告ヲ是認シタリ

(六) 議員ノ發言ニ關スル事實調査委員

第二十八回議會 明治四十五年三月二十二日三土忠造君ヨリ「北海道拓殖經營ニ關スル建議案委員長ノ報告ニ對スル小橋榮太郎君ノ發言ニ關スル事實ヲ調査スル爲特別委員ヲ設クヘシ」トノ動議ヲ提出シ院議之ヲ可決シタリ

委員會ハ同月二十五日左ノ報告ヲ爲シ議院ハ即日之ヲ院議ニ付シ其ノ報告ヲ是認シタリ  
一 明治四十五年三月二十二日ノ本院會議ニ於テ齋藤二郎君カ北海道拓殖經營ニ關スル建議案ノ委員會ノ經過ヲ報告シタルニ對シ小橋榮太郎君カ虛偽ノ報告ナリト發言シ齋藤君カ虛偽ニアラスト發言シタルハ雙方意見ノ相違ヨリ生シタル紛争ニ過キササルモノト認ム

(七) 補闕選舉ニ關スル調査委員

第二十四回議會 明治四十一年三月十四日山口熊野君ヨリ武藤金吉君ノ補闕選舉ノ件ニ關シ十八名ノ調査委員ヲ設ケテ之ヲ調査セシムヘシトノ動議ヲ提出シ院議之ヲ可決シタリ  
委員會ハ三月十八日ヲ以テ左ノ報告書ヲ提出セリ

「本件ノ場合ニ於テハ議長ハ内務大臣ニ通知シ補闕選舉ノ請求ヲ爲スヘキモノト議決ス」ト尙参照トシテ「本文ノ意味ハ左ノ如シ議院法第八十四條ニ於ケル補闕選舉請求ノ通牒ハ衆議院議員選舉法第七十九條但書ノ場合ニ在リテモ之ヲ爲スヘキモノトス



同月二十四日委員長元田肇君ハ「委員會ニ於テハ討議ノ結果大要二様ノ議論ニ分レ第一ハ本件ノ如キ場ニハ議長ハ飽マテ内務大臣ニ通牒シテ補闕選舉ヲ請求スヘシトスルニアリ其ノ理由ハ議員ノ任期ハ滿四箇年ヲ原則トスルモ選舉法第七十七條但書ニ依リ開會中ニ任期終ルトキハ閉會迄在任スルモノナルカ故ニ其ノ在任ノ間ニ闕員ヲ生スルトキハ議長ハ之カ補闕選舉ヲ請求スヘク其ノ時日ニ於テ不能アリトスルモ内務當局者ノ自ラ責任ヲ以テ判斷スヘキモノナリトシ他ノ一ハ開會中任期終ルモ閉會迄在任ストハ前ヨリ引續キ議員ノ存在セル場合ヲ指シ其ノ存續ニ依リ延長スルモノニシテ議員ノ存續セサル場合ニモ新ニ之ヲ補フノ主意ニアラス是レ其ノ本ナクシテ之ヲ延長スヘキノ理ナケレハナリ況ヤ實際上補闕選舉ヲ請求スルモ到底選舉ヲ行フノ時日ナク徒ニ法文ニ拘泥シテ無責任ノ請求ヲ爲スカ如キハ不當ノ解釋ヲ爲スモノナリト云フニアリシカ採決ノ結果報告書ノ如ク決定シタリ」トノ報告ヲ爲シ議院多數ヲ以テ之ヲ是認シタリ

(八) 院内警察ニ關スル特別調査委員

第四十二回議會 大正九年二月十四日(普通選舉案上程ノ日)議場騷擾シテ懲罰事犯者ヲ出スニ到リ議長號鈴ヲ鳴ラシテ休憩ヲ宣告シ尙休憩中議院内ニ於テ議員ト守衛トノ間ニ紛擾ヲ生シタルヲ以テ二月十九日議長(大岡育造君)ハ「去ル十四日院内ニ生シタル警察事項ニ關スル調

査ヲ爲シ將來斯ノ如キ事態ノ發生ヲ避クル途ヲ講スル爲メ特別委員ヲ設置スヘシ」ト發議シ院議之ヲ可決シ直ニ委員十八名ヲ指名シ該委員ハ直ニ調査ニ著手シタルモ同月二十六日解散ヲ命セラレタル爲其ノ儘トナレリ

三六一 既ニ決定セル委員ヲ更正ス

第三十九回議會 大正六年七月七日日程第十八ヲ可決ノ後恆松隆慶君ハ議事進行ニ付發言ヲ求メ「前ノ日程ノ委員付託中デ已ムヲ得ズ茲ニ更正致シテ置キマス、日程第十一ト第十三ト同一ニ致シマシタガ、十一ノ産業組合法案ハ最モ前ノ銀行其他ノモノニ類似シタ案デ御座イマスカラ、其方ニ組入レマシテ、サウシテ工業所有權云々ト云フモノヲ特ニ九名ノ委員ト云フコトニ訂正アラムコトヲ、茲ニ希望ヲ申上ゲマス」ト告ケタルニ議長(大岡育造君)ハ「今既ニ決シテ仕舞ッタモノヲ御訂正ナサルノデスカ」ト問ヒ恆松君ハ「ソレハ前ニ間違ッタノデ御座イマスカラ、議場ニ諮ッテ下サイ」ト答ヘ議長之ヲ院議ニ諮ヒタルニ異議ナカリシヲ以テ此ノ更正ヲ爲シタリ

第三十七回議會 大正五年二月十八日同一ノ事例アリ



第十四節 委員長報告

議第二四條

三六二 委員ニ付託シタル議案ノ會議ニ於テハ先ツ委員長其ノ報告ヲ爲ス

委員ニ付託シタル議案ノ議題ニ上ルトキハ委員長先ツ審査ノ經過及結果ヲ報告シ少數意見ニ次テ討論ニ移ルヲ例トス

三六三 同一委員ニ付託セラレタル數議案同時ニ議事ニ上ルトキハ委員長長ヲシテ併セテ報告セシム

議案ノ關聯セルモノ若ハ同性質ノ故ヲ以テ同一委員ニ付託セラレタル數議案ニシテ同時ニ議事日程ニ掲載セラレタル場合ニハ便宜上委員長ヲシテ併セテ之ヲ報告セシムルヲ例トス

參看 二八六號、三五六號、三五七號、

三六四 簡單ナル委員長ノ報告ハ自席ヨリ之ヲ爲スコトヲ得

衆第一六條

委員長ノ報告ハ登壇シテ之ヲ爲スヲ本則トスルモ簡單ナルトキハ委員長自席ヨリ報告セムコトヲ求ムルコトアリ議長ハ之ヲ許可スルヲ例トス

參看 二九〇號

三六五 委員長報告中ノ希望、警告、附帶決議等ハ報告ニ止マリ採決セス

豫算案、決算、事後承諾案、法律案、建議案等ノ委員會ノ經過並結果ノ報告ノ際口頭若ハ書面ヲ以テ希望條項、警告又ハ附帶決議等ヲ附シテ報告スルコト毎會期其ノ事例乏シカラス此ノ場合ニ於テ希望、警告又ハ決議ノ事項ニ付テハ採決セサルヲ例トス

(一) 豫算案

第四十一回議會 大正八年二月二十五日(第二號)大正八年度歲入歲出總豫算追加案ノ會議ニ於テ委員長齋藤珪次君ハ「高等學校ノ増設擴張ニ伴フ教官ノ養成ニ關シテハ帝國大學ノ外尙他ノ適當ナル機關ヲ利用セラレンコトヲ望ム」トノ附帶決議ヲ爲シタル旨報告シタルモ議長(大岡育造君)ハ此ノ附帶決議ニ付テハ何等採決ヲ爲ササリキ

(二) 決算



第三十回議會 大正二年二月二十六日決算ノ會議ニ於テ委員長齋藤珪次君ハ其ノ報告中陸軍ニ對スル警告、海軍ニ對スル警告、大藏省所管ノ違法不當支出ニ對シテハ決議ヲ爲シタル旨ヲ報告シタルニ議長(大岡育造君)ハ單ニ委員長報告ノミヲ院議ニ諮ヒ決議ニ對シテハ議決ヲ爲ササリキ

第三十七回議會 大正五年二月二十八日 大正二年度決算ノ會議ニ於テ委員長鹿島秀麿君ハ「決算報告ハ前々年度ノ決算ニ係ルモ之ヲ短縮シテ前年度ノ決算ニ改ムルヲ適當ト認ム依テ政府ハ次年度ヨリ之ヲ實行セムコトヲ望ム」トノ希望決議ヲ報告シタルニ紫安政府委員ハ此ノ希望決議ニ對シテハ政府ハ同意スルヲ得サル旨ヲ聲明シタルモ議長(島田三郎君)ハ此ノ決議ニ付採決ヲ爲ササリキ

第四十回議會 大正七年三月二十三日 大正四年度決算會議ニ於テ委員長報告書中ノ決議ハ委員長報告ノ一部トシテ採決シタリ其ノ詳細ハ五〇七ニアリ

(三) 事後承諾案

豫備金支出ノ件若ハ緊急勅令ノ承諾案ニシテ委員長ヨリ希望、警告又ハ附帶決議ヲ爲シ報告シタルコト其ノ事例乏シカラサルモ孰レモ採決ニ際シ單ニ本案ノ承諾ヲ與フルヤ否ヲ諮ヒ院議其ノ諾否ヲ與フルヤ否ヲ決スルニ止マリ附帶ノ事項ニ付採決セス其ノ詳細ハ五一〇號ニ掲載セ

(四) 法律案

第四十一回議會 大正八年三月四日政府提出精神病院法案ノ會議ニ於テ委員長金杉英五郎君ハ「第一、檢事並ニ府縣町村吏員府縣市參事會員ハ臨時精神病院ニ出張シテ現狀ヲ視察シ人權保護ノ實ヲ完フセラレンコトヲ望ム、第二從來面會、差入、通信其他精神病者ノ取扱ニ關シ往々不満ヲ訴フルモノアリ當局ハ常ニ是カ監視ニ努メラレタシ」ト云フ希望條件ヲ政府ニ申達スルコトニ致シ云々」ト報告ヲ爲シタルモ議長(大岡育造君)ハ此ノ希望條件ニ付テハ採決ヲ爲ササリキ

同 大正八年三月十五日天春文衛君外十七名提出農工銀行法中改正法律案ノ會議ニ於テ委員長天春文衛君ハ「政府ハ農工金融ノ現狀ニ鑑ミ農工銀行定期償還貸付ノ制限及債權發行ノ限度擴張ニ關スル改正案ヲ次期議會ニ提出セラレンコトヲ望ム」トノ附帶決議ヲ爲シタル旨ノ報告ヲ爲シタルモ議長ハ此ノ附帶決議ニ付採決ヲ爲ササリキ

(五) 建議案

第四十一回議會 大正八年三月十五日木津川治水ニ關スル建議案ノ會議ニ於テ委員長齋藤珪次君ハ「此木津川ノ水源地ノ砂防工事ニ十分ニ注意セラレンコトヲ附帶決議トシテ本案ヲ可



決シタル旨ノ報告ヲ爲シタルモ議長(大岡育造君)ハ此ノ附帶決議ニ付採決ヲ爲サザリキ

參看 五一〇號

三六六 委員長ハ報告ニ併セテ自己ノ意見ヲ述フルコトヲ得ス

第八回議會 明治二十八年二月一日安田益太郎君外三名提出府縣農事試驗場國庫補助法案第一讀會ノ續會ニ於テ委員長多田作兵衛君ハ委員會ノ報告ニ次テ「尙又私一箇ノ意見ヲ述ベテ置キタウゴザイマスガ……」ト云ヘルニ議長(楠本正隆君)ハ「御一個ノ意見ハ別段ニ」ト注意シ、同日鈴木充美君外四名提出開港法案第一讀會ノ續會ニ於テ委員長田口卯吉君ハ委員會ノ報告ニ次テ「又終リニ臨ミマシテ本員ハ更ニ諸君ニ向ッテ……申シテ置キタイト考ヘマスガ」ト云ヘルニ議長ハ「委員會ノ報告ダケニ……」ト告ケタリ

第二十七回議會 明治四十四年三月九日明治四十二年度豫備金支出ノ件外四件ノ會議ニ於テ委員長井上角五郎君ハ報告ノ後通告順ニ依リ自己ノ意見ヲ陳述シタリ

第三十回議會 大正二年三月四日根本正君提出未成年者飲酒取締ニ關スル法律案第一讀會ノ續會ニ於テ委員長根本正君ハ報告ノ後通告順ニ依リ自己ノ意見ヲ陳述シタリ

參看 二八九號、三八〇號

三六七 委員ハ委員長又ハ理事ニ代リ報告ヲ爲スコトヲ得

委員長報告ノ議題トナリタル場合ニ委員長差支アルトキハ理事代リテ報告ヲ爲スモ委員長及理事共ニ事故アルトキハ委員代リテ報告ヲ爲スコトアリ

第四回議會 明治二十五年十二月十五日箕浦勝人君外二名提出新聞紙條例改正案第一讀會ノ續會ニ於テ理事加賀美嘉兵衛君ヨリ「今日ハ委員長ガ闕席デゴザリマスカラ從テ理事ノ私ガ報告致スベキコトト心得マスガ當時理事タル本員ハ病氣ノタメニ闕席致シマシタカラ成ルベクハ他ノ委員カラ報告致サルルヤウニ致シタイ御許シゴザリマスレバ」ト議長ニ問ヒタルニ議長(星亨君)ハ「誰方デモ宜イ」ト告ケ委員波多野傳三郎君代リテ報告ヲ爲シタリ

同月十七日政府提出官設鐵道用品資金會計法案第一讀會ノ續會ニ於テ議長ハ「委員長ノ報告デスガ委員長理事モ見エマセヌカラ……二百四番」ト指名シタルニ依リ神鞭知常君ハ代リテ本案外一件ノ報告ヲ爲シタリ

第三十七回議會 大正五年二月二十八日井原百介君外十名提出外國米輸入官營ニ關スル建議案ノ會議ニ於テ議長(島田三郎君)ハ「委員長ガ居ラレマセヌカラ理事ニ求メマス」ト指名シタル



モ理事亦闕席ノ爲更ニ「委員中ニ報告スル者ハアリマセヌカ」ト告ケタルニ委員川崎安之助君ハ「私ヨリ報告ヲ致シマス」トテ同君委員長ニ代リ委員會ノ經過並結果ノ報告ヲ爲シタリ  
同一ノ事例數多アリ

參看 二八四號

### 三六八 委員長理事及委員ハ報告ヲ補足スルコトヲ得

委員長報告遺漏アルトキハ委員長、理事若ハ委員ハ發言通告ノ順序ニ拘ラス更ニ其ノ報告ヲ補足スルコトヲ得ルハ第三回議會以來其ノ事例乏シカラス

第三十七回議會 大正四年十二月二十五日大正五年度豫算案ニ對シテハ委員長ヨリ之ヲ補足シタリ

第二十五回議會 明治四十二年三月二十四日(特別報告第七十三號)天理教獨立公認許可取消ノ請願ニ對シテハ理事ヨリ之ヲ補足シタリ

第二十五回議會 明治四十二年三月二十二日根本正君外三名提出衆議院議員選舉法中改正法律案ニ對シテハ委員ヨリ之ヲ補足シタリ

衆第六二條  
衆第二〇條

參看 二八五號、三二〇號、三二八號、三七八號

### 三六九 委員長必要ト認ムルトキハ何時ニテモ報告ヲ爲スコトヲ得

委員會ノ經過及結果ノ報告ハ委員長必要ト認ムルトキハ何時ニテモ之ヲ爲スコトヲ得ルモ其ノ報告事項ヲ會議ニ付セムトスルニハ議事日程ノ變更ヲ要スヘキハ勿論トス

第八回議會 明治二十八年二月九日議事日程第一ヲ議了シタルトキ新聞紙法案兩院協議會議長鈴木重遠君ハ協議ノ經過及結果ヲ報告シ次テ「本日はヨリ議事日程ヲ變更ニナリマシテ直ニ兩院ノ協議會ヲ纏リマシタ所ノ新聞紙法案ヲ以テマシテ本會ヲ御會議アランコトヲ希望致シマス」ト述ヘ院議日程ヲ變更シテ之ヲ議題トナシタリ

第三十六回議會 大正四年五月二十五日質問ノ三ヲ終リタルトキ議長島田三郎君對望月圭介君ノ應答ニ關スル調査ノ件委員長藤澤幾之輔君ハ「先刻御委託ニナリマシタ案件ノ委員會ノ結果ヲ御報告致シタウゴザイマス」ト請求シ議長ノ許可ヲ得テ委員會ノ經過及結果ヲ報告シ荒川五郎君ハ唯今ノ報告ヲ議題トスヘク日程ヲ變更セムコトノ緊急動議ヲ提出シ日程ヲ變更シテ該件ヲ議題トナシタリ



三七〇 議案ノ審査終了セルトキ院議委員長ヲシテ報告ヲ爲サシム

第十二回議會 明治三十一年六月七日議事日程第一ヲ議了シタルトキ中村彌六君ハ「地租條例中  
改正法律案ノ特別委員會ハ既ニ議了シタト云フコトデゴザイマス……此場合ニ於テ委員長ヨリ  
其結果ノ報告ヲ承リタウゴザイマス」トノ動議ヲ提出シ院議多數ヲ以テ之ヲ可決シタリ依テ委  
員長林有造君ハ審査ノ經過及結果ヲ報告シ次テ日程ヲ變更シテ之ヲ議題トシタリ

三七一 場合ニ依リ委員長ノ口頭報告ヲ省略シテ直ニ議決ヲ爲ス

委員ニ付託シタル議案ハ議場ニ於テ委員長報告ノ後議決スルヲ例トスルモ數多ノ議案ヲ議了セル  
トキ又ハ會期切迫セル等ノ場合ニ於テ動議ニ依リ口頭報告ヲ省略シテ直ニ議決シタルコト尠カラ  
ス

參看 二八七號、四五五號

三七二 委員長報告ノ際報告者其ノ席ニ在ラサルトキハ一時其ノ議事ヲ  
延期シ又ハ討論ヲ先ニス

委員ノ審査ヲ經タル議案院議ニ上ルトキハ先ツ委員長其ノ報告ヲ爲スヲ例トス故ニ委員長若ハ理  
事議席ニ在ラサルトキハ便宜其ノ議事ノ順序ヲ前後シ若ハ一時延期スル等其ノ例區々ナルモ或ハ  
先ツ討論ニ移リ討論中委員長報告ヲ爲シタルコトアリ

第十八回議會 明治三十六年六月四日政府提出貴族院送付粗製樟腦樟腦油專賣法案第一讀會ノ  
續會ニ於テ委員長議席ニ在ラス田口卯吉君先ツ反對ノ演說ヲ爲シ次テ委員長藤金作君報告ヲ  
爲シタリ

參看 二八七號、三六七號

三七三 委員長報告延期ノ請求アルトキハ之ヲ許可シ其ノ議事ハ併セテ  
延期セラルルヲ例トス

從來議事日程ニ掲載セラレタル議案ニ對シ委員長ヨリ其ノ報告延期ノ請求アルトキハ議長ハ院議



ニ諮ヒ若ハ異議ナキモノト認メ之ヲ許可シタルモ第十四回議會ヨリハ其ノ許否ヲ院議ニ諮ヒ院議其ノ請求ヲ許可シ議事ハ併テ延期セラルルノ例トナレリ然ルニ左ノ場合ハ其ノ請求ヲ許可セザリキ

第二十回(臨時)議會 明治三十七年三月二十六日議長(松田正久君)ハ「議事日程ノ第十二(政府提出煙草專賣法案)ハ委員長ヨリ報告ヲ見合セルト云フ申出ガアリマスカラ是ハ省キマス、第十三ノ一讀會ヲ開キマス」ト宣告セルニ異議アリタルニ依リ議長ハ「今委員長ノ請求ニ依ツテ報告ヲ見合スト云フコトニ致シタノハ是マデ屢々例ガアツテシタコトデアアル然レドモ諸君ガ是非トモ報告ヲ致サセルト云フ多數ノ決議デアレバ決シテ議長ニ於テハ之ヲ拒ムコトハアリマセヌ」ト告ケ本日委員長ノ報告ヲ爲サシムヘキヤヲ採決シタルニ院議多數ヲ以テ之ヲ爲サシムルニ決シ委員長多田作兵衛君ハ其ノ報告ヲ爲シ次テ本案ヲ院議ニ付シタリ

參看 三九〇號

### 三七四 報告書ノ訂正ハ書面又ハ口頭ヲ以テス

委員長報告書ヲ議長ニ提出シタル後訂正ヲ要スルトキハ書面ヲ以テシ又ハ議場ニ報告ノ際口頭ヲ

以テス而シテ口頭ヲ以テシタル場合ニ委員代リテ之ヲ爲シタルコトアリ

### 第十五節 少數意見

#### 三七五 少數意見ハ委員長報告ニ次テ提出者之ヲ述フ

第一回議會 明治二十三年十二月二十二日政府提出窮民救助案第一讀會ノ續會ニ於テ委員長ノ報告ヲ終ルヤ議長(中島信行君)ハ少數意見ヲ述ヘシメムカ爲是恒眞楫君ヲ指名シタルトキ湯淺治郎君ハ「敢テ發言ノ前後ハ争ヒマセヌガ、自分ノ方ガ申込ミガ早イト信ジマスカラ若シ是恒君トテ委員タルノ資格若クハ何ゾ他ニ格別ノコトガアレバ格別、自分ノ申込ミハ兼ネテ政府委員ノ始テ此處ニ提出サレタ其ノ日ニ申込マシタカラ」ト云ヒタルニ議長ハ「是恒君ハ委員ノ資格デアリマスカラ……」ト告ケ通告ノ順序ニ拘ラス少數意見ヲ述ヘシメタリ

第三回議會 明治二十五年六月四日野出鏞三郎君提出登記法改正案第一讀會ノ續會ニ於テ野出鏞三郎君ハ「少數者ノ意見ヲ述ベテ置キタイ」ト請求セシニ議長(星亨君)ハ「ソレナラ通告ノ順序ニ依ルノ外ハナイ」野出鏞三郎君「是迄鐵道委員ノ時ニ其少數ノ意見ト云フモノハ……」(差支ナシ宜シイト呼フ者アリ)議長ハ「ソレナラ宜シイ」ト告ケ通告ノ順序ニ依ラス少數意見ヲ述ヘシ